EPSON

LIVINGSTATION

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン
液晶プロジェクションテレビ

ELS-47S/57S シリーズ
ELS-55GL/65GL シリーズ

ELS-47S/57S シリーズ

ELS-55GL/65GL シリーズ

取扱説明書 1

設置・接続・設定編

箱を開けたら、まず『設置・接続・設定編』（本書）をお読みください。
使用上のご注意から本機を設置し、ご使用になるための設定までの
本機の準備について記載しています。

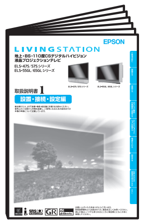
ご使用の前に
設置する
接続する
オプション機器／外部機器と接続する
B-CAS（ビーキャス）カードを装着する
電源を入れる
設定する
引越しするときや設置場所を変えるときは
ふろく

3LCD　SRS TruSurround XT　GR　dnx pixelworks

お買い上げいただきありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しくお使いください。
読んだ後は、いつでも見られるところに保証書とともに大切に
保管してください。

本書の見かた

本製品をお使いになる前に必ず、取扱説明書をお読みください。
取扱説明書は下記のような構成になっています。用途にあわせてお使いください。



設置･接続･設定編

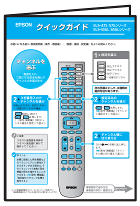
・安全上のご注意
・本機の設置
・アンテナ/外部機器の接続
・お使いになる前の設定

など、ご使用前に準備する内容を記載しています。

操作･機能編

・選局、予約など、日常でお使いになるための操作
・困ったときは

など、ご使用時の操作やトラブルに関する内容を記載しています。



クイックガイド

・番組を見る
・番組表で見る
・お手入れのしかた

など、基本的な操作やお手入れの方法など使用頻度の高いものを記載しています。

GLシリーズをご使用の場合

フォトビューワ編

・メモリカードなどの画像を見る
・音楽を聞く
・プリントする

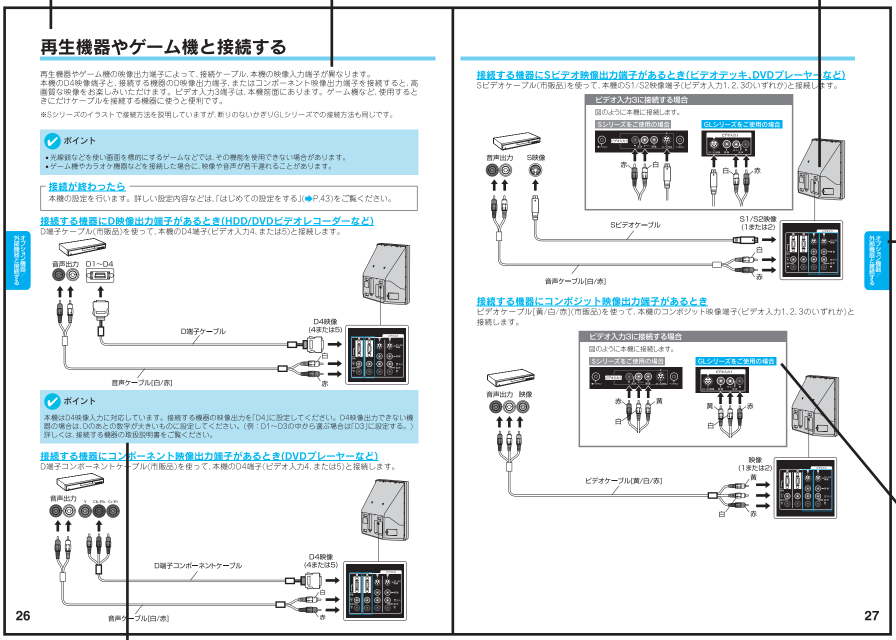
など、フォトビューワに関する内容を記載しています。

取扱説明書の見かたは下記のようになっています。

タイトル
このページの内容を表しています。

このページに記載している機能の概要を説明しています。

イラスト
接続の方法などをわかりやすく説明しています。



インデックス
使いたい項目や内容をカンタンに探せます。

お使いの機種によって操作やお買い上げ時の設定などが違う場合は、シリーズごとに記載しています。お使いのシリーズをご確認の上、お読みください。

ポイント
本機をお使いになる場合に知っておくと便利なことや、制約事項などについて説明しています。

ご注意
本機をお使いになる場合に、注意していただきたいことを説明しています。

取扱説明書について

- 取扱説明書に記載しているテレビの画面表示は、実際に表示される画面と、イラスト・文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
- この取扱説明書はSシリーズ、GLシリーズ共用です。取扱説明書中のイラストは、断りのない限りSシリーズです。機能や操作が異なる場合は、シリーズごとに説明しています。

もくじ

もくじ 1

安全上のご注意 3

絵表示の説明 3

ご使用の前に

ご使用になる前に確認していただきたい付属品の一覧と各部の名称を記載しています。

使用上のご注意 7

本機の準備の流れ 9

各部の名称とはたらき 10

前面 10
背面 12

設置する

本機の設置方法を記載しています。
ご購入時には、当社のサービスマンが行います。

設置について 14

本機をラック(オプション品)に載せる 14
ラックに固定する 16
転倒防止措置をする 19

接続する

本機とアンテナ線の接続方法と、データ放送の双方向通信に必要な電話回線の接続方法を記載しています。
ご購入時に、設置コースの標準コース、またはお任せコースを選択した場合、当社のサービスマンが行います。

アンテナ線の接続と設定 20

地上アナログ･地上デジタル用アンテナ線をつなぐ 20
BS･110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた 22

電話回線の接続 24

オプション機器 / 外部機器と接続する

本機とビデオ機器などの外部機器との接続方法と、オプションのビデオコントロールケーブルの接続方法を記載しています。
ご購入時に、設置コースのお任せコースを選択した場合、当社のサービスマンが行います。

再生機器やゲーム機と接続する 26

録画機器と接続する
(デジタル放送をアナログ録画する) 29

オーディオ機器と接続する 30

光デジタル入力対応のオーディオ機器と接続する 31

ビデオコントロールケーブルを接続する 32

i.LINK端子付き機器と接続する 33

i.LINKについて 34

コンピュータと接続する 37

B-CAS(ビーキャス) カードを装着する

デジタル放送をご覧になるために必要なB-CASカードの装着方法を記載しています。
ご購入時に、設置コースの標準コース、またはお任せコースを選択した場合、当社のサービスマンが行います。

B-CAS (ビーキャス)カードを装着する 38

B-CASカードを装着する 38

電源を入れる

リモコンに電池をセットする方法と本機の電源を入れる/切る方法を記載しています。

リモコンの準備 40

リモコンに乾電池を入れる 40

電源を入れるには 41

電源を入れる 41
電源を切る 42

設定する

ご購入後、はじめて電源を入れた場合に行う「はじめての設定」の内容と、お引越しされた場合やご覧いただける放送局が増えた場合など、設定を変更する場合に行う内容を記載しています。
ご購入時に、設置コースの標準コース、またはお任せコースを選択した場合、当社のサービスマンが「はじめての設定」を行い動作確認します。

はじめての設定をする 43
- はじめての設定 45
- テスト結果について 52
- データ放送用メモリの割り当て 53

外部機器の設定 54
- i.LINKの設定 54
- ビデオ機器の設定 59
- デジタル放送録画出力の設定 63
- ビデオ入力表示の設定 64

受信設定 65
- 地上デジタルアンテナレベルの確認および方向調整 65
- BS・110度CSアンテナレベルの確認および方向調整 66
- BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給 67
- CATVパススルーモード設定 68
- BS中継器切換/110度CS中継器切換 70

チャンネル設定 71
- チャンネル設定について 71
- 自動チャンネル設定 72
- 手動チャンネル設定 78
- チャンネルスキップ設定 86
- GR(ゴーストリダクション)設定(地上Aの場合) 87
- チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻す 88

通信設定 89
- 電話回線設定 89
- 通信接続設定 98
- 通信確認メッセージ設定 107
- 通信自動切断設定 108
- 双方向サービス制限設定 109

暗証番号の設定 110

視聴年齢制限の設定 111

番組購入限度額の設定 113

簡易確認テスト 115

データ放送設定を個別に行うとき 116
- 郵便番号と地域の設定 116
- 文字スーパー表示(字幕や文字解説)の設定 117
- ルート証明書番号を確認する 118

引越しするときや設置場所を変えるときは

本機を移動させる場合の方法を記載しています。

接続しているアンテナや外部機器のケーブルを取り外す 119

ラックを取り外す 120

運ぶ 122

ふろく

設定や調整をお買い上げ時の状態に戻す方法、地上放送のチャンネルスキャンを行った場合に登録されるチャンネルの一覧、地上デジタル放送の放送一覧(予定)、本機の仕様を記載しています。

お買い上げ時の状態に戻す(設定内容を初期化する) 123
- 初期化1、初期化2を行う 123
- すべての設定内容を初期化する 124

地上アナログ放送の放送一覧 126

地上デジタル放送の放送(予定)一覧 138

仕様 142

索引 144

付属品の確認 ....裏表紙

安全上のご注意

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　接触禁止　水ぬれ禁止

行為を指示する記号

指示　電源プラグをコンセントから抜く

注意をうながす記号

注意

⚠警告

次のような異常のときは、すぐに電源を切り主電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにご相談ください。
(➡『操作・機能編』「サポートのご案内」)

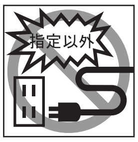
・煙が出ている、変な臭い、変な音がする。
・本機内部に水や異物が入った。
・本機を落とし、破損した。
そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

電源プラグをコンセントから抜く

サービスマン以外の方は、『取扱説明書』で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。

内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

分解禁止



交流 100V の電源電圧以外は使用しないでください。

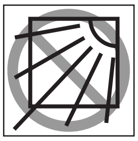
交流100V以外の電圧を使うと、火災・感電の原因となります。

禁止

本機は日本国内専用です。

電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災・感電の原因になります。
他国には独自の安全規格が定められており、本機は適合していません。

指示



本機または電池の入ったリモコンを、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

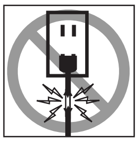
禁止

⚠警告

電源プラグの取り扱いには注意してください。

指示

取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。
取り扱いの際には、次の点を守ってください。
・たこ足配線はしない。
・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
・電源プラグは根元まで確実に差し込む。
・濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。
・電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。必ず、プラグ本体を持って抜く。



破損した電源ケーブルは、使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

取り扱いの際は、次の点を守ってください。
・電源ケーブルを加工しない。
・電源ケーブルの上に重いものを載せない。
・本機とラックの間に電源ケーブルをはさまない。
・ラックの足などで電源ケーブルを踏まない。
・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
・電熱器の近くに配線しない。
電源ケーブルが破損したら(芯線の露出、断線など)、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにご相談ください。(➡『操作･機能編』「サポートのご案内」)

雷が鳴り出したら、本機の接続およびアンテナ端子への接続作業を中止してください。また、電源プラグにさわらないでください。

接触禁止

感電の原因となります。

本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。

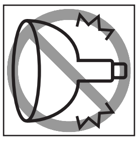
水ぬれ禁止

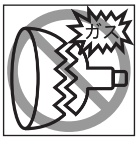
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

本機の吸気口・排気口から、金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

禁止

火災・感電の原因となります。





本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。次のことを守って安全にお使いください。

指示

以下の点を守らないと、けがや中毒を起こす原因となります。
・投写ランプに衝撃や傷を与えない。
・交換時期を超えて使用しない。
交換時期を超えると、破裂する可能性が一段と高まる。投写ランプ交換のメッセージが表示されたら、すみやかに新しい投写ランプと交換する。
・投写ランプが破裂した際は、破裂時に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないように注意するとともに、すみやかに部屋の換気を行う。
水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれている。万一、投写ランプ破裂時にガスを吸い込んだり、目や口にガスやガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受ける。
・投写ランプが破裂した際に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないようにするために、本機を使用中は、絶対に本機に顔を近づけない。
・投写ランプが破裂している場合は、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターに交換を依頼する。

⚠注意

湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

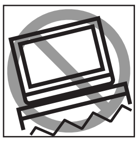
禁止

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような場所には設置しないでください。

・風通しの悪い狭いところ。
・じゅうたんなどの上。
・毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。

正常に使うために、本機の通風口と壁や家具の間隔を15cm以上離して設置してください。

禁止



ぐらついた台の上・傾いたところなど、不安定な場所に据え付けないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

本機の上に乗ったり、ぶら下がったり、重いものを置かないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

小さなお子様の手の届くところには、リモコンから取り外した電池を放置しないでください。

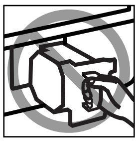
小さなお子様が電池を飲み込んだり、ノドに詰まらせることがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

禁止

ご使用中は、排気口の付近に、熱で変形するなど悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。

排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。

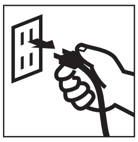
禁止



使用直後は、絶対に投写ランプを取り出さないでください。電源を切り主電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後投写ランプが十分冷えるまで約30分間お待ちください。

熱で、やけど・けがの原因となることがあります。

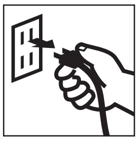
禁止



本機を長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをさしたままにすると、火災・感電の原因になることがあります。

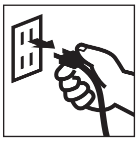
電源プラグをコンセントから抜く



本機を移動させる場合は、必ず主電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線をはずしたことを確認してから行ってください。

電源プラグの変形、電源コードの切断等により、火災・感電の原因となることがあります。

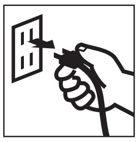
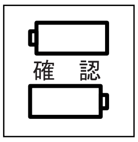
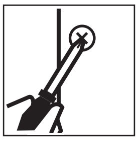
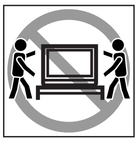
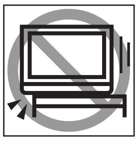
電源プラグをコンセントから抜く



お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

⚠注意		
	**本機に接続しているビデオ機器などを接続し直す場合は、必ず本機の主電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。** 誤ってコネクターの金属部分に触れると感電する危険があります。	電源プラグをコンセントから抜く
	**電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。** ・種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。 ・取扱説明書指定の電池以外は使用しない。 ・電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。 ・交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。 ・長期間使用しないときは、電池を取り出す。 ・電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まない。 ・極性(＋、－)を正しく入れる。 ・電池を充電しない。 電池を廃棄するときは、地域の回収ルールに従ってください。	注意
	アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お近くの電器店にご相談ください。 アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。 アンテナが倒れて送配電線に接触すると、感電の原因になります。	指示
	本機を設置するときは、市販のワイヤーを使用し壁などに本機を固定して、転倒防止の措置をしてください。 転倒防止の措置をしないと本機が倒れて、けがの原因になります。	指示
	振動のある所に置かないでください。 本機が倒れて、けがの原因になります。	禁止
	本機を持ち上げるときは、テレビ画面の上部枠と、背面にある手かけ部に手をかけて持ち上げてください。指を挟まないようにしてください。必ず２人以上で持ち上げてください。 正しい持ち方をしなかったり、1人で運んだりすると、本機が倒れて、けがの原因になります。	指示
	**すべてのボルトやネジ類は、所定の場所に確実に締め付けてください。** 間違った組み立て方をすると、けがの原因になります。	指示
	**ラックごと移動しないでください。** 本機が倒れて、けがの原因になります。	禁止
	**本機をラックに載せるときは、本機の一部がラックの上面からはみだしたり、前後左右いずれかに片寄った載せ方をしないでください。** 本機が倒れて、けがの原因になります。	禁止

使用上のご注意

■電子レンジ、掃除機等と一緒に使用しないでください。

本機の映像にノイズが入る場合があります。

■美しい画像でお楽しみいただくために、アンテナを定期的に点検・交換してください。

特に、ばい煙が多い所、潮風にさらされる所などでは、アンテナが早く傷んで映りが悪くなります。アンテナの点検はお近くの電器店にご相談ください。

■お手入れ方法に注意してください。

お手入れ方法を誤ると、変質したり、塗装がはげたりする原因になります。
お手入れについては『操作·機能編』の「お手入れのしかた」をよくお読みください。

■本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使用されています。

輸送するときは、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

- ●本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護し、堅固なダンボールなどでおおって精密機器と指定の上、輸送してください。
- ●輸送は、精密機器輸送が可能な宅配業者に精密機器であることを告げ、依頼してください。

お客様による輸送に起因して生じた障害・故障につきましては、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

■映像を映しているときに、点灯したままの点（ドット）や消灯したままの点が現れることがあります。

液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が見えたり、赤や青、緑などの点が常時点灯することがあります。また、すじ状に色むらや明るさむらが見えることもあります。これは、液晶パネルの特性で起きるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

■健康のために

- ●周囲を蛍光灯くらいの明るさ(100ルクス)にしてください。
- ●画面から2mほど離れてご覧ください。
- ●1時間に10分程度の休憩をとってください。

■B-CASカードは常に本機に装着してください。

本機にB-CASカードを装着しないとデジタル放送をご覧になることができません。本製品をご購入後、B-CASカードのユーザー登録を行ってください。

■万一、本製品の不具合によって生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等)は、補償致しかねます。

■本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた障害や損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

■当社純正品・当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

■製品の回収・再資源化について

本製品は、ブラウン管式テレビではありませんので、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)対象製品ではありません。

本製品を廃棄する場合は、以下の方法により適正な処理をしていただきますようお願いいたします。

家庭系：「一般廃棄物」として各地方自治体が指定する方法に従ってください。
事業系：「産業廃棄物」として適正な処理を行ってください。

家電リサイクル法の対象製品(特定家庭用機器)には、次の4品目が規定されています。
〔1〕エアコン
〔2〕テレビジョン受信機(ブラウン管式のものに限る。)
〔3〕電気冷蔵庫および電気冷凍庫
〔4〕電気洗濯機

※当社の「LIVINGSTATION」は液晶プロジェクション技術〔光学技術・画像処理技術および基幹デバイスとなる高温ポリシリコン(HTPS)液晶パネル技術〕を用いた「液晶プロジェクションテレビ」であり、「ブラウン管式」には該当いたしません。

■本製品のご使用にあたり

- プロジェクション方式のテレビには、視野角があります。なるべく正面で映像をご覧ください。
- 地上アナログ放送は元々の画質が悪いため、ハイビジョン放送と比較した場合に大画面テレビでは、今までご使用いただいていたテレビと比べて画質が悪く感じることがあります。
- 本製品は、[電源] ボタンを押すと待機状態になります。待機状態の場合は電力を消費していますので、完全に電源を切る場合には、本体前面の主電源スイッチを「切」にしてください。また、長期間使用しない場合には、電源プラグをコンセントから抜いて電源を切ることをおすすめします。(➡P.10、P.11)
- 本製品の設定をお買い上げ時の状態から変更した場合、消費電力が増加することがあります。
- 本製品は光源として投写ランプを内蔵しています。ランプ交換のメッセージが表示された場合は、投写ランプの交換が必要です。
- 登録やご使用方法などB-CASカードの詳細については、「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」(カードが貼ってある台紙)をよくお読みください。
- 静止画や4:3画面を長時間映したままにしておくと、残像(焼き付き)が発生する場合がありますのでご注意願います。
  静止画は同じ絵柄を長時間表示せず、定期的に異なる絵柄を映すことをお勧めします。
  4:3のテレビ放送や、DVD等をご覧になる場合は、画面モードを「ワイド」や「フル」、「ズーム」にしてご覧になることをお勧めします。

本機の準備の流れ

本機をご覧になるための準備の流れは以下のとおりです。

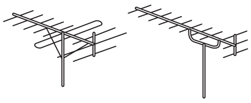
■付属品を確認する(➡裏表紙)

↓

■本機を設置する(➡P.14～P.19)

↓

■アンテナをつなぐ(ご覧になる放送のアンテナを接続してください。)(➡P.20～P.23)

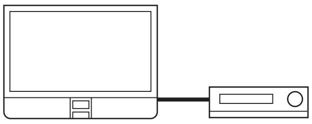


↓

■電話回線を接続する(電話回線での通信を行わない場合は接続は不要です。)(➡P.24～P.25)

↓

■オプション機器、外部機器をつなぐ(お使いになる機器を接続してください。)(➡P.26～P.37)

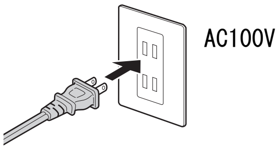


↓

■B-CASカードを装着する(➡P.38、P.39)

↓

■電源プラグを差し込み、主電源スイッチを「入」にする(➡P.10、P.11)



↓

■リモコンに電池を入れ、本機の電源を入れる(➡P.40～P.41)

↓

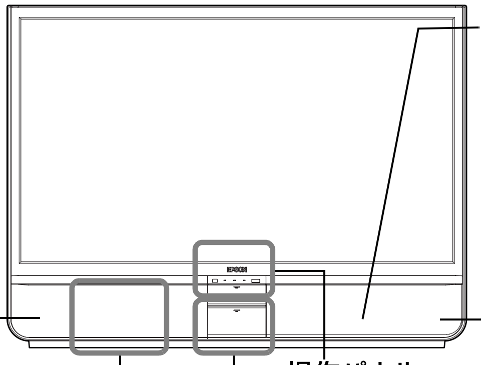
■「はじめての設定をする」をご覧になり設定する(➡P.43)

各部の名称とはたらき

ここでは本体前面・背面の名称と働きを説明します。リモコンについては(➡『操作･機能編』「各部の名称とはたらき」)をご覧ください。

前面

Sシリーズをご使用の場合



スピーカー(左)
映像の音声を出力します。

投写ランプカバー
(➡『操作･機能編』「投写ランプの交換」)
投写ランプを交換するときにカバーを開けて投写ランプを取り出します。

⚠注意 投写ランプ交換時以外は開けないでください。

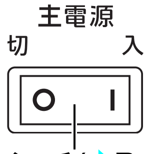
スピーカー(右)
映像の音声を出力します。

B−CASカード挿入口

操作パネル

主電源スイッチ/前面端子

主電源スイッチ



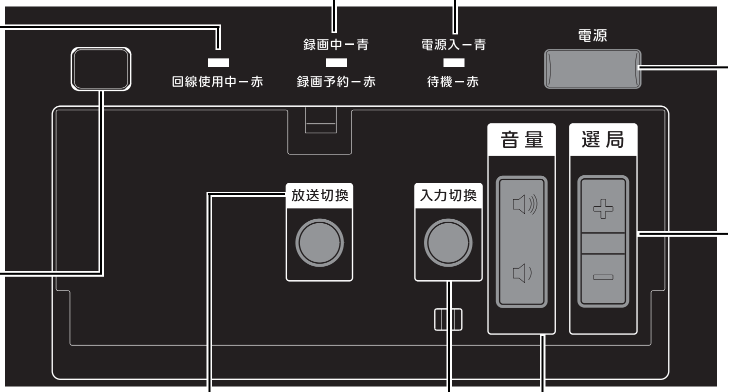
主電源スイッチ(➡P.41、P.42)
本機の主電源を入れる/切るときに使用します。
［入］：本機が待機状態になります。
［切］：本機の電源を完全に切ることができます。

操作パネル

録画ランプ(➡『操作･機能編』「LEDランプの見かた」)
録画の状態を示します。

電源ランプ(➡『操作･機能編』「LEDランプの見かた」)
電源の状態を示します。

回線使用中ランプ(➡『操作･機能編』「LEDランプの見かた」)
電話回線での通信状態を示します。



［電源］ボタン(➡P.41)
本体の電源を入れる/切るときに使用します。
リモコンの ⏻ と同じ操作ができます。

［選局］ボタン
(➡『操作･機能編』「チャンネル順に切り換えて選ぶ」)
ご覧になる放送のチャンネルを切り換えます。

リモコン受光部
リモコンの信号を受信します。

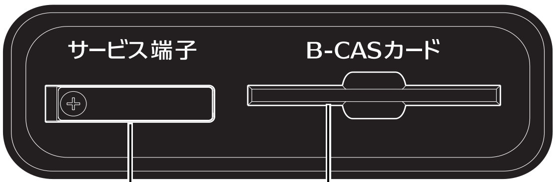
［放送切換］ボタン
ご覧になる放送の種類を切り換えます。
押すたびに次の順で切り換わります。

地上デジタル放送 → 地上アナログ放送 → BSデジタル放送 → 110度CSデジタル放送 → (地上デジタル放送)

［入力切換］ボタン
(➡『操作･機能編』「DVDプレーヤーやゲーム機、コンピュータ(GLシリーズの場合のみ)の映像を見る」)
ご覧になる外部機器の映像を切り換えます。
リモコンの 入力切換 と同じ操作ができます。

［音量］ボタン
ご覧になる映像の音量を調整します。
リモコンの［音量 🔊/🔉］と同じ操作ができます。

B-CASカード挿入口

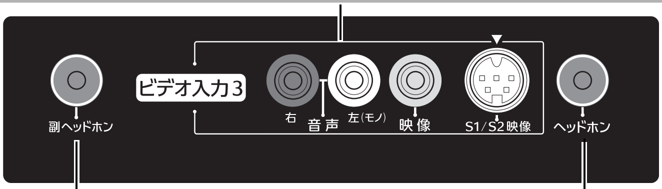


［サービス］端子
修理などのサービス業務に使います。通常は使用しません。

B-CASカード挿入口
(➡P.38)
B-CASカードを挿入します。

前面端子

［ビデオ入力3］(➡P.27)
ビデオ機器やゲーム機と接続します。
［S1/S2映像］端子：ビデオ機器の映像出力端子と接続します。
［映像］端子：ビデオ機器の映像出力端子と接続します。
［音声］端子：ビデオ機器の音声出力端子と接続します。

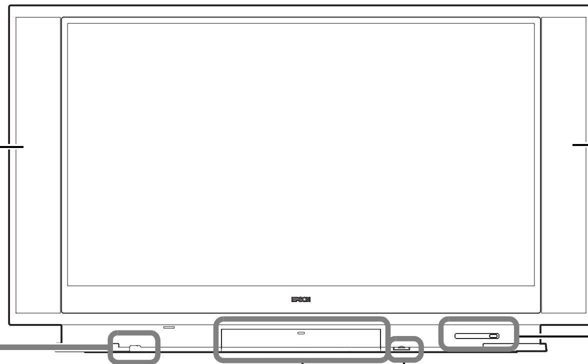


［副ヘッドホン］端子(➡『操作･機能編』「2画面の音声を聞く」)
ご覧になっている映像の音声をヘッドホンやイヤホンで聞くときに接続します。音量調整ができ、2画面表示のときは副画面の音声を聞くことができます。

［ヘッドホン］端子
ご覧になっている映像の音声をヘッドホンやイヤホンで聞くときに接続します。接続するとスピーカーからの音声は消えます。

GLシリーズをご使用の場合

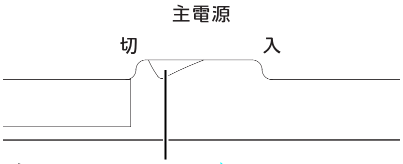
フォトビューワ機能で使用する端子やボタンの説明は『フォトビューワ編』でご確認ください。



スピーカー(左)
映像の音声を出力します。

スピーカー(右)
映像の音声を出力します。

主電源スイッチ



主電源スイッチ(➡P.41、P.42)
本機の主電源を入れる/切るときに使用します。
[入]：本機が待機状態になります。
[切]：本機の電源を完全に切ることができます。

操作パネル

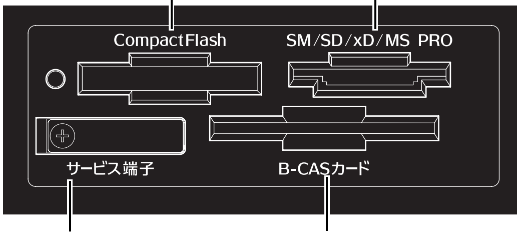
とびら
とびら内にメモリカード/B-CASカード挿入口と前面端子があります。
とびらは、くぼみを軽く押すと開きます。

吸気口(エアーフィルター)
(➡『操作・機能編』「エアーフィルターの掃除」)
吸気時に本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。定期的に掃除してください。

メモリカード/B-CASカード挿入口

CompactFlash挿入口
(➡『フォトビューワ編』「各部の名称とはたらき」)

SM/SD/xD/MS PRO挿入口(➡『フォトビューワ編』「各部の名称とはたらき」)



サービス端子
修理などのサービス業務に使います。
通常は使用しません。

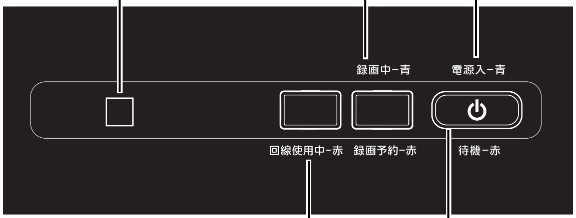
B-CASカード挿入口
(➡P.38)
B-CASカードを挿入します。

操作パネル

録画ランプ(➡『操作・機能編』「LEDランプの見かた」)
録画の状態を示します。

リモコン受光部
リモコンの信号を受信します。

電源ランプ
(➡『操作・機能編』「LEDランプの見かた」)
電源の状態を示します。



回線使用中ランプ
(➡『操作・機能編』「LEDランプの見かた」)
電話回線での通信状態を示します。

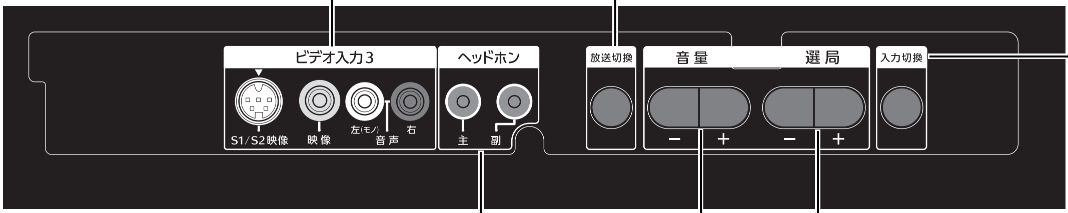
[電源]ボタン(➡P.41)
本体の電源を入れる/切るときに使用します。
リモコンの ⏻ と同じ操作ができます。

前面端子

[ビデオ入力3] (➡P.27)
ビデオ機器やゲーム機と接続します。
[S1/S2映像]端子：ビデオ機器のS映像出力端子と接続します。
[映像]端子：ビデオ機器の映像出力端子と接続します。
[音声]端子：ビデオ機器の音声出力端子と接続します。

[放送切換]ボタン
ご覧になる放送の種類を切り換えます。
押すたびに次の順で切り換わります。

→地上デジタル放送 → 地上アナログ放送 → BSデジタル放送 → 110度CSデジタル放送 →



[ヘッドホン]端子
ご覧になっている映像の音声をヘッドホンやイヤホンで聞くときに接続します。
[主]端子：接続するとスピーカーからの音声は消えます。
[副]端子：音量調整ができ、2画面表示のときは副画面の音声を聞くことができます。

[音量]ボタン
ご覧になる映像の音量を調整します。
リモコンの[音量 🔊/🔉]と同じ操作ができます。

[選局]ボタン
(➡『操作・機能編』「チャンネル順に切り換えて選ぶ」)
ご覧になる放送のチャンネルを切り換えます。

[入力切換]ボタン
(➡『操作・機能編』「DVDプレーヤーやゲーム機、コンピュータ(GLシリーズの場合のみ)の映像を見る」)
ご覧になる外部機器の映像を切り換えます。
リモコンの 入力切換 と同じ操作ができます。

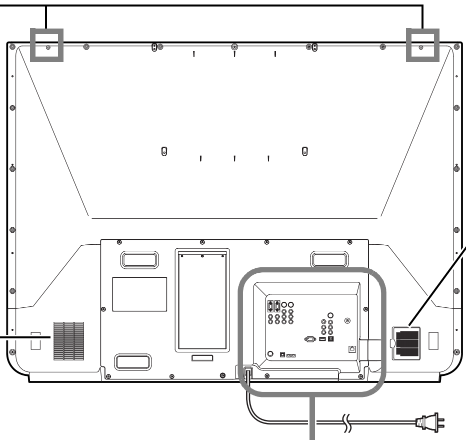
背面

Sシリーズをご使用の場合

転倒防止クリップ用ネジ穴
(➡P.19)
付属の転倒防止用クリップを取り付け、転倒防止措置をします。

排気口

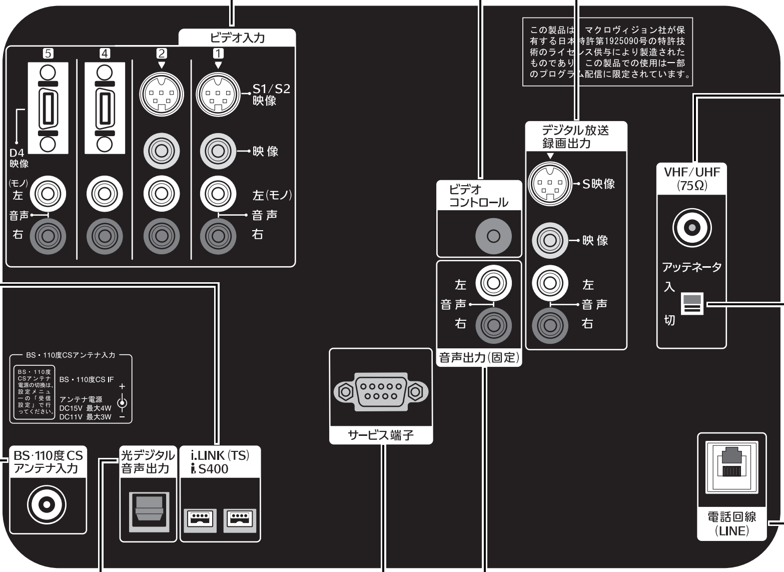
吸気口(エアーフィルター)
(➡『操作・機能編』「エアーフィルターの掃除」)
吸気時に本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。定期的に掃除してください。



[ビデオ入力1/2/4/5]端子(➡P.26)
ビデオ機器と接続します。
[S1/S2映像]端子
ビデオ機器のS映像出力端子と接続します。
[映像]端子
ビデオ機器の映像出力端子と接続します。
[D4映像]端子
ビデオ機器の映像出力端子と接続します。
[音声]端子
ビデオ機器の音声出力端子と接続します。

[ビデオコントロール]端子
(➡P.32)
ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約や一発録画するときに使用します。

[デジタル放送録画出力]端子
(➡P.29)
デジタル放送、または[i.LINK]端子からの信号をアナログ信号で出力します。録画機器に映像や音声を送るときに使用します。



[VHF/UHF(75Ω)]端子
(➡P.20)
VHF/UHFアンテナ線を接続します。

[i.LINK(TS) S400]端子(➡P.33)
i.LINK端子のある接続機器と接続するときに使用します。

[アッテネータ]スイッチ
お住まいの場所が電波の送信元に近い場合、電波が強すぎることがあります。この場合に「入」に切り換えます。

[BS・110度CSアンテナ入力]端子
(➡P.22)
BS・110度CSデジタル用アンテナ線を接続します。

[光デジタル音声出力]端子
(➡P.31)
接続機器の光デジタル音声入力端子と接続するときに使用します。光ファイバーケーブルを使って接続します。

[サービス]端子
修理などのサービス業務に使います。通常は使用しませんので、シールをはがさないでください。
⚠注意 ほかの機器を接続しないでください。

[音声出力(固定)]端子
(➡P.30)
オーディオ機器などに接続して音声を楽しむときに使用します。

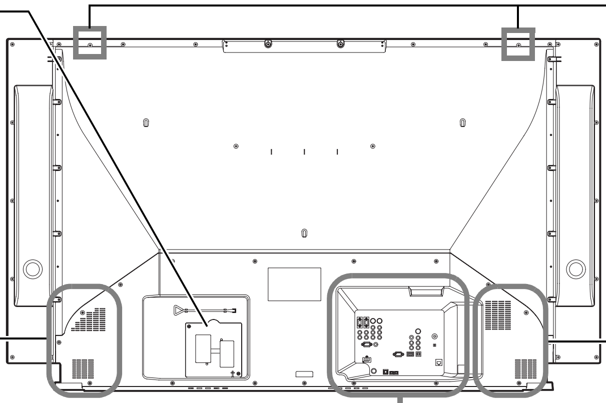
[電話回線(LINE)]端子
(➡P.24)
電話回線を使用して通信を行うときに使用します。

GLシリーズをご使用の場合

投写ランプカバー(➡『操作・機能編』「投写ランプの交換」)
投写ランプを交換するときにカバーを開けて投写ランプを取り出します。

⚠注意 投写ランプ交換時以外は開けないでください。

転倒防止クリップ用ネジ穴(➡P.19)
付属の転倒防止用クリップを取り付け、転倒防止措置をします。



排気口

排気口

[ビデオ入力1/2/4/5]端子(➡P.26)

ビデオ機器と接続します。

[S1/S2映像]端子：ビデオ機器のS映像出力端子と接続します。
[映像]端子：ビデオ機器の映像出力端子と接続します。
[D4映像]端子：ビデオ機器の映像出力端子と接続します。
[音声]端子：ビデオ機器の音声出力端子と接続します。
[HDMI]端子：ビデオ機器のHDMI端子と接続します。
[HDMI兼用]端子：ビデオ機器の映像出力端子をビデオ入力5の[D4映像]端子に接続した場合に、ビデオ機器の音声出力端子と接続します。また、HDMI端子に接続する機器の音声を2ch音声信号(アナログ)で入力する場合に接続します。(➡P.26)

※ビデオ入力5端子の[D4映像]端子と[HDMI]端子の両方に機器を接続していて、[HDMI]端子に接続している機器の電源が入っている場合は、[HDMI]端子からの映像が表示されます。(➡『操作・機能編』「DVDプレーヤーやゲーム機、コンピュータ(GLシリーズの場合のみ)の映像を見る」)

[音声出力(固定)]端子(➡P.30)
オーディオ機器などに接続して音声を楽しむときに使用します。

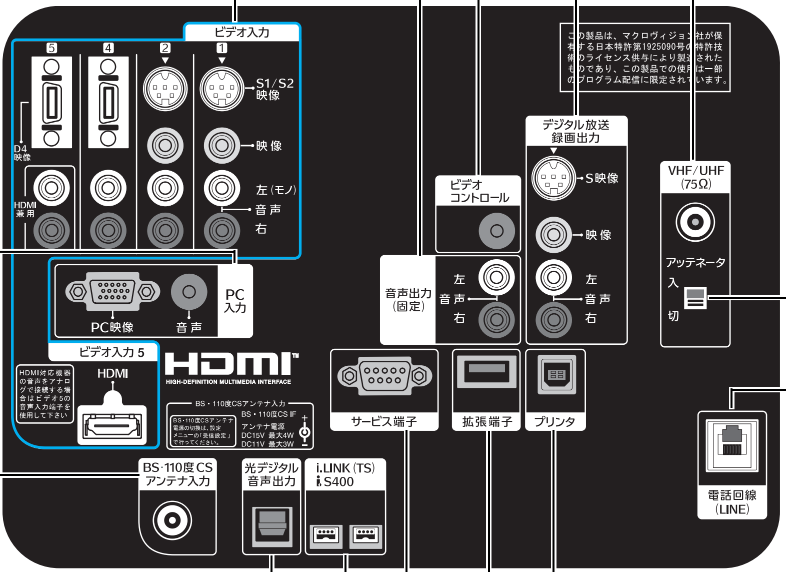
[ビデオコントロール]端子(➡P.32)
ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約や一発録画するときに使用します。

[デジタル放送録画出力]端子(➡P.29)
デジタル放送、または[i.LINK]端子からの信号をアナログ信号で出力します。録画機器に映像や音声を送るときに使用します。

[VHF/UHF(75Ω)]端子(➡P.20)
VHF/UHFアンテナ線を接続します。

[アッテネータ]スイッチ
お住まいの場所が電波の送信元に近い場合、電波が強すぎることがあります。この場合に「入」に切り換えます。

[PC入力](➡P.37)
コンピュータと接続します。
[PC映像]端子
コンピュータのモニタ出力端子と接続します。
[音声]端子
コンピュータの音声出力端子と接続します。



[電話回線(LINE)]端子(➡P.24)
電話回線を使用して通信を行うときに使用します。

[BS・110度CSアンテナ入力]端子(➡P.22)
BS・110度CSデジタル用アンテナ線を接続します。

[プリンタ]端子(➡『フォトビューワ編』「プリンタを接続/取り外す」)

[拡張端子](➡『フォトビューワ編』「外部記憶装置を接続する/取り外す」)

[光デジタル音声出力]端子(➡P.31)
接続機器の光デジタル音声入力端子と接続するときに使用します。光ファイバーケーブルを使って接続します。

[サービス]端子
修理などのサービス業務に使います。通常は使用しませんので、シールをはがさないでください。
⚠注意 ほかの機器を接続しないでください。

[i.LINK(TS) S400]端子(➡P.33)
i.LINK端子のある接続機器と接続するときに使用します。

設置について

本機の設置は、配送時にサービスマンが行います。
設置場所を移動される場合には、このページに記載されている内容をよくお読みになり、作業を行ってください。

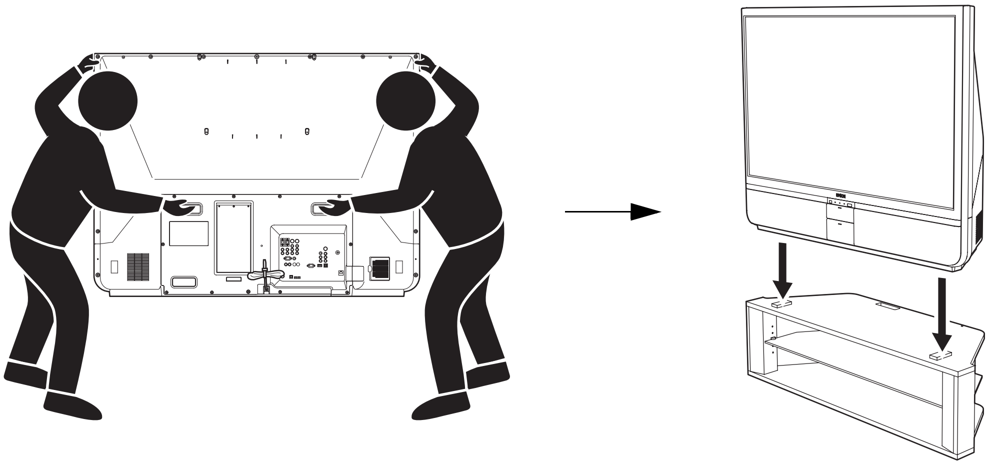
- 本機を設置した後は必ず転倒防止措置を行ってください(転倒防止措置はサービスマンは行いません)。(➡P.19)

本機をラック(オプション品)に載せる

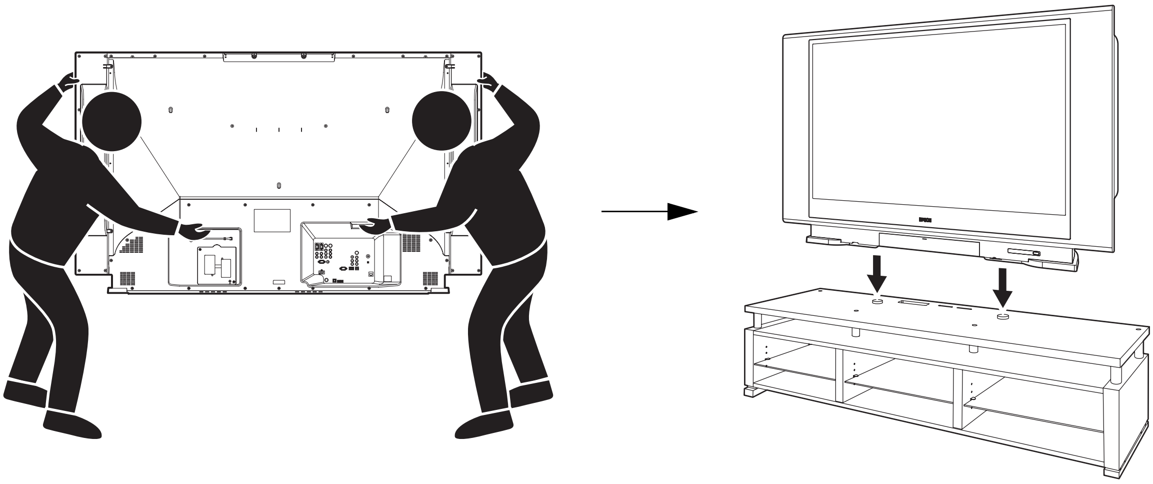
本機をラックに載せる

本機を持ち運びするときは、画面の上部枠と背面の手かけ部に手をかけてください。
ラックは、本機用の純正品をお使いください。落下防止のために、本機とラックを金具やベルトなどで固定できるように設計されています。落下防止のために必ず固定してご使用ください。

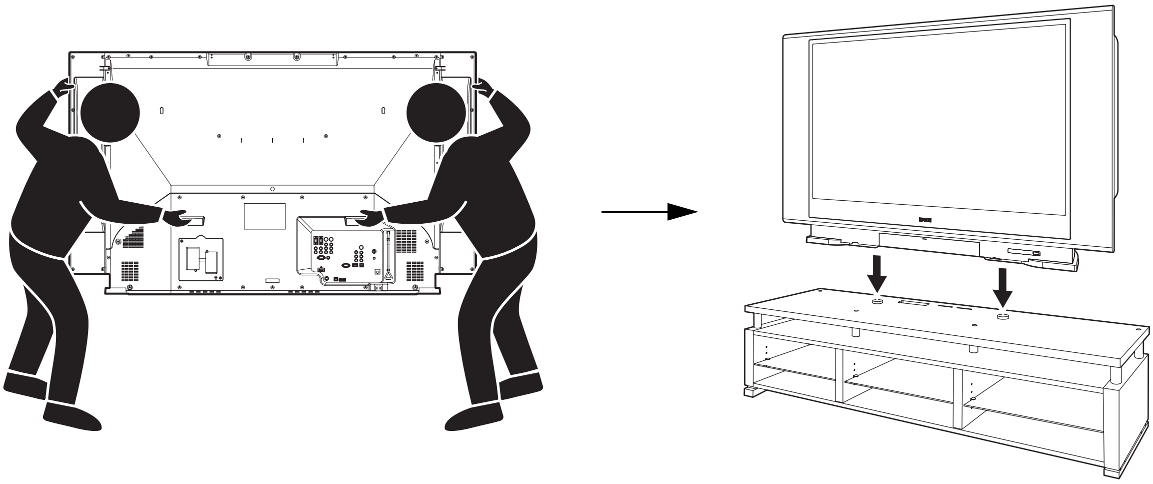
Sシリーズをご使用の場合



GLシリーズ(65V型)をご使用の場合



GLシリーズ(55V型)をご使用の場合



⚠ 注 意

- 必ず 2 人以上で持ち上げてください。正しい持ち方をしなかったり、1 人で運んだりすると、本機が倒れて、けがの原因になります。
- 水平で安定した場所に据え付けてください。不安定な場所に据え付けると、本機が倒れて、けがの原因になります。
- 本機をラックに載せるときは、本機の一部がラック上面からはみ出す、または前後左右いずれかに片寄るなどの載せ方をしないでください。本機が倒れて、けがの原因になります。
- 本機を設置する場合は、吸気口や排気口をふさがないように本機の周囲に15㎝以上の隙間が必要です。

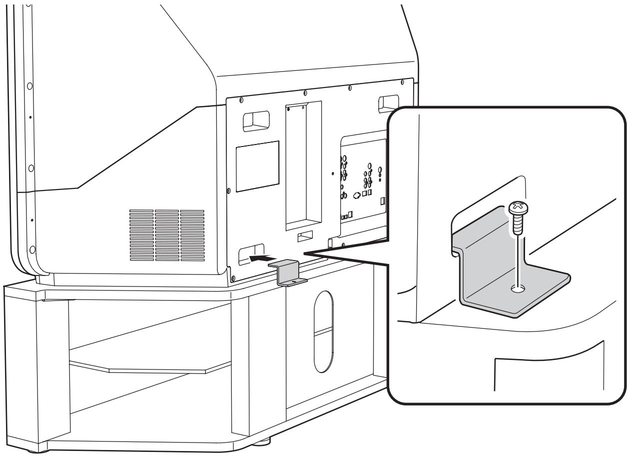
ラックに固定する

ご使用になっている本機とラックにより、固定方法が異なります。あらかじめ本機の機種とご使用になっているラックの型番をご確認をうえ作業を行ってください。

Sシリーズをご使用の場合

ラック(ELSRA3、ELSRA4)での固定方法

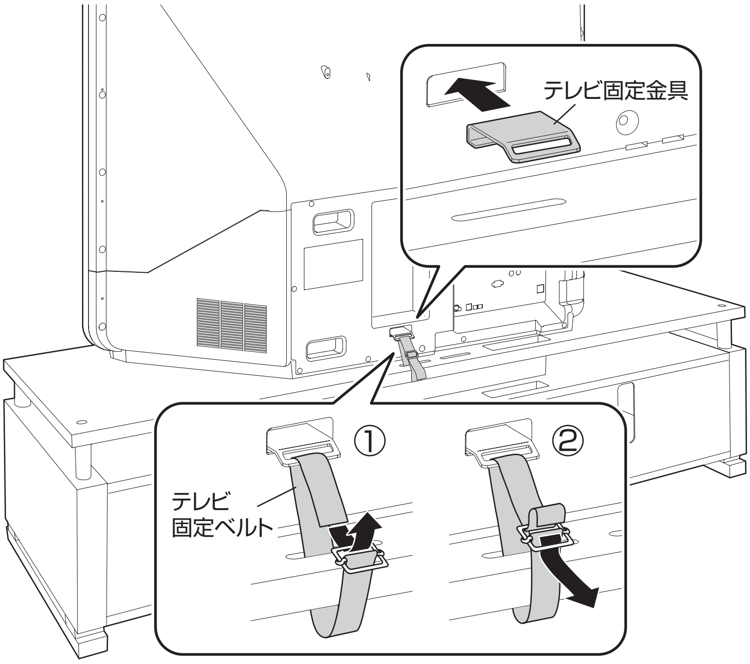
テレビ固定金具を本機背面の手かけ部分に差し込み、天板の穴位置と金具の穴位置を合わせ、金具取付ネジでテレビ固定金具を留めます。



ラック(ELSRA5)での固定方法

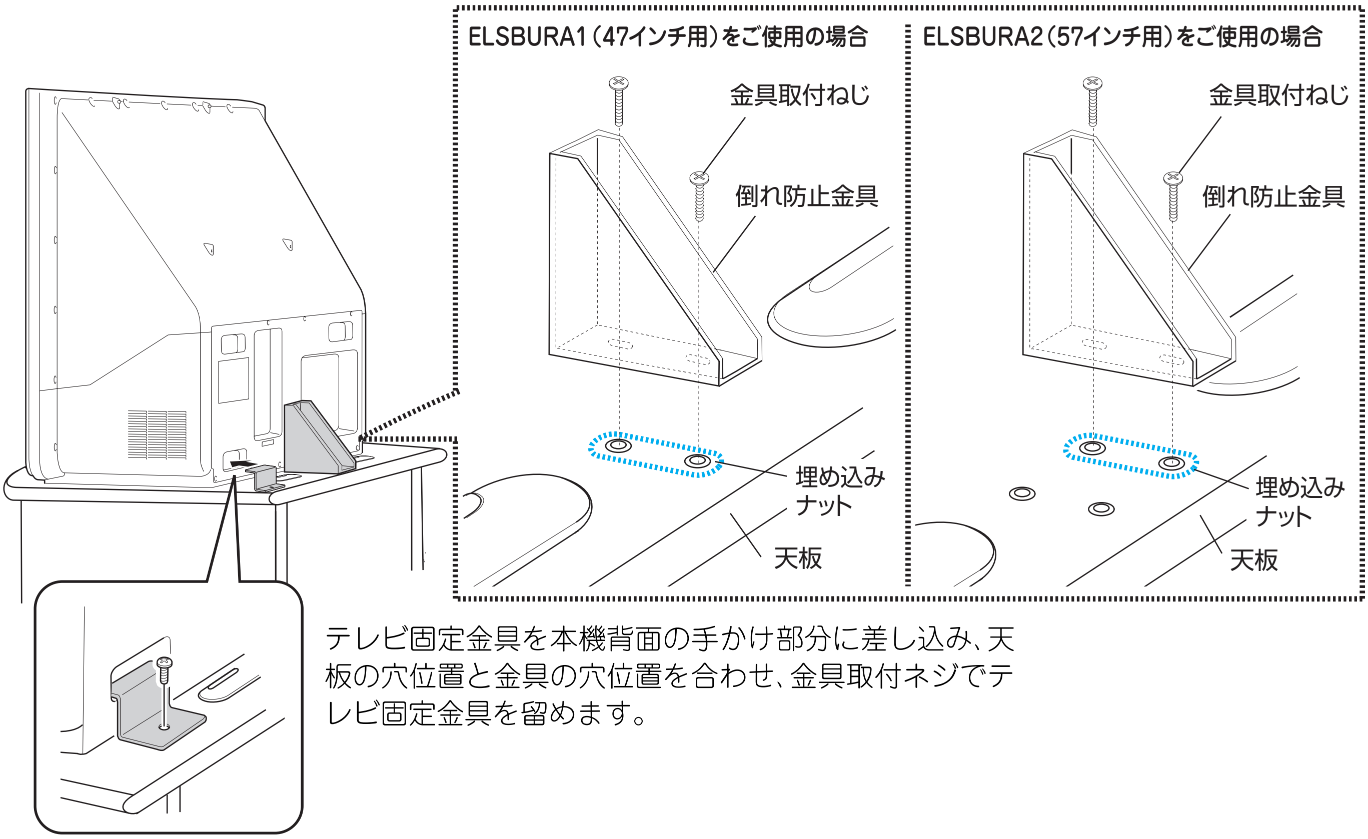
テレビ固定金具を本機背面に差し込みます。

テレビ固定ベルトを図のようにテレビ固定金具とラックの穴に通して、しっかり留めます。



業務用ラック(ELSBURA1、ELSBURA2)での固定方法

天板の埋め込みナット位置と倒れ防止金具の穴位置を合わせ、金具取付ねじで倒れ防止金具を固定します。



テレビ固定金具を本機背面の手かけ部分に差し込み、天板の穴位置と金具の穴位置を合わせ、金具取付ネジでテレビ固定金具を留めます。

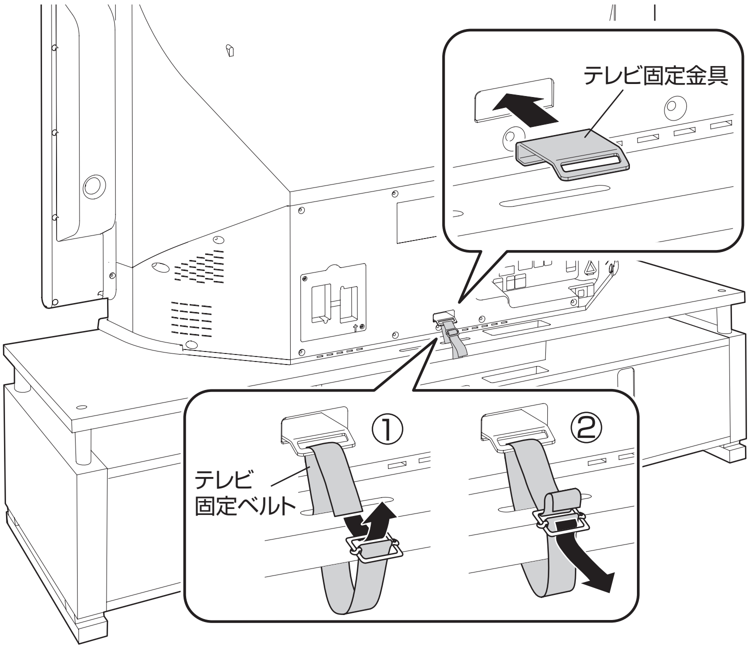
注 意

倒れ防止金具を取り付ける場合は、イラストで指示している埋め込みナットを使用してください。

GLシリーズをご使用の場合

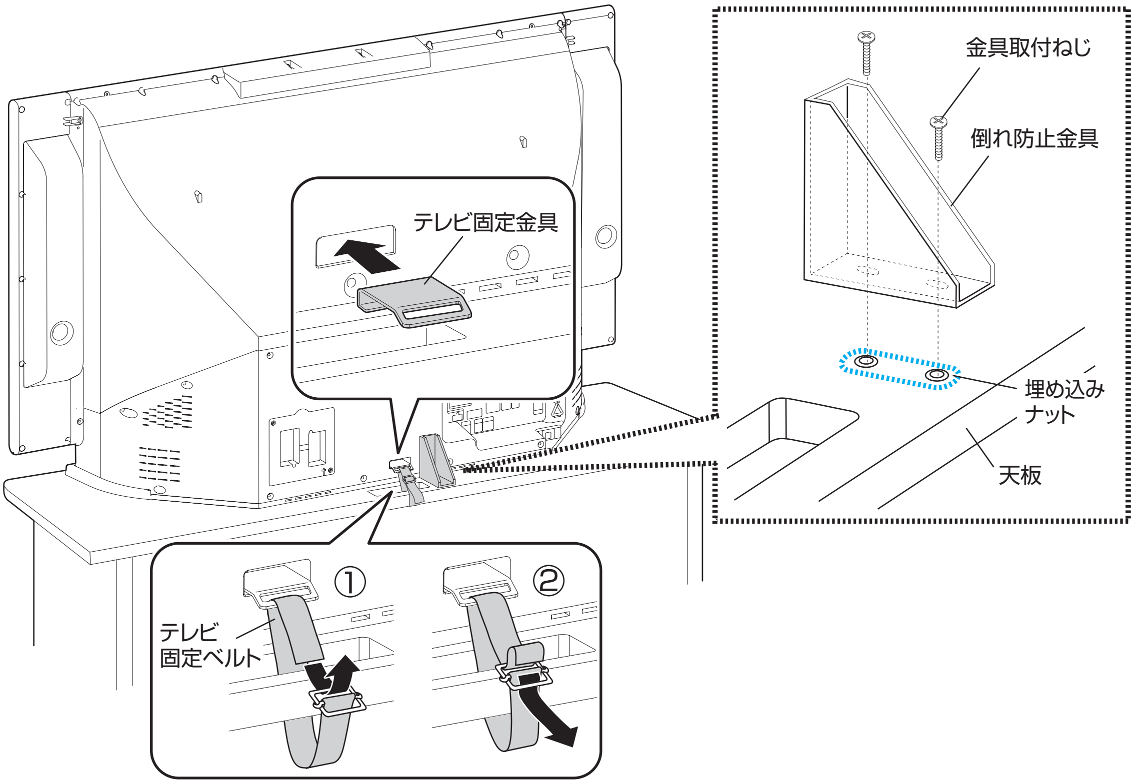
ラック(ELSRA5)での固定方法

テレビ固定金具を本機背面に差し込みます。
テレビ固定ベルトを図のようにテレビ固定金具とラックの穴に通して、しっかり留めます。



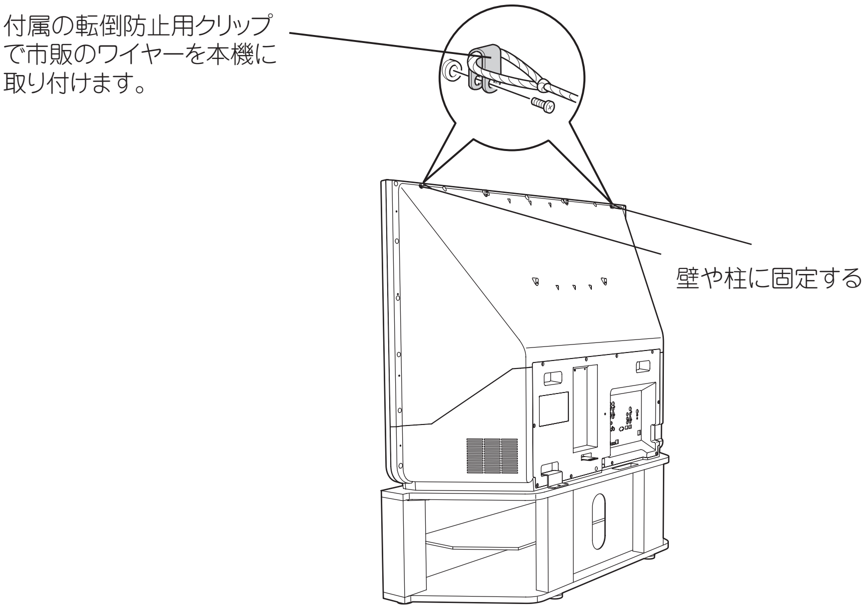
業務用ラック(ELSBURA3)での固定方法

倒れ防止金具を取り付けます。
テレビ固定金具を本機背面に差し込み、テレビ固定ベルトを図のようにテレビ固定金具とラックの穴に通して、しっかり留めます。



転倒防止措置をする

転倒防止のため、設置後は市販のワイヤーなどで本機を壁などに固定してください。
ご使用になっているシリーズによって、転倒防止用クリップの取り付け位置が異なります。位置を確認して取り付けてください。（➡P.12、P.13）



⚠ 注 意

必ず転倒防止措置を行ってください。措置を行わない場合、地震などで本機が倒れて、けがの原因になります。

アンテナ線の接続と設定

アンテナ工事には技術と経験が必要です。詳しくは、お近くの電器店にご相談ください。
CATVについては、お住まいの地域のCATV会社にお問い合わせください。

※Sシリーズのイラストで接続方法を説明していますが、断りのないかぎりGLシリーズでの接続方法も同じです。

地上アナログ･地上デジタル用アンテナ線をつなぐ

地上アナログ、または地上デジタル放送をご覧になるときは、VHF/UHFアンテナとつなぎます。
地上デジタルのアンテナは、これまでお使いの地上アナログのUHFアンテナを使用できる場合があります。ただし、地域によっては、アンテナの取り替えや向きの変更、ブースター(増幅器)の追加などが必要となることがあります。
現在VHFアンテナをご使用になっていて、これから地上デジタル放送をご覧になる場合は、地上デジタル放送のチャンネルに対応したUHFアンテナの設置が必要です。

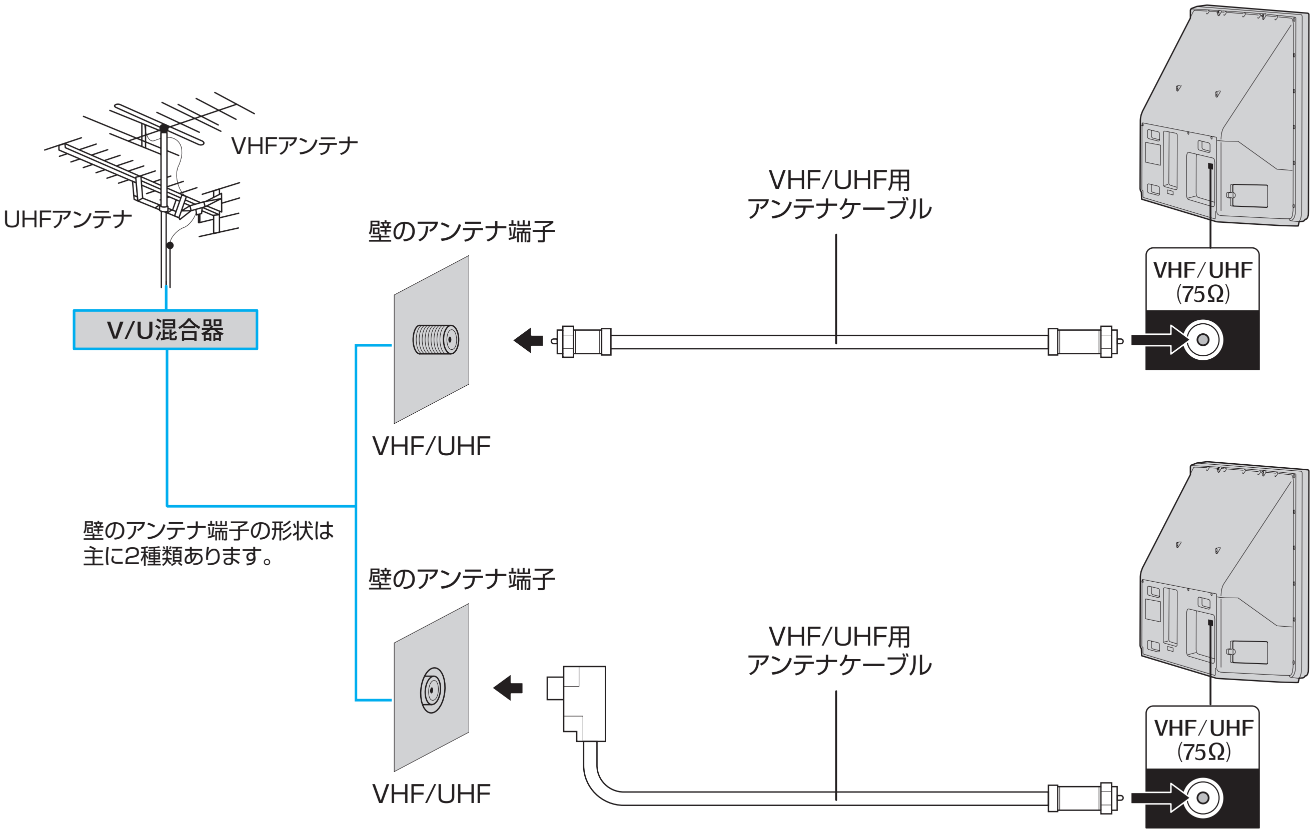
接続が終わったら

本機の設定を行います。詳しい設定内容などは、「はじめての設定をする」(➡P.43)をご覧ください。

アンテナ端子の形状によって、アンテナのつなぎ方は異なります。

アンテナ線がVHF/UHF混合の場合(あるいは、VHFのみ、またはUHFのみの場合)

壁のアンテナ端子には、下の2種類があります。壁のアンテナ端子の形状によって接続ケーブルが異なります。次の図を参考にしてください。

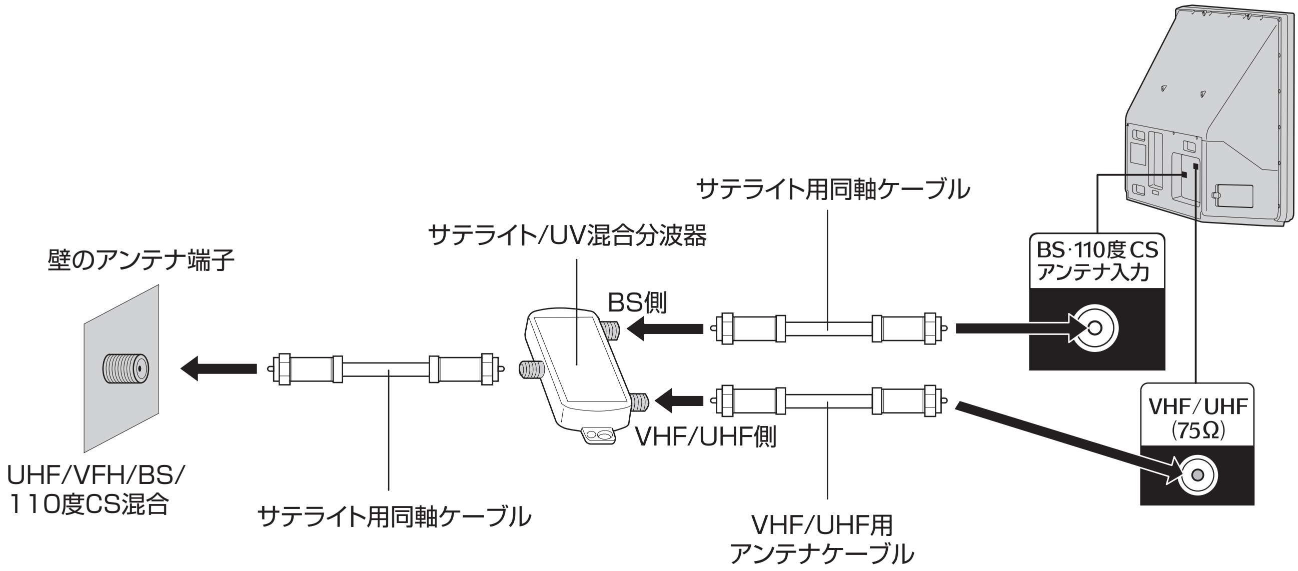


ポイント

電波の送信元付近の地域では、電波が強すぎるため近隣のチャンネルなどの干渉を受けて、画面にノイズが入ることがあります。
そのときは、本機背面のアッテネータスイッチを「入」に切り換えてください。(➡P.12、P.13)

接続する

マンションなど共同受信システム(VHF/UHF/BS/110度CS混合)



共同受信システムをご利用の場合、通常BS・110度CSデジタル用アンテナには、あらかじめ電源が供給されています。本機から電源を供給する必要がありませんので、「BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給」の設定を「供給しない」にしてください。(➡P.67)

ポイント

- お使いのアンテナ線がVHFとUHFが別になっているときは、V/U混合器(市販品)が必要です。
- 接続するときは必ず本機、および接続する機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- VHF/UHFアンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。やむを得ず平行フィーダー線をご使用の場合は、お近くに電器店にご相談ください。
- BS・110度CSデジタル用アンテナケーブルから影響を受けない距離まで離してください。(一緒に重ねたり、束ねたりしないでください。)
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。
- VHFとUHFアンテナは定期的に点検・交換してください。通常、アンテナの設置場所は屋外のため、傷みやすく性能が低下します。特に、ばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お近くの電器店にご相談ください。
- VHFとUHFのアンテナ接続の際には、「GR(ゴーストリダクション)設定(地上Aの場合)」(➡P.87)を「オフ」にしてください。(お買い上げ時は「モード1」に設定されています。)

BS･110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた

BSデジタル、または110度CSデジタル放送をご覧になるときは、衛星アンテナとつなぎます。

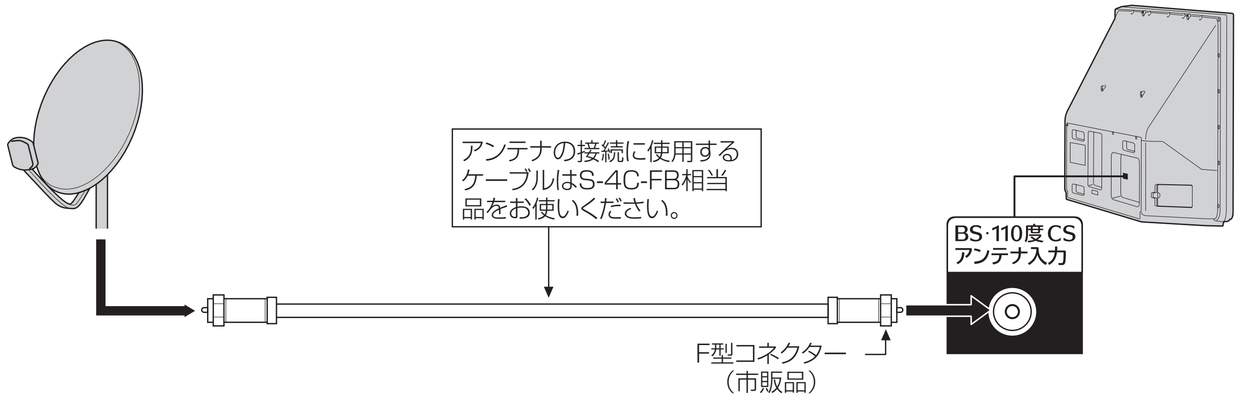
- BSデジタル放送だけご覧になる場合は、BSデジタル用アンテナを、110度CSデジタル放送もあわせてご覧になる場合は、BS・110度CSデジタル用アンテナをご使用ください(以下これらのアンテナをBS・110度CSデジタル用アンテナと省略して記載します)。
- 本機と衛星アンテナは直接つないでください。
- 本機とBS･110度CSデジタル用の衛星アンテナをつなぐケーブルは、BS･110度CSデジタル対応のものをお使いください。
- アンテナをつないだ後にアンテナの方向調整が必要です。(➡P.65)
- 衛星アンテナは、本機の電源プラグを抜いてからつないでください。
- BS・110度CSデジタル放送用アンテナの取扱説明書もご覧ください。

接続が終わったら

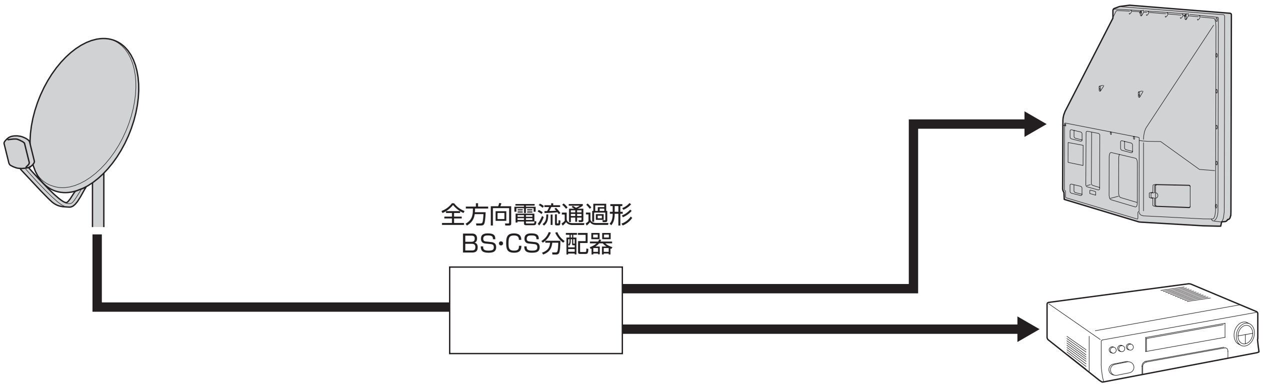
本機の設定を行います。詳しい設定内容などは、「はじめての設定をする」(➡P.43)をご覧ください。

BS・110度CSデジタル用アンテナをつなぐとき(BSデジタル用アンテナの場合も同様です)

BS・110度CSデジタル用アンテナからのケーブルをつなぎます。この端子は、BS・110度CSデジタル用アンテナへ電源を供給するはたらきをしています。芯線とアース線がショートしないようにしてください。



BS･110度CSデジタル用アンテナ1台で、本機とBS内蔵ビデオなど2台以上をつなぐとき(BSデジタル用アンテナの場合も同様です)



ポイント

- BS・CS分配器をご使用の場合は全方向電流通過形分配器で、周波数2150MHzに対応したものをご使用ください。
- BSや110度CS機器をつなぐときは、BSや110度CS機器付属の取扱説明書をご覧ください。
- 将来、110度CSデジタル放送でチャンネルが増えた場合(左旋円偏波で放送された場合)、ご使用のアンテナによっては、分配器が使用できない場合があります。
- スカイパーフェクTV! 用のアンテナでは、110度CSデジタル放送を受信することはできません。

■アンテナ電源について

アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。お買い上げ時は「供給する」に設定されています。本機の主電源を切ったときアンテナ電源は供給されません。

「供給する」に設定されている場合、本機の電源が「待機」の状態では、通常アンテナ電源は供給されませんが、契約情報の更新や予約実行またはダウンロード実行などの際には自動的に供給されます。

BS内蔵ビデオを直接、衛星アンテナに接続している場合は、本機以外からのアンテナ電源供給が必要です。

- 共同受信システムをご利用の場合、通常、BS・110 度 CS デジタル用アンテナにはあらかじめ電源が供給されています。本機から供給する必要はありませんので、「BS・110度CSアンテナ電源供給」の設定を「供給しない」にしてください。(➡P.67)
- BS内蔵ビデオを直接、衛星アンテナに接続している場合は、本機のアンテナ電源供給は「供給しない」に設定してください。

■従来のBSアンテナについて

従来のBSアンテナのほとんどについては、BSデジタル放送を受信することができます。(110度CSデジタル放送の受信はできません。)ただし、従来のBSアンテナについては、BSデジタル放送受信に必要とされる「位相雑音性能」の規定がないため、BSデジタル放送を受信したとき、安定した受信ができない場合があります。その際には、BSデジタル用、またはBS・110度CSデジタル用アンテナをご使用ください。

■マンションなどの共同受信の場合

お住まいのマンションの共同受信設備でBSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できるかについては、マンションの管理会社や管理組合にご確認ください。既存の設備で受信できない場合には、BS・110度CSデジタル用アンテナの設置・接続が必要です。

電話回線の接続

⚠ 注 意

■モジュラー分配機、電話機コード、変換アダプターの端子に触れたり、分解や改造をしないでください。
電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などに高い衝撃電流が流れますので、感電の原因となります。

■正しく接続してください。
正しく接続しないと本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

次の機能やサービスを利用するときは、本機を電話回線につなぎます。

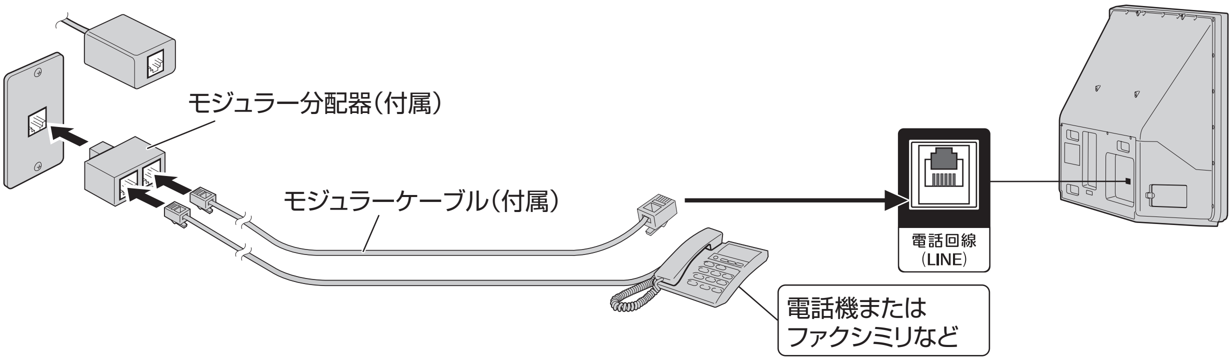
- 付属のB-CASカードに登録されている番組購入情報を自動的にセンターへ送るとき
- ペイ・パー・ビュー番組を購入するとき
- データ放送をご覧になっているときに、アンケートに答えるなど、放送局と通信を行うとき

お使いの電話回線に合わせて、つないでください。

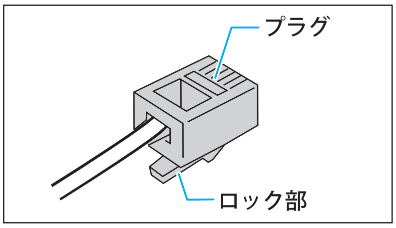
※Sシリーズのイラストで接続方法を説明していますが、断りのないかぎりGLシリーズでの接続方法も同じです。

接続が終わったら
本機の設定を行います。詳しい設定内容などは、「はじめての設定をする」(➡P.43)をご覧ください。

電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

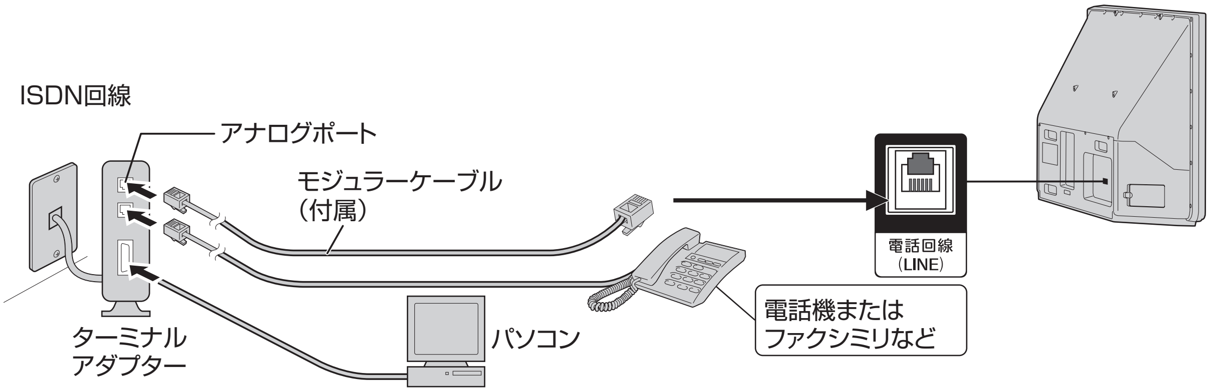


- 電話機コードの抜き差しをするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電話機コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。抜くときは、電話機コードを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。
- 本機がセンターと通信中は、電話機やファクシミリのご使用はできません。
- 本機は公衆電話、共同電話、携帯電話、PHSには接続できません。
- 構内交換機(PBX)には使用できないものがあります。
- 付属のモジュラーケーブル(10m)が短い場合は、市販の電話機コードをお求めください。



- 電話機やファクシミリをご利用にならないときは、直接電話回線につないでください。
- ホームテレホンを接続される場合は、ホームテレホンのメーカーにご相談ください。
- キャッチホン契約をされている場合は、本機の通信中に電話がかかってくると、エラーが生じ通信が終了します。
- キャッチホンⅡで契約されている場合は、通信はそのまま継続されます。
- 電話機やファクシミリを使用中のときは、本機での通信はできません。
- 一部のダイヤル式の電話機をご使用の場合には、本機が電話回線を通じてセンターと通信を行っているときに、電話機の呼出音が鳴る場合があります。呼出音が鳴らないようにしたい場合は、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器をご使用ください。
- ノイズの混入があると誤動作することがあります。冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くに電話機コードを近づけないでください。

ISDN回線(ターミナルアダプター)を使って電話をつないでいるとき

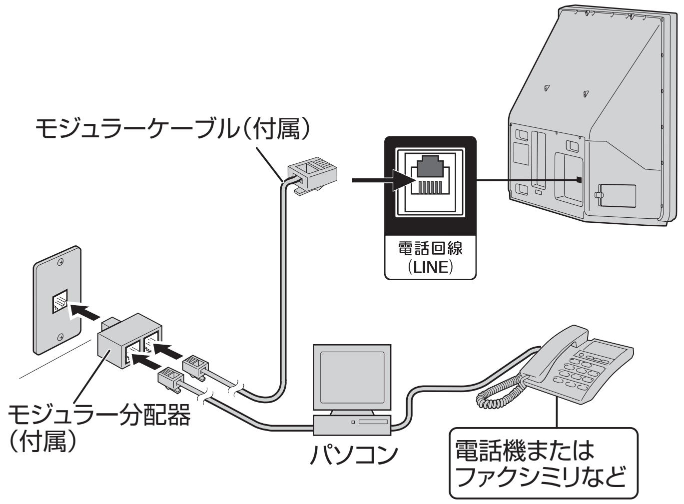


アナログポートに接続します。詳しくはターミナルアダプターの取扱説明書をお読みください。

ポイント

ISDN回線に本機を接続するときは、モジュラー分配器を使用せずに、直接アナログポートに接続してください。
「電話回線の設定」の「ダイヤル方式」で「トーン」に設定してください。(➡P.90)

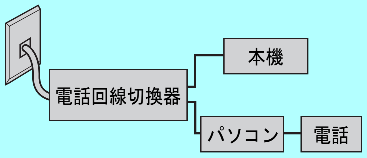
モデム内蔵のパソコンを接続している場合



ポイント

同じ電話回線に電話機やパソコン、ファクシミリなどを接続した場合、接続した機器の影響で、電話機の呼出音が鳴ったり、通信が正しく行われないことがあります。このような場合は、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器(2口)などをご使用ください。

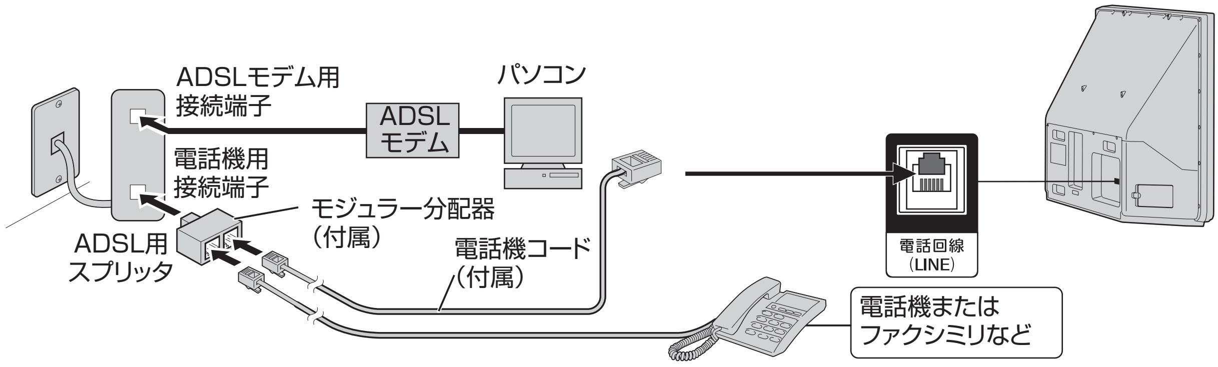
■電話回線切換器を使用する場合



ADSLモデムを使用しているとき

ADSLモデムの接続はご契約の回線事業者により異なります。次の方法はあくまでも例です。詳しくはご契約の回線事業者にお問い合わせください。

例：ADSL用スプリッタ(市販品)を使用し、ADSL用スプリッタの電話機用接続端子にモジュラー分配器(付属品)をつないで本機を接続してください。詳しくは、ADSL用スプリッタの取扱説明書をご覧ください。



再生機器やゲーム機と接続する

再生機器やゲーム機の映像出力端子によって、接続ケーブル、本機の映像入力端子が異なります。
本機のD4映像端子と、接続する機器のD映像出力端子、またはコンポーネント映像出力端子を接続すると、高画質な映像をお楽しみいただけます。ビデオ入力3端子は、本機前面にあります。ゲーム機など、使用するときにだけケーブルを接続する機器に使うと便利です。

※Sシリーズのイラストで接続方法を説明していますが、断りのないかぎりGLシリーズでの接続方法も同じです。

ポイント

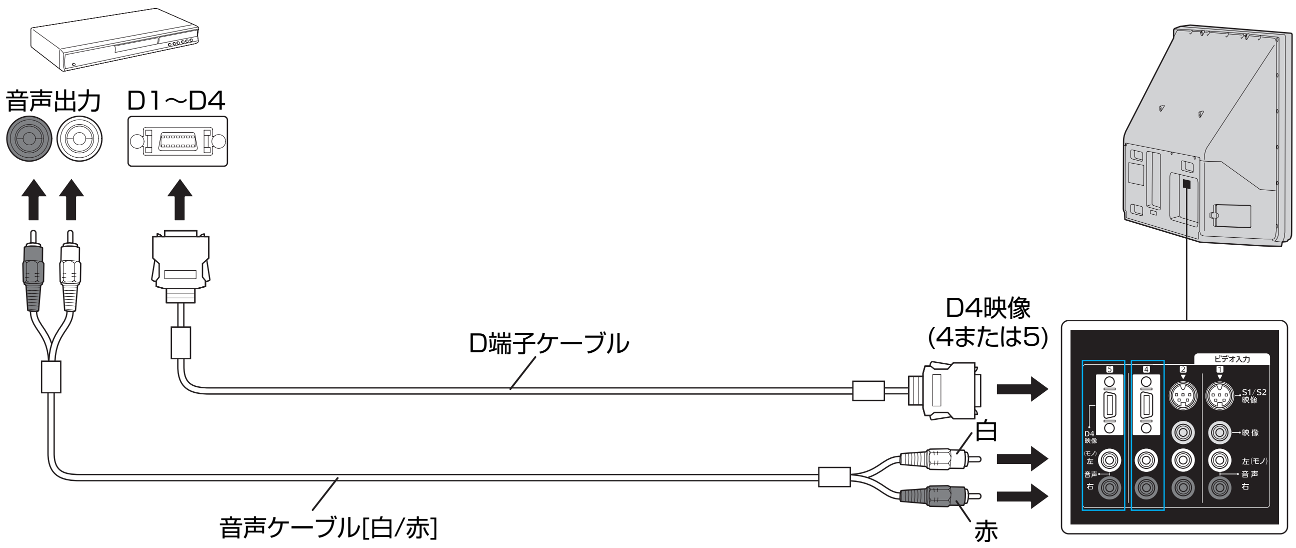
- 光線銃などを使い画面を標的にするゲームなどでは、その機能を使用できない場合があります。
- ゲーム機やカラオケ機器などを接続した場合に、映像や音声が若干遅れることがあります。

接続が終わったら

本機の設定を行います。詳しい設定内容などは、「はじめての設定をする」(➡P.43)をご覧ください。

接続する機器にD映像出力端子があるとき(HDD/DVDビデオレコーダーなど)

D端子ケーブル(市販品)を使って、本機のD4端子(ビデオ入力4、または5)と接続します。

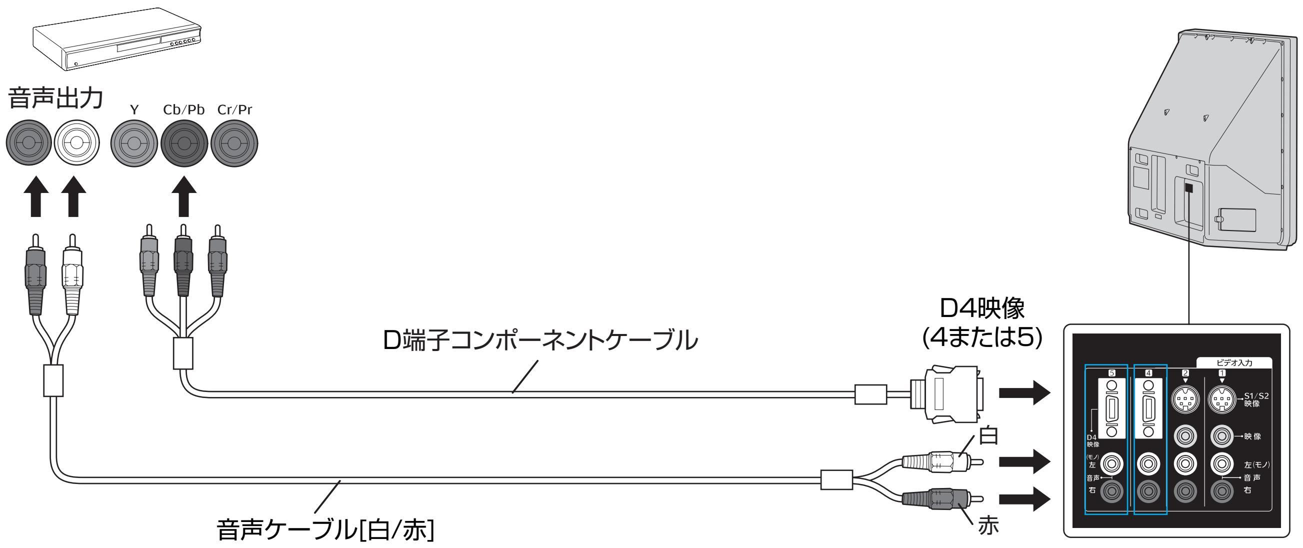


ポイント

本機はD4映像入力に対応しています。接続する機器の映像出力を「D4」に設定してください。D4映像出力できない機器の場合は、Dのあとの数字が大きいものに設定してください。(例：D1～D3の中から選ぶ場合は「D3」に設定する。)
詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

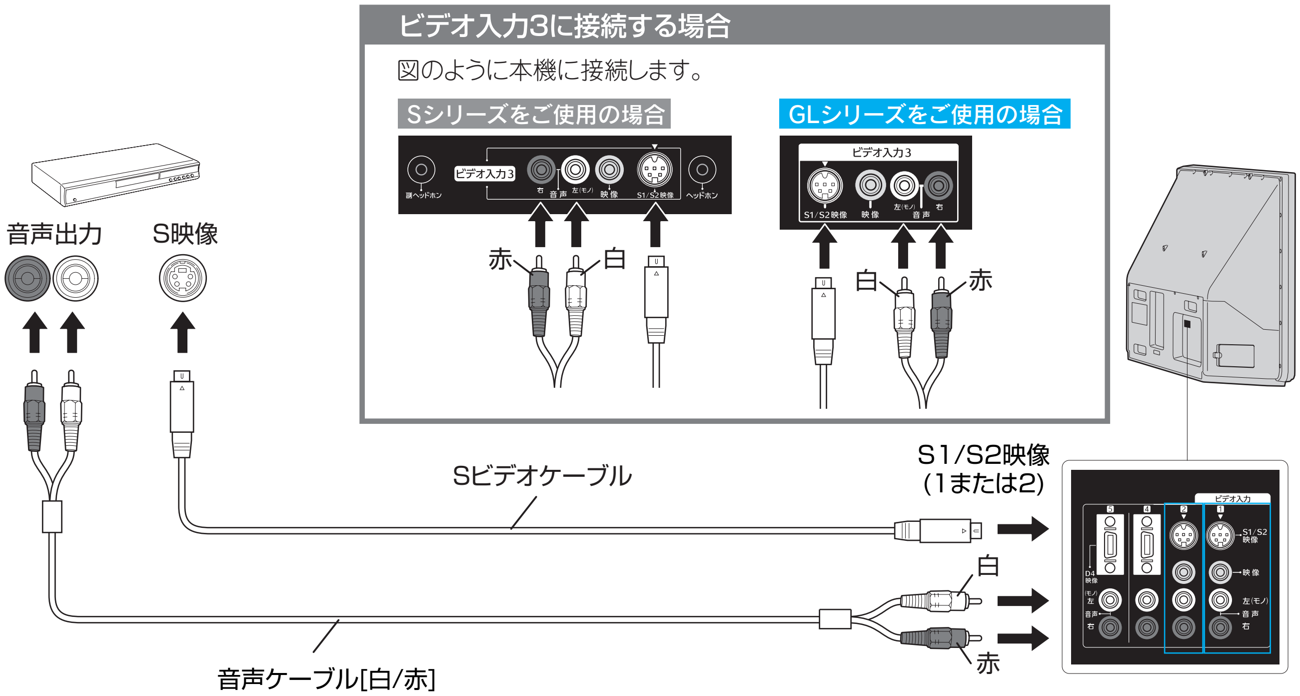
接続する機器にコンポーネント映像出力端子があるとき(DVDプレーヤーなど)

D端子コンポーネントケーブル(市販品)を使って、本機のD4端子(ビデオ入力4、または5)と接続します。



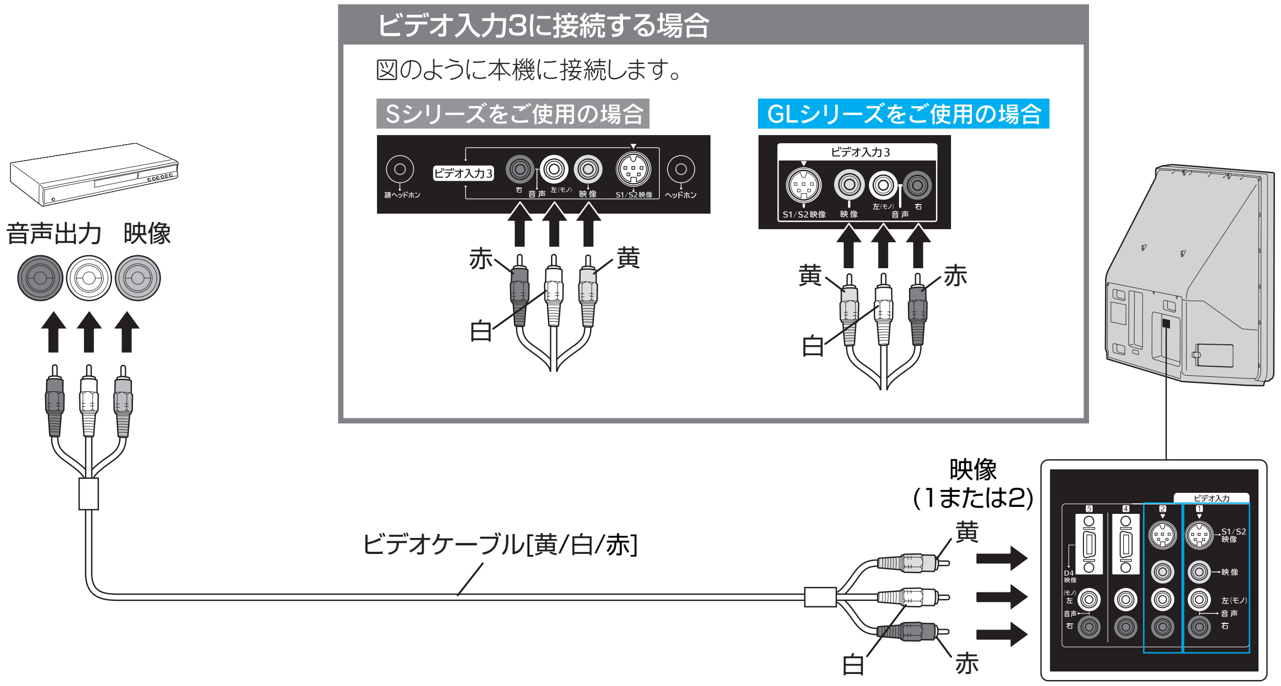
接続する機器にSビデオ映像出力端子があるとき(ビデオデッキ、DVDプレーヤーなど)

Sビデオケーブル(市販品)を使って、本機のS1/S2映像端子(ビデオ入力1、2、3のいずれか)と接続します。



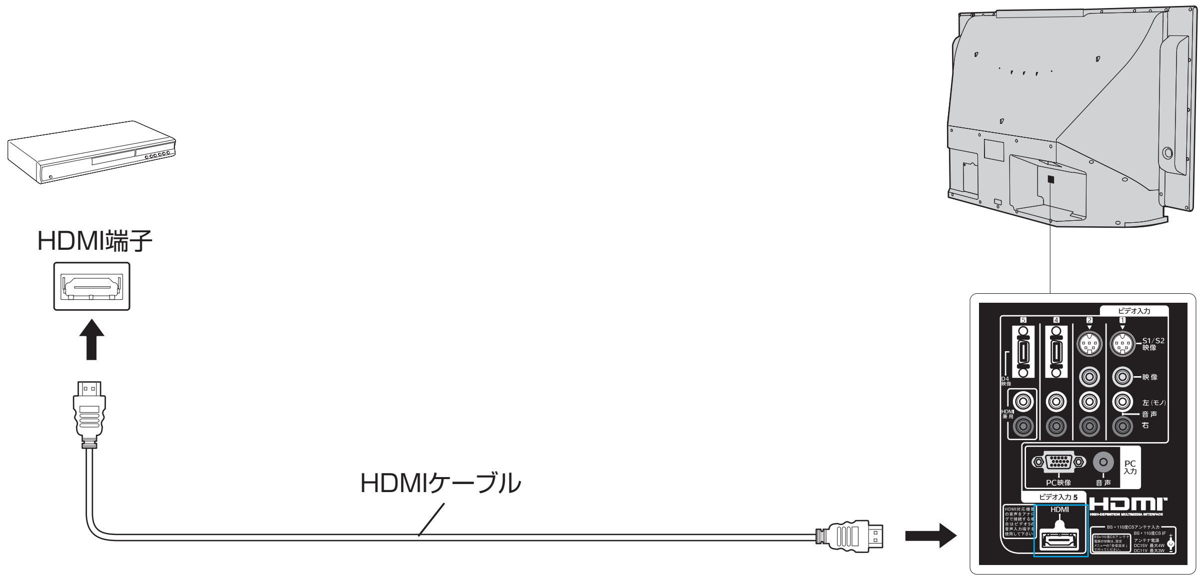
接続する機器にコンポジット映像出力端子があるとき

ビデオケーブル[黄/白/赤](市販品)を使って、本機のコンポジット映像端子(ビデオ入力1、2、3のいずれか)と接続します。



接続する機器にHDMI端子があるとき GLシリーズをご使用の場合

HDMIケーブル(市販品)を使って、本機のHDMI端子(ビデオ入力5)と接続します。



ポイント

■本機と市販のDVDなどの映像機器やAVアンプを接続する場合

本機は5.1ch音声信号には対応していません。そのため接続方法により、接続機器側の音声出力の設定を2ch音声信号に変更しないと、本機から音声が出ないことがあります。接続機器側で音声出力の設定ができない場合や、音声出力設定を2chに設定したのに音声が出ない場合は、市販のRCA方式の音声ケーブルを本機の[HDMI兼用]端子に接続してください。5.1ch音声信号で再生する場合は、市販のAVアンプと接続してください。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI 対応信号一覧

入力方法	信　号
HDMI入力の場合	480P、720P、1080i、VGA
HDMI⇔DVI変換ケーブルでDVI入力した場合	480i、480P、720P、1080i 、VGA

録画機器と接続する(デジタル放送をアナログ録画する)

本機のデジタル放送映像出力端子と録画機器を接続すると、ご覧になっているデジタル放送をアナログ録画できます。デジタル録画する場合はi.LNK接続します。(➡P.33)
また、ビデオコントロールケーブル(付属品)を接続する(➡P.32)と、録画予約や一発録画することもできます。(➡『操作・機能編』「見たい番組を予約する/番組の録画を予約する」、「一発録画(見ている番組を録画する)」)

再生できる録画機器の場合は、再生するための接続が必要です。「再生機器やゲーム機と接続する」(➡P.26)の接続も行ってください。

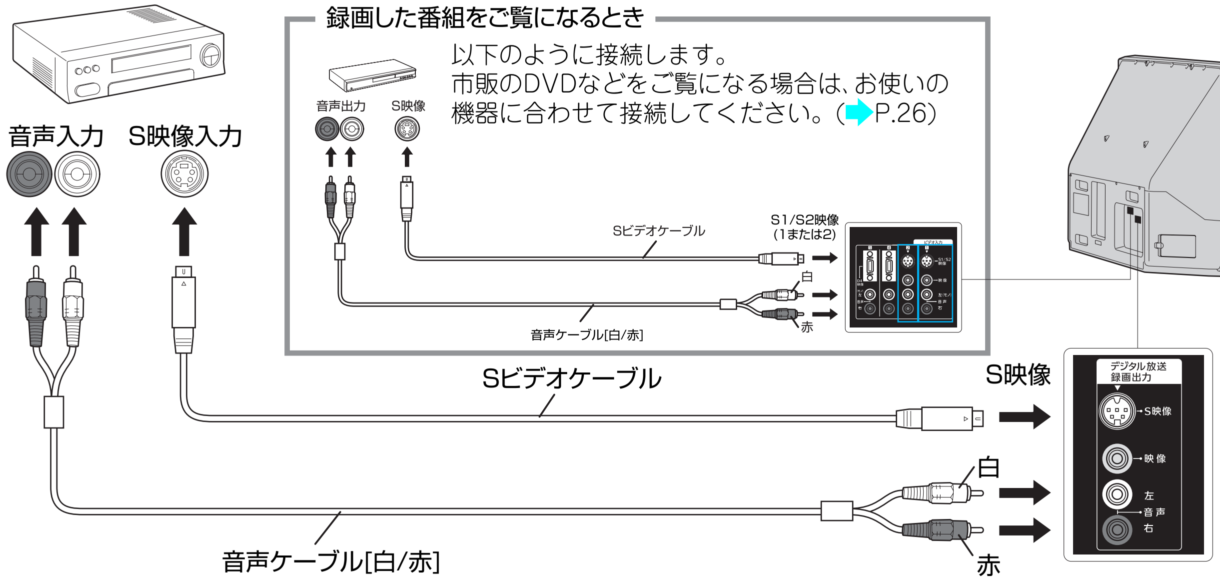
※Sシリーズのイラストで接続方法を説明していますが、断りのないかぎりGLシリーズでの接続方法も同じです。

接続が終わったら

本機の設定を行います。詳しい設定内容などは、「はじめての設定をする」(➡P.43)をご覧ください。

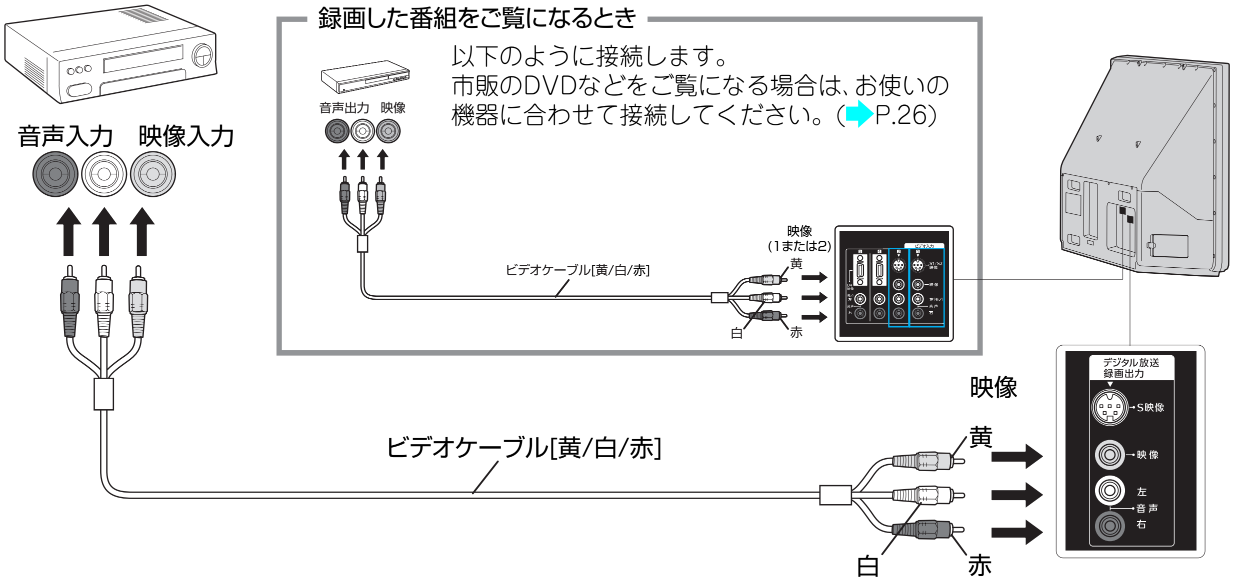
接続する機器がSビデオ映像入力端子のとき

Sビデオケーブル(市販品)を使って、本機のデジタル放送録画出力-S映像端子と接続します。



接続する機器がコンポジット映像入力端子のとき

ビデオケーブル[黄/白/赤](市販品)を使って、本機のデジタル放送録画出力-コンポジット映像端子と接続します。



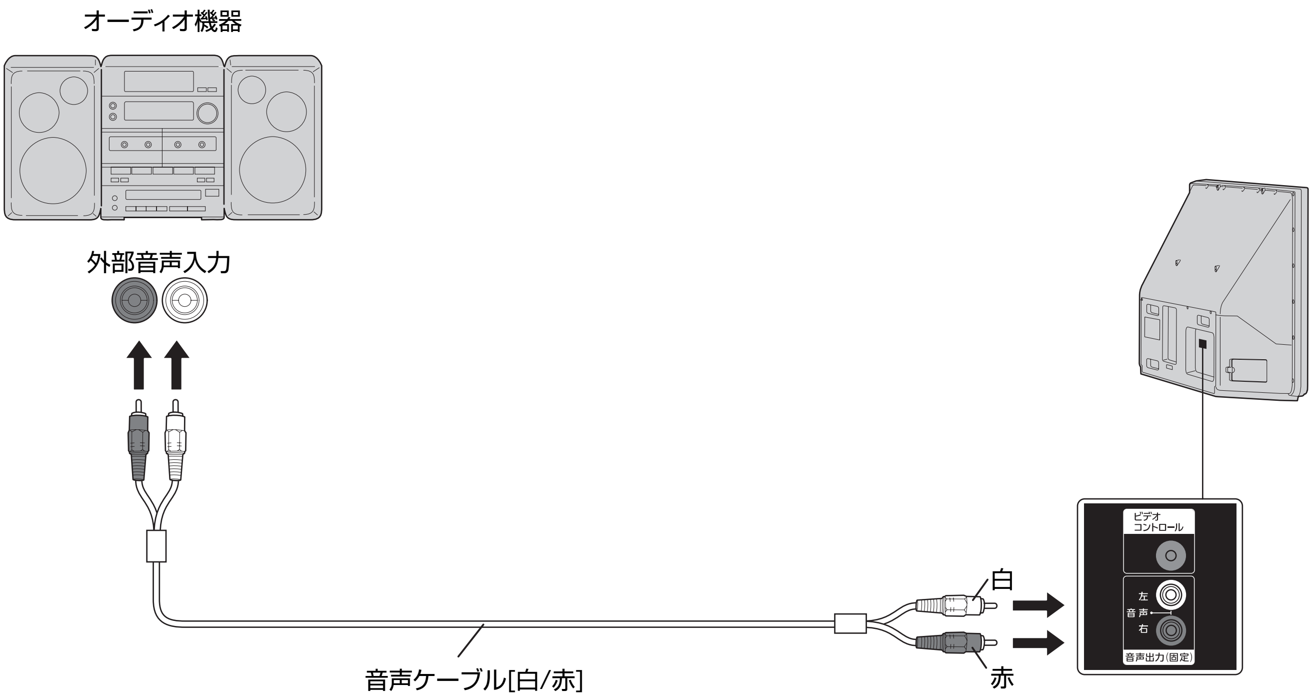
ご注意

本機のデジタル放送録画出力端子からの信号を、ビデオ機器を経由して他のビデオ機器へつながないでください。
コピー・プロテクトが働き画像の乱れが生じます。

オーディオ機器と接続する

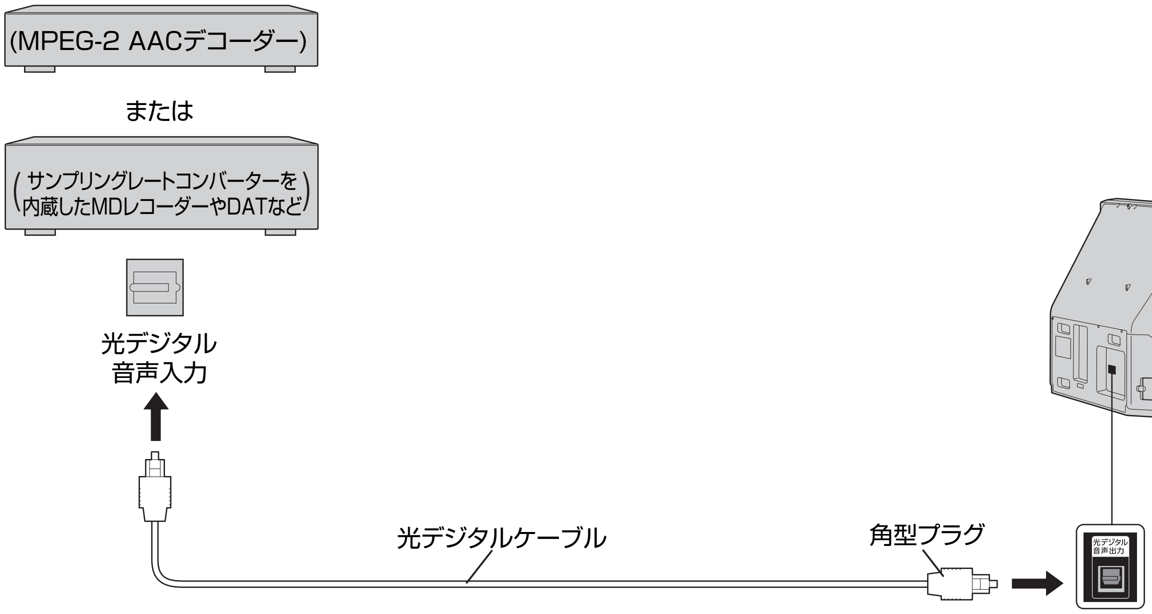
ご覧になる映像の音声をオーディオ機器から出力することで、迫力ある音声をお楽しみいただけます。
接続後は本機のスピーカーからの音量を最小(0)にし、オーディオ機器で音量の調整を行ってください。
接続時には、オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

※Sシリーズのイラストで接続方法を説明していますが、断りのないかぎりGLシリーズでの接続方法も同じです。



光デジタル入力対応のオーディオ機器と接続する

接続するオーディオ機器に光デジタル音声入力端子がある場合は光デジタルケーブル(市販品)を使って接続することもできます。光デジタルケーブルは、接続する機器の端子にあったものをお選びください。



■MPEG-2 AACに未対応なオーディオ機器につなぐ場合

- ご使用になっているオーディオ機器のデジタル入力がMPEG-2AACに未対応の場合、本機の「光デジタル音声出力」を「PCM固定」に設定します。(➡『操作･機能編』「音声の設定」)
- オーディオ機器の詳しい接続、取り扱いは各取扱説明書をご覧ください。

■MPEG-2 AACデコーダーにつなぐ場合

- デジタル放送やi.LINK接続機器からのMPEG-2 AAC方式の信号をMPEG-2 AACデコーダー(市販品)で楽しむことができます。本機の「光デジタル音声出力」を「AAC優先」または「サラウンドAAC優先」に設定します。(➡『操作･機能編』「音声の設定」)
- MPEG-2 AACデコーダーの詳しい接続、取り扱いはMPEG-2 AACデコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ポイント

- 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、PCMの場合、48kHzまたは32kHzです。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号のままでの録音はできません。
- 「光デジタル音声出力」が「AAC優先」や「サラウンドAAC優先」に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声(効果音など)が、光デジタル音声出力端子からは出力されない場合があります。(➡『操作･機能編』「音声の設定」)
- MPEG-2 AAC音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。MPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。

GLシリーズをご使用の場合

光デジタル音声出力端子からは、コンピュータやフォトビューワからの音声は出力されません。

ビデオコントロールケーブルを接続する

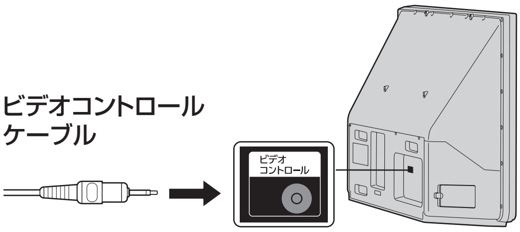
お持ちのビデオ機器に本製品に付属のビデオコントロールケーブルを接続すると、本機のリモコンで録画機器をコントロールして、録画予約や一発録画することができます。（➡『操作・機能編』「見たい番組を予約する/番組の録画を予約する」「一発録画(見ている番組を録画する)」）

※Sシリーズのイラストで接続方法を説明していますが、断りのないかぎりGLシリーズでの接続方法も同じです。

ポイント

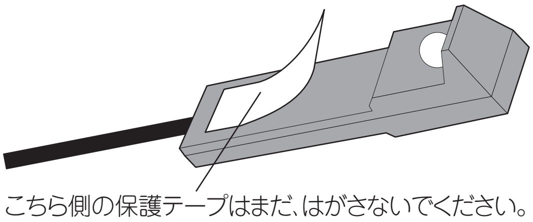
- ビデオコントロールケーブルを使用するには、接続するビデオ機器の設定が必要です。（➡P.59）
- ビデオによっては付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画ができない機種があります。①および②の動作をしないビデオは、付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画をすることはできません。
  ① ➡P.60手順4の操作で「ビデオの電源が入⇔切(待機)」の動作をしない。
  ② ➡P.60手順7の操作で「ビデオが録画⇔停止」の動作をしない。

1 本体背面のビデオコントロール端子にビデオコントロールケーブルをつなぐ



2 ビデオコントロールケーブルの発光部側に、付属の両面テープを貼る

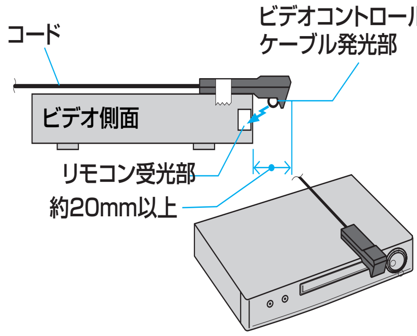
市販品の両面テープでも代用できます。



3 ビデオコントロールケーブルの発光部側の貼り付け予定位置を決め、ビデオに仮留めする

録画機器のリモコン受信部の近く(50cm以内)に仮留めします。（録画機器のリモコン受信部については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。）
仮留めには、市販のセロハン粘着テープなどをお使いください。

ビデオコントロールケーブル発光部を仮留めする
ビデオコントロールケーブルが固定できる範囲内で、なるべく前に(約20mm以上)出してください。



4 「ビデオ機種設定」(➡P.59)を行う

「ビデオ機種設定」の手順4の操作でビデオ電源の「入⇔切(待機)」が動作することをお確かめください。動作しない場合は、仮留めしたビデオコントロールケーブルの発光部側の位置を、動作する位置に変えてください。

●動作しない場合
ビデオコントロールケーブルを使って、本機のリモコンからビデオ機器を操作することはできません。ビデオ機器側で録画の操作などを行ってください。

5 仮留めした位置にしっかり固定する

両面テープの反対側の保護テープをはがし、貼り付けます。

i.LINK端子付き機器と接続する

本機に接続するD-VHSビデオやHDDビデオレコーダー、デジタルチューナにi.LINK対応の端子がある場合、i.LINK接続することで、さらに便利な使い方ができます。
接続できる機器については、「本機が接続できるi.LINK機器について」(➡P.34)をご覧ください。

下図のように本機の背面の[i.LINK(TS) i S400]端子とi.LINK対応機器のi.LINK端子を接続すると、次の機能を使うことができます。次の機能をお使いにならない場合は接続する必要はありません。

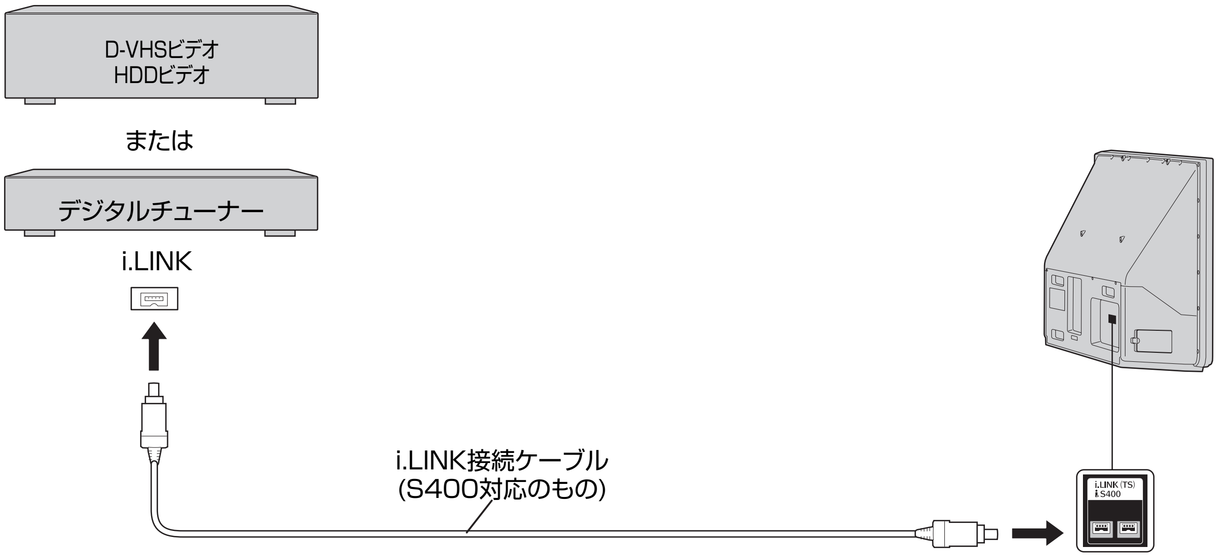
※Sシリーズのイラストで接続方法を説明していますが、断りのないかぎりGLシリーズでの接続方法も同じです。

■接続機器がD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーの場合

- 画面に D-VHS ビデオや HDD ビデオレコーダーの操作パネルを表示させて、操作をする (➡『操作･機能編』「D-VHSビデオ/HDD(ハードディスク)ビデオレコーダーの場合」)
- デジタル放送を録画予約(デジタル録画)する(➡『操作･機能編』「見たい番組を予約する/番組の録画を予約する」)
- 現在ご覧になっているデジタル放送を簡単操作でデジタル録画する (➡『操作･機能編』「一発録画 (見ている番組を録画する)」)

■接続機器がデジタルチューナーの場合

画面にデジタルチューナーの操作パネルを表示させて、操作をする(➡『操作･機能編』「デジタルチューナーの場合」)



ご注意

- i.LINK接続ケーブルは、「S400」対応で4pinのものを必ずご使用ください。
- i.LINK接続を使用する場合は、接続後必要に応じて「i.LINKの設定」(➡P.54)をしてください。
- i.LINK機器によっては、動作しない場合があります。動作する機器については「本機が接続できるi.LINK機器について」(➡P.34)で確認してください。

ポイント

- i.LINK 接続機器からのアナログ信号の映像を本機で再生する場合や本機からのアナログ信号の映像をi.LINK接続機器で録画する場合は、それぞれ「再生機器やゲーム機と接続する」(➡P.26)、「録画機器と接続する(デジタル放送をアナログ録画する)」(➡P.29)の接続も行ってください。
(デジタル放送専用受信機の場合は、上図のi.LINK接続だけで視聴できます。)
- アナログ信号の接続はデジタル再生とアナログ再生の切り換えを円滑に行うために本機のビデオ入力1端子に接続してください。「登録したi.LINK機器をビデオ1接続に設定する/登録を削除する」(➡P.55)
- デジタル放送を D-VHS ビデオにアナログ録画するときは、D-VHSビデオの入力切換を外部入力の状態にします。詳しくはD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。

i.LINKについて

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像信号やデジタル音声信号、データ信号を双方向で通信できる、シリアルインターフェイスです。i.LINKケーブル１本で接続できます。

- i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394-1995及びその拡張仕様を示す呼称です。このIEEE1394-1995は、電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データの、i.LINKでのデジタルコピーは、できない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- i.LINKとi.LINKロゴ「 」は、ソニー株式会社の商標です。

本機が接続できるi.LINK機器について

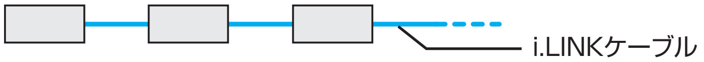
次表の製品については、電源入/切(待機状態)、BSデジタル放送の再生、停止、D-VHSビデオの場合の早送り・巻戻しなどを、本機からi.LINKでコントロールできることが確認されています。
次表は2005年11月現在の情報です。最新情報については、リビングステーションのホームページ(http://livingstation.jp/)をご覧ください。

種類	メーカー	型番	種類	メーカー	型番
HDDビデオ	I･O DATA	HVR-HD250F	D-VHSビデオ	東芝	A-HD2000
		HVR-HD250M		日本ビクター	HM－DHX2
		HVR-HD160M			HM－DHX1
		HVR-HD240S			HM－DH35000
		HVR-HD120S			HM－DH30000
		HVR-HD80			HM－DH20000
	東芝	THD-16A1		松下電器産業	NV-DHE20
					NV-DH2
					NV-DHE10
					NV-DH1

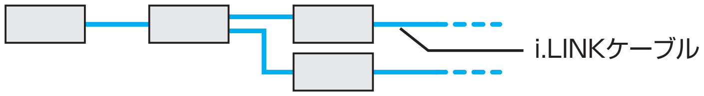
- 上記以外で、i.LINK 制御できる機器もありますが、正しく動作しない場合があります。また、上記リストの製品でも、本機から正しく制御できなくなる場合があります。
- 地上デジタル放送、110度CSデジタル放送の録画ができるかについては、各ビデオメーカーにお問い合わせください。
- デジタルチューナーについては、どのデジタル放送を受信できるかはデジタルチューナー付属の取扱説明書をご覧ください。(デジタルチューナーに関するお問い合わせは、接続するデジタルチューナーのメーカーにご確認ください。)
- HS モード対応ではない D-VHS ビデオの場合、デジタルハイビジョン放送は、ハイビジョンでのデジタル録画ができません。D-VHSビデオ付属の取扱説明書をご覧ください。
- 東芝(A-HD2000)、日本ビクター(HM-DH20000、HM-DH30000など)は録画モードがD-VHSビデオ側で確定されます。設定方法はD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。
- 複数の機器を接続して使用する場合は、各機器の仕様により動作が安定しない場合があります。
- DV機器(ミニDVテープを使用するビデオレコーダーなど)はフォーマットが異なるため、接続してもデータのやりとりなどはできません。

i.LINK接続方法/接続できる機器の数

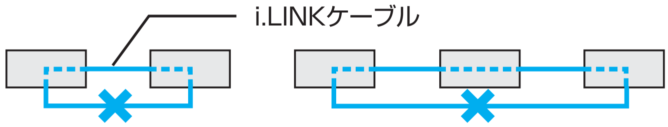
i.LINK接続では、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつないだ機器でも操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。



デイジーチェーン(直列つなぎ)でつなぐ
(他の機器15台まで接続可能)



i.LINK端子を3つ以上持つ機器の場合は、分岐してつなぐ(他の機器62台まで接続可能)



ループ(輪)状にはつながないでください。

接続についてのご注意

- 接続の際は、必ず4ピン、「S400」対応のi.LINK専用ケーブル(市販品)を必ずご使用ください。「S400」対応以外のi.LINKケーブルを使った場合、信号が不安定な状態になり、正しく動作しない場合があります。
- 一部の機器では、電源が切られた状態ではデータを中継しない場合があります。
- i.LINK 機器の i.LINK 端子のそばに、その機器が対応している最大データ転送速度が記載されています。データ転送速度には、S100(100Mbps)、S200 (200Mbps)、S400(400Mbps)の3種類がありますが、最大データ転送速度が異なる機器をつないだ場合や、機器の仕様によっては、実際の転送速度が遅くなる場合があります。

i.LINKでの再生について

本機で扱うことのできるデジタル信号は、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のみであり、これらの放送によるMPEG-TS信号だけに対応しています。そのため、DV機器などの他の信号フォーマットについては再生できません。また、アナログ信号を独自にエンコードしたMPEG-TS信号などについては、正常に再生できません。

i.LINK機能をご使用の際のご注意

- i.LINK 機能をご使用中は、使用していない他の iLINK 機器のケーブルの抜き差しや、新しい i.LINK 機器の追加、電源の入/切は行わないでください。
- 正しく制御できなくなったときは、接続されているいずれかの機器が何らかの影響をおよぼしていることが考えられます。(各機器のケーブルの抜き差し(リセット動作)で復帰する場合があります。)
- 登録機器名の表示が正しくない場合は、一度ケーブルを抜き、機器を削除(➡P.55)した後、再度機器を接続・登録してください。(➡P.54)
- 複数の機器から同時にHDDビデオレコーダーを制御しないでください。同時に制御を行うと、意図しない動作をする場合があります。
- 複数の機器を接続していて動作が不安定な場合、使用していない機器の接続をはずしたり、接続を変更すると、安定する場合があります。
- ダウンロードが行われた後は、自動的にリセット動作(本機の電源の入/切)が行われます。本機以外のi.LINK機器の間で操作しているときに、リセット動作が原因で誤動作する場合には、自動ダウンロードの設定を「ダウンロードしない」にしてご使用ください。(➡『操作・機能編』「デジタルチューナーのソフトウェアをバージョンアップするには」)
- HDD ビデオレコーダーによっては、動作モード(D-VHS モードとハードディスクレコーダーモード)を切り換えられるものがあります。このような機種はハードディスクレコーダーモードでご使用ください。なお、動作モードの切り換えを行った時は、必ず登録(➡P.55)をやり直してください。(➡P.54)本機での登録時のモードと異なっていると、正しく動作しません。
- HDDビデオレコーダーによっては、追っかけ再生、録画中の別番組の再生、録画中のライブラリ表示などの機能を操作できない機種があります。(I･O DATA機器製:HVR-HD240Sは利用できません。)
- HDD ビデオレコーダーによっては、機器を切り換えたり、本機から i.LINK 接続された機器を操作する画面から抜けると、自動的に再生を停止する機器があります。

D-VHS方式で録画する際のご注意

D-VHS用のビデオテープをご使用ください。

HDDビデオレコーダーで録画する際のご注意

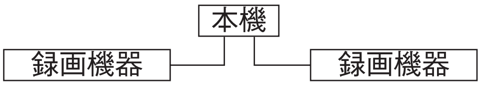
- 録画予約開始までにHDDの残量と番組の記録数を確認し、録画ができるように不要な番組を削除してください。詳しくは、(➡『操作・機能編』「録画番組を削除する」)をご覧ください。
- 著作権保護のため1回だけ録画を許された番組をさらにコピーすることはできません。このような番組を録画して保存しておきたい場合は、D-VHSビデオに録画することをおすすめします。

他機から本機をi.LINK制御する際のご注意

- 本機の「電源待機消費電力」を設定している場合で、その設定時間に電源を待機にしていたときには、i.LINK接続されている他の機器からの制御は受け付けません。(➡『操作・機能編』「省エネ設定」)
- 「外部機器からの制御」を「あり」に設定すると、他の機器から本機をi.LINK制御できるようになります。

ダビングする際のご注意

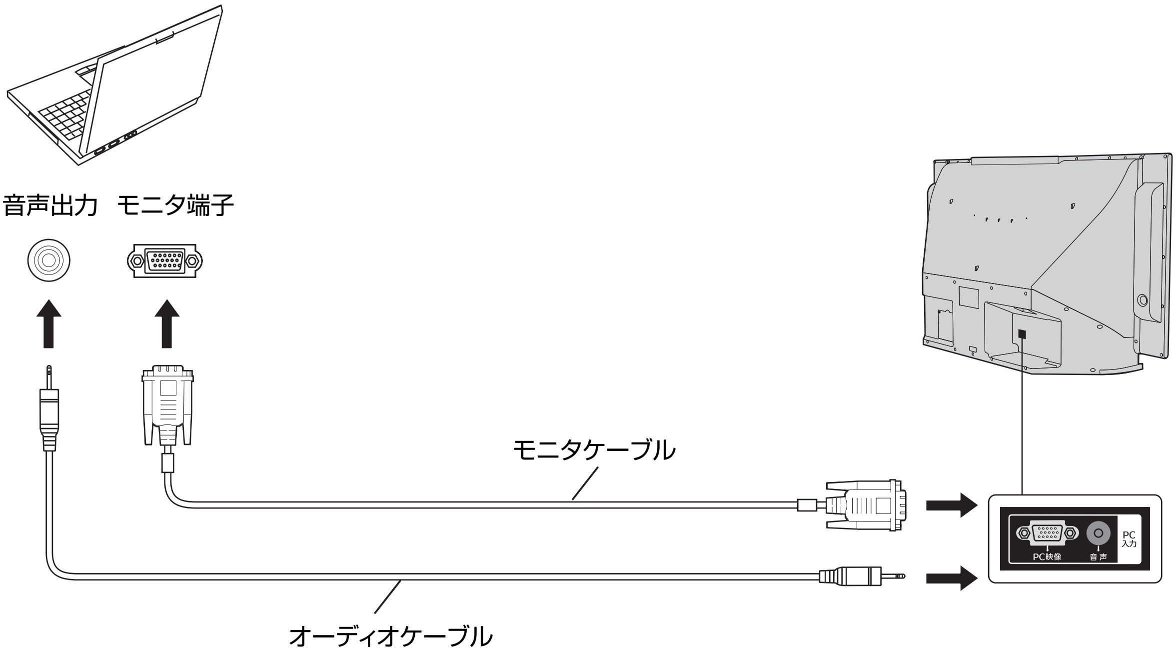
「外部機器からの制御」(➡P.57)を「なし」に設定したときに、下図のように本機の2つのi.LINK端子を使って2台の録画機器を接続して、ダビングを行う場合(本機のコピー機能(➡『操作・機能編』「録画番組をD-VHSビデオへコピーする」)を使わずに2台の録画機器のみで行う場合)、本機の電源を入れた状態で行ってください。ただし、本機でソフトウェアのダウンロードが実行されると、ダビングは中止されます。(➡『操作・機能編』「ソフトウェアをダウンロードする」)



コンピュータと接続する

GLシリーズをご使用の場合

本機とコンピュータを接続してコンピュータの映像を表示させることができます。
モニタケーブル(市販品)を使って、本機のPC映像端子と接続します。



ポイント

- コンピュータの映像を表示するには、コンピュータの映像を外部出力にする設定・操作を行ってください。設定・操作については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータ映像の解像度が本機に対応していない場合は、映像が表示されないことがあります。本機に対応している解像度は対応解像度一覧でご確認ください。
- コンピュータの映像を表示した場合に、文字や罫線などの細かい部分がぼやけるときがあります。その場合は、トラッキングを調整してください。(➡『操作･機能編』「コンピュータ接続時の映像や音声の設定」)

対応解像度一覧

信号	周波数	解像度
VGA	60/72/75/85	640×480
SVGA	60/72/75/85	800×600
XGA	60/70/75/85	1024×768
SXGA	60	1280×1024

B-CAS (ビーキャス)カードを装着する

デジタル放送をご覧になる場合は、B-CASカードの装着が必要です。

デジタル放送をご覧になる場合や、有料番組やペイ・パー・ビュー番組を購入する場合、データ放送の双方向サービスをご利用いただく場合は、B-CASカードの装着が必要です。必ず本機に付属のものを使用し、常に本体に挿入しておいてください。
また、B-CASカードの登録は必ず行ってください。付属のB-CAS(ビーキャス)カードの「ユーザー登録はがき」についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をする際、付属の加入申込書に必ず貼ってください。詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

ポイント

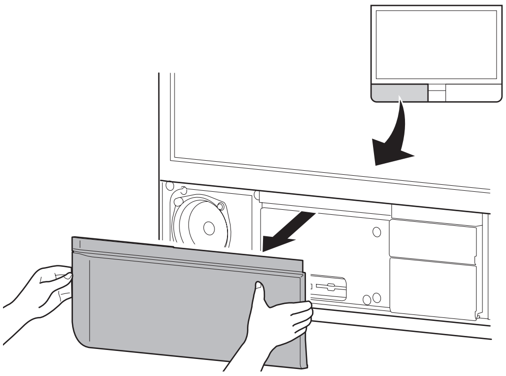
- アナログ放送のみをご覧いただく場合には、B-CASカードの装着は必要ありません。ただしデジタル放送をご覧になる場合には、B-CASカードの装着が必要になります。紛失などしないために本機にB-CASカードを装着しておくことをおすすめします。
- B-CASカードの発行・管理は㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズが行っています。
  カードを紛失したり、盗難にあった場合や、破損したり、よごれた場合には、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(カードが貼ってある台紙を参照)にご連絡ください。

B-CASカードを装着する

Sシリーズをご使用の場合

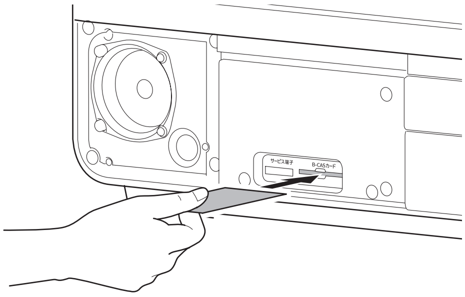
1 本体前面左側のカバーを取り外す

カバーは手前に引くと外れます。

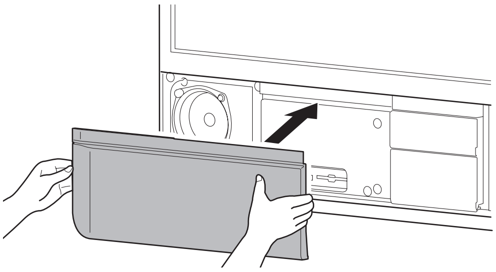


2 B-CASカードをカード挿入口に入れる

- B-CASカードは、表示面を上にして矢印の方向に挿入してください。
- B-CASカードは奥まで差し込んでください。
- 取り出す場合は B-CAS カードをそのまま抜いてください。



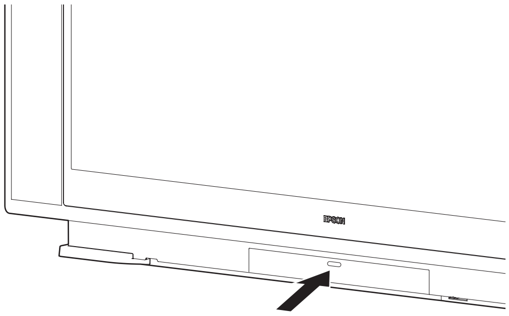
3 本体前面の左側のカバーを取り付ける



GLシリーズをご使用の場合

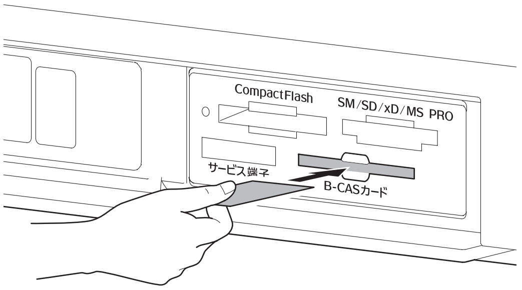
1 本体前面のカバーを開ける

カバーはくぼみを軽く押すと開きます。



2 B-CASカードをカード挿入口に入れる

- B-CASカードは、表示面を上にして矢印の方向に挿入してください。
- B-CASカードは奥まで差し込んでください。
- 取り出す場合は B-CAS カードをそのまま抜いてください。



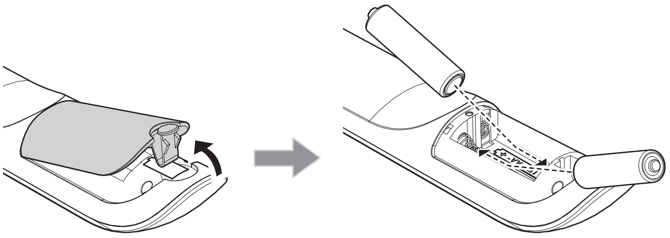
3 本体前面のカバーを閉める

リモコンの準備

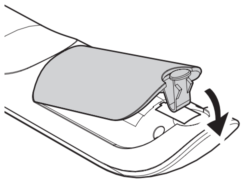
リモコンを使うには以下の準備が必要です。

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側のカバーを開け、乾電池をセットする



2 カバーを閉める



ポイント

- 電池の交換には、単3型アルカリ乾電池2本をご用意ください。
- 放送切換ボタンは、押した後に3回点滅します。このボタンが光らなくなったら乾電池の交換をおすすめします。

タッチ音について

有効な操作を行った場合は1回、無効な操作(誤操作したとき)は3回、音が鳴ります。
お買い上げ時にはタッチ音が出るように設定されています。音を消すこともできます。

リモコンボタンのタッチ音を消す/出す

1 [メニュー]を約2秒以上押す

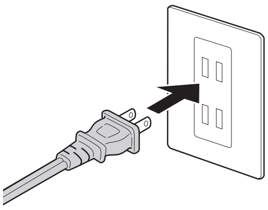
現在選択されている放送切換ボタンが点灯します。

2 [音量 🔊/🔉]で切り換える

タッチ音を出す場合：[🔊]を押す。
タッチ音を消す場合：[🔉]を押す。

電源を入れるには

すべての接続が終ったら、本機の電源プラグを壁のコンセントにつなぎます。



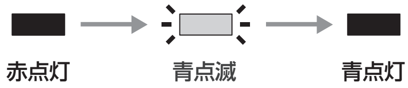
電源を入れる

1 本機前面の主電源スイッチを「入」にする

2 本機前面の電源ランプが赤色に点灯していることを確認する

3 リモコンの 、または本体の[電源]ボタンを押して、電源を入れる

約 20 秒後に映像が表示されます。
本機前面の電源ランプは、右のように変わります。



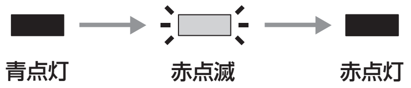
- 本機は光源として投写ランプを内蔵しています。電源を入れたとき、点灯に失敗することがあります。この場合、約15秒間隔でランプの再点灯を最大5回試みます。5回点灯に失敗した場合はクールダウン後に待機状態になります。再度リモコンの 、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れてください。
  本体前面にある「回線使用中ランプ」、「録画ランプ」が消灯していて、「電源ランプ」が緑点滅している場合は、(➡『操作・機能編』「LEDランプの見かた」)で対処法を確認してください。
- 本機の電源を入れ、「電源ランプ」が青点滅した後で、画面に映像が表示されずに赤点灯(待機状態)になってしまう場合があります。その場合は、再度リモコンの 、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れてください。
- 本機の電源ランプが青点滅しているときは、 、または本体の[電源]ボタンを押しても電源を切ることはできません。電源ボタンが青点灯に変わってから操作してください。

はじめて電源を入れたときは、「はじめての設定」を行ってチャンネルなどの設定をする必要があります。本機に接続した機器によって、設定を行う必要もあります。

電源を切る

リモコンの 、または本体の[電源]ボタンを押して、電源を切る

画面が消えたあと、内部の投写ランプをクールダウンさせるため、冷却ファンが約1分間作動し続けます。その後に電源が切れ、待機状態になります。
本機前面の電源ランプは、右のように変わります。



- を押してから15秒以内に再度 を押すと、すぐに画面が表示されます。
  を押してから約15秒間経過するとクールダウンになり約1分後でないと画面は表示されません。

ご注意

■本機の電源を切る場合は

以下の内容にご留意いただき、操作してください。
リモコンの 、または本体前面の[電源]ボタンを押します。
本機はクールダウン後に待機状態になります。（待機状態のときには、1W 程度ですが、電力を消費しています。）
本機の電源を完全に切る場合には、本機前面の電源ランプが赤点灯になっているのを確認してから主電源スイッチを「切」にします。（クールダウン中は電源ランプが赤点滅しています。この状態で主電源スイッチを「切」にしないでください。）
ただし、次のような場合には、主電源スイッチを「切」にせず、必ず本機を待機状態にしてください。本機が正しく動作しません。

- 番組を録画予約している場合(本体前面の録画ランプが赤点灯になっています。)
- 番組表などで表示される最新の番組情報を取得する場合（ 本体前面の電源ランプが青点滅した後、赤点灯になります。）
- ソフトウェアのダウンロード中(本体前面の電源ランプが青点滅になっています。)

また、「自動ダウンロード」の設定を「ダウンロードする」に設定している場合は、本機を毎日2 時間以上、待機状態にしておくことをおすすめします。
主電源スイッチを「切」にすると、電源ランプ、録画ランプ、回線使用中ランプはすべて消灯します。
この状態は、電源プラグをコンセントから抜いたのと同じ状態です。
通常は、電源プラグをコンセントから抜くのではなく、主電源スイッチで操作してください。

- 主電源スイッチを「切」にした後、再び「入」にする場合は、約10秒間待ってから操作してください。本機が正しく動作しない場合があります。
- 電源ランプが赤色の点灯に変わるまでは、主電源スイッチを「切」にしないでください。スピーカーから「ボッ」という大きな音がでます。また、故障の原因になります。
- 録画中は映像は消えますがクールダウンせずに電源ランプが赤色の点灯に変わります。録画が終了し、クールダウンが終了するまで主電源スイッチを「切」にしないでください。
  録画が終了しても次の録画予約がある場合は投写ランプが点灯している場合があります。ファンの音を確かめ、停止しているのを確認してから主電源スイッチを「切」にしてください。

はじめての設定をする

ご購入後、最初に設定が必要なものをまとめて設定できます。

「はじめての設定」での設定項目

設定項目	内容	「はじめての設定」終了後、設定をやり直すときの操作
地上放送(アナログ・デジタル)チャンネル設定	地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネル設定を同時に行います。また、地域の設定も行います。	(➡P.71)
郵便番号設定	お住まいの地域に応じたデータ放送(例えば、天気予報や選挙速報など)や緊急警報放送を受信したり、電話回線を通して最寄のアクセスポイントでご利用いただくための設定です。(最寄のアクセスポイントはデータ放送の放送局によって異なります)。	(➡P.48)
電話回線設定 (IP電話は使用できません。通常の電話回線をご使用ください。)	デジタル放送では電話回線を利用した双方向通信サービスが行われています。それらのサービスを楽しむための設定です。 ※地上デジタル放送の場合には、「通信接続設定」が必要な場合もあります。(➡P.98)	(➡P.89)
簡易確認テスト	地上D受信テスト、BS・110度CS受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストをまとめて行います。	(➡P.51)

「はじめての設定」を行ったあとで、再度「はじめての設定」を行うと、すでに設定されている上表の項目は、すべて消去され新しく登録されます。最初の設定以降に「はじめての設定」を行う場合は、ご注意ください。

地上放送チャンネル設定について

■地上アナログ放送の場合

- チャンネルは、入力された地方、地域に応じてリモコンのダイレクト選局ボタンに自動的に設定されます。自動設定される内容については「地上アナログ放送の放送一覧」(➡P.126)をご覧ください。
- 自動チャンネル設定で設定しても、きれいに映らないチャンネルがある場合は、「地上アナログ放送(VHF/UHF/CATVC13～C63)の手動チャンネル設定」(➡P.78)で設定してください。
- CATV放送は、「地上アナログ放送(VHF/UHF/CATVC13～C63)の手動チャンネル設定」(➡P.78)で設定してください。受信可能なチャンネルは、CATV会社にお問い合わせください。

■地上デジタル放送の場合

- 「初期スキャン」を行い、入力された地方、地域と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従って行われます。
- 初期スキャンは(VHF1～12)→(UHF13～62)→(CATV13～63)の順で行われます。
- 自動設定された内容の確認や変更をしたい場合は「手動チャンネル設定」(➡P.80)を行ってください。
- 電波が弱い場合には、初期スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

地方と地域の設定について

チャンネルの自動設定は、P.46手順6～8で設定された地方、地域に基いて行われます。
P.48でも郵便番号を設定することにより地域を設定しますが、それはデータ放送(例えば、天気予報や選挙速報など)を受信したり、電話回線を通して最寄りのアクセスポイントでご利用いただくための設定です。P.46手順6～8の設定とは別の地域に設定できるようになっています。

新たに開局したチャンネルを追加登録したいとき

地上デジタル放送については、受信できたチャンネルのみが設定されます。新たに開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルが増えたなど、放送に変更があった場合は、「再スキャン」(➡P.76)してください。

お住まいの地域で地上デジタル放送が開始された場合

「はじめての設定」終了後以降に、お住まいの地域で地上デジタル放送が開始された場合は、初期スキャン(➡P.73)を行ってください。自動でチャンネル設定ができます。

便利にお使いいただくために

次表の「接続」欄に記載のあるアンテナや接続機器を接続している場合は、「はじめての設定」終了後、さらに便利にお使いいただくために、次表を参考に設定を行ってください。
設定項目の詳しい内容は、各参照ページをご覧ください。

接続	放送の種類※1	設定項目	参照ページ	必ず設定する	ご使用状況に合わせて設定する
地上アナログ·デジタル用アンテナ	A/D	チャンネルスキップ設定	86		●
	A	GR設定	87		●※2
	D	文字スーパー表示の設定	117		●
	D	郵便番号と地域の設定	116		●
	D	地上Dアンテナレベル	65		●※2
BS·110度CS用アンテナ	CS/BS	文字スーパー表示の設定	117		●
	CS/BS	郵便番号と地域の設定	116		●
	CS/BS	BS·110度CSアンテナレベル	66		●※2
	CS/BS	BS·110度CSアンテナ電源供給	67		●
	BS	BS中継器切換	70		●※2
	CS	110度CS中継器切換	70		●※2
電話回線（電話回線での通信を行わない場合は設定は不要です。）		通信接続設定	98		●
		通信確認メッセージ設定	107		●
		通信自動切断設定	108		●
		双方向サービス制限設定	109		●
		暗証番号の設定	110		●
		視聴年齢制限の設定	111		●
		番組購入限度額の設定	113		●
再生機器		ビデオ入力表示設定	64		●
録画機器		デジタル放送録画出力の設定	63		●
オーディオ機器		—	—		
ビデオコントロールケーブル		ビデオ機器の設定	59	●	
i.LINK対応機器		i.LINK設定	54	●	

※1 「A」「D」「CS」「BS」は放送の種類を表しています。ご覧になる放送によって設定してください。
A ：地上アナログ放送　　D ：地上デジタル放送
CS：110度CSデジタル放送　　BS：BSデジタル放送
※2 映像が乱れるなど、電波の状態が良くない場合に行ってください。

「はじめての設定」終了後以降にアンテナや電話回線を接続する場合

本機のご使用を開始後、新たにアンテナや電話回線の接続をされた場合は、次表を参考に設定を行ってください。
その後、「便利にお使いいただくために」（➡上記）の設定をしていただくと、より便利にお使いいただけます。

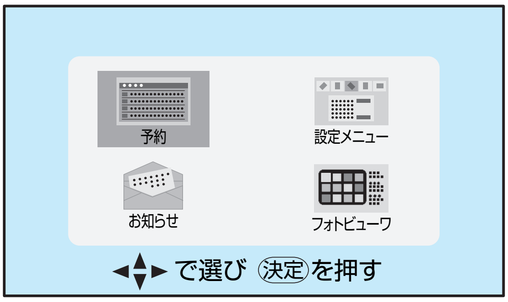
接続	放送の種類※	設定項目	参照ページ
地上アナログ·デジタル用アンテナ	A/D	自動チャンネル設定	72、73
	A/D	手動チャンネル設定	78、80
BS·110度CS用アンテナ	CS/BS	手動チャンネル設定	82、84
電話回線		電話回線設定	89
		簡易確認テスト	115

※ 「A」「D」「CS」「BS」は放送の種類を表しています。ご覧になる放送によって設定してください。
A ：地上アナログ放送　　D ：地上デジタル放送
CS：110度CSデジタル放送　　BS：BSデジタル放送

はじめての設定

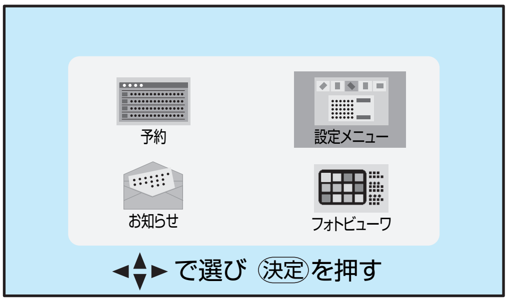
1 メニュー を押す

画面にメニューが表示されます。
- 右の画面はGLシリーズのものです。Sシリーズをご使用の場合はフォトビューワ機能はないため、画面上には表示されません。

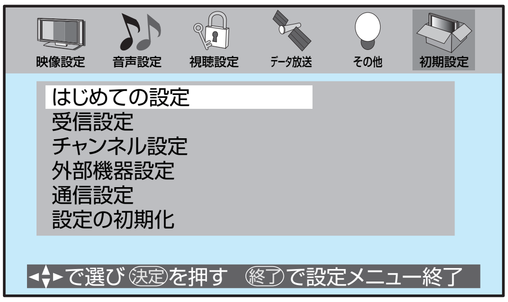


2 [︿/﹀/《/》]で[設定メニュー]を選び 決定 を押す。

設定メニューが表示されます。
- 右の画面はGLシリーズのものです。Sシリーズをご使用の場合はフォトビューワ機能はないため、画面上には表示されません。

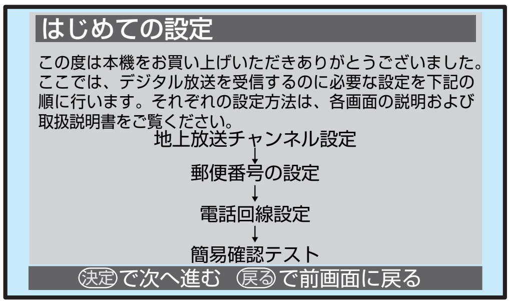


3 [《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「はじめての設定」を選んで、決定 を押す

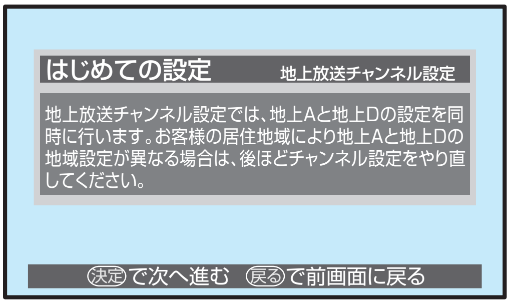


4 画面の説明を読んだ後、決定 を押す

地上放送チャンネル設定→郵便番号の設定→電話回線設定→簡易確認テストの順に続けて行います。

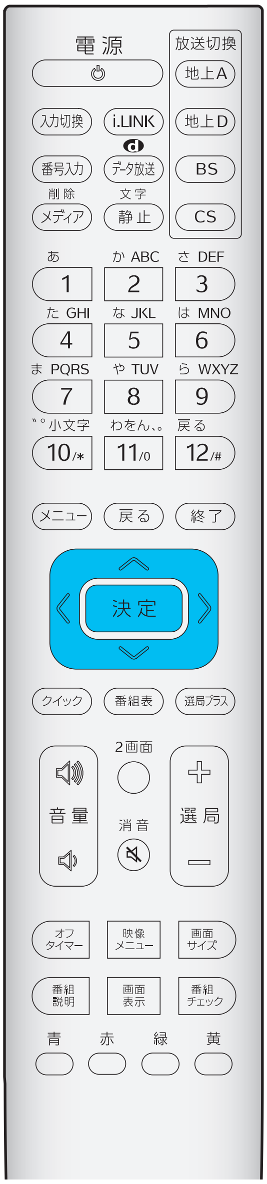


5 画面の説明を読んだ後、決定を押す

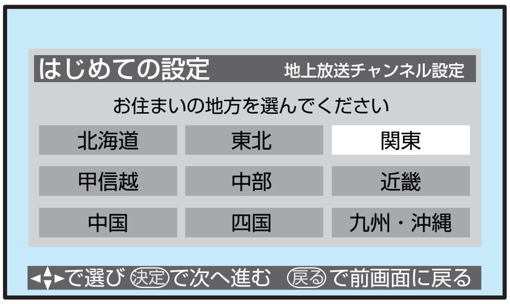


地上放送チャンネル設定

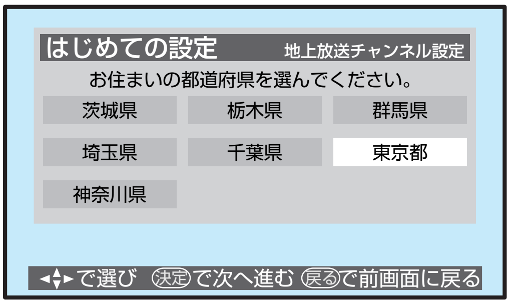
ここからは、地上放送チャンネル設定を行います。



6 [︿/﹀/《/》]でお住まいの地方を選び、決定を押す



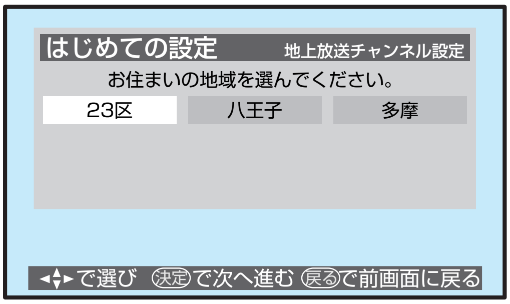
7 [︿/﹀/《/》]でお住まいの都道府県を選び、決定を押す



8 [︿/﹀/《/》]でお住まいの地域を選び、決定を押す

●お住まいの地域が表示されていない場合

お住まいの地域に最も近い地域を選んでください。設定後、正しく受信できないときは、「お使いの地域・都市名で地上アナログ放送の自動チャンネル設定をしても正しく受信できない場合」(➡P.126)を行ってください。



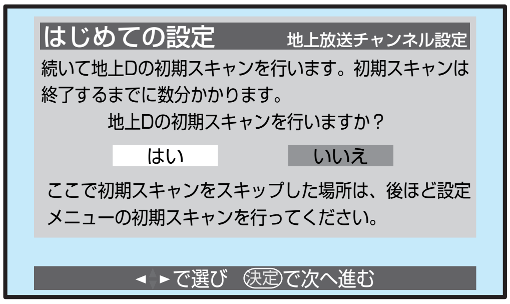
9 画面の説明を読んだ後、次の操作を行う

お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されていない場合は、ここで初期スキャンを行う必要はありません。

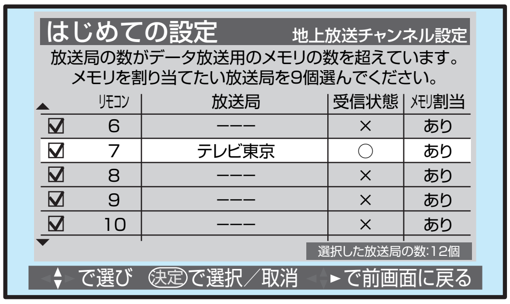
●地上デジタル放送の初期スキャンをする場合

[《/》]で「はい」を選び、決定を押す

- 初期スキャンが自動的に始まります。終了するまでしばらくお待ちください。スキャン中は画面の映像が途切れる場合があります。
- 初期スキャンが終わると手順10の画面が表示されます。手順10に進んでください。



- 右の画面が表示された場合は、「データ放送用メモリの割り当て」(➡P.53)を行ってください。
  「データ放送用メモリの割り当て」が終了すると、手順10の画面が表示されます。手順10に進んでください。



●地上デジタル放送の初期スキャンをしない場合

[《/》]で「いいえ」を選び、決定を押す

- あとで初期スキャンをする場合は、「自動チャンネル設定」の「初期スキャン」(➡P.73)を行ってください。
- 次は手順11に進みます。

10 手順9で「はい」を選んだ場合、次の操作を行う

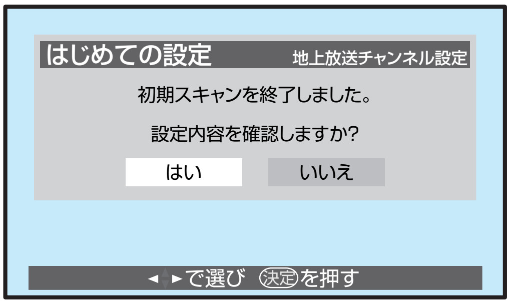
●設定された内容を確認する場合

①[《/》]で「はい」を選び、決定を押す

②設定内容を確認したら、決定を押す

●設定された内容を確認しない場合

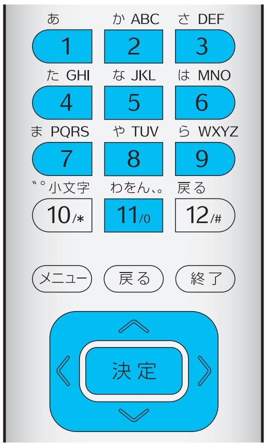
[《/》]で「いいえ」を選び、決定を押す



ここで表示されるチャンネル設定は、地上デジタル放送の設定です。地上アナログ放送のチャンネル設定は「地上アナログ放送の放送一覧」(➡P.126)で確認してください。

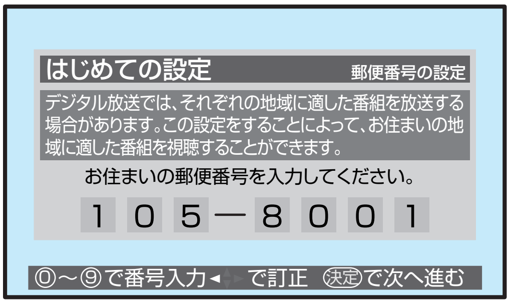
郵便番号の設定

ここからは、郵便番号の設定を行います。
お住まいの地域に応じたデータ放送(天気予報・選挙速報)を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ通信をする場合に、最寄りのアクセスポイントでご利用いただくための設定です。郵便番号を設定することにより、地域を指定します。
IP電話は使用できません。通常の電話回線をご使用ください。



11 0～9(11/0 ～ 9)でお住まいの郵便番号を入力し、決定を押す

- 入力を間違えた場合は、[《]でカーソルを戻してからもう一度入力してください。
- データ放送を受信している状態で、設定をした場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されていません。そのため、設定終了後、再度データ放送を選局し直してください。



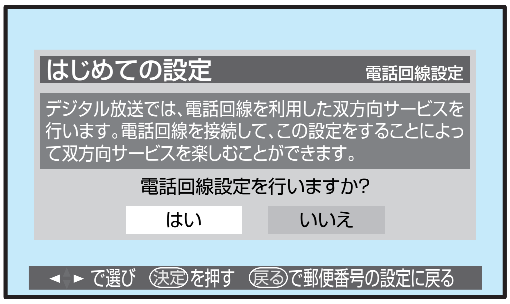
電話回線設定(外線発信番号の設定)

ここからは、電話回線設定(外線発信番号の設定)を行います。
双方向通信サービスなどを利用する場合などに電話回線を使用して通信を行います。そのため、外線発信が必要な電話回線をご使用になっている場合は、自動で外線発信の操作を行うように設定をしておく必要があります。
IP電話は使用できません。通常の電話回線をご使用ください。

12 画面の説明を読んだ後、次の操作を行う

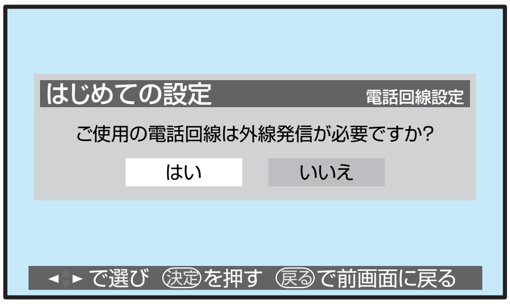
●電話回線の設定を行う場合
右の画面で[《/》]で「はい」を選び、決定 を押す

●電話回線の設定を行わない場合
[《/》]で「いいえ」を選び、決定 を押す
次は手順17の確認画面に進みます。



13 手順12で「はい」を選んだ場合、次の操作を行う

ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や#などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。

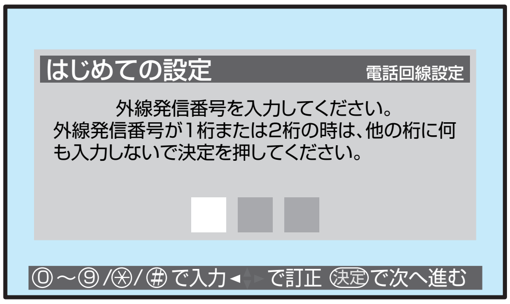


●外線発信番号が必要な場合
[《/》]で「はい」を選び、決定 を押す
次は手順14に進みます。

●外線発信番号が不要な場合
[《/》]で「いいえ」を選び、決定 を押す
次は手順15に進みます。

14 手順13で「はい」を選んだ場合、外線発信番号を入力して、決定 を押す

- 0〜9(11/0 〜 9)、#(12/#)、＊(10/＊)を押して設定します。(左詰めで入力してください)
- 最大3桁までの設定ができます。
- 間違って入力した場合は、[《]で前の桁に戻り、設定をやり直してください。
- 1桁、または2桁の設定を行う場合は左詰めで入力し、他の桁には何も入力せずに 決定 を押してください。
- 「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。



電話回線設定(ダイヤル方式の設定)

ここからは、電話回線設定(ダイヤル方式の設定)を行います。
双方向通信サービスなどを利用する場合などに電話回線を使用して通信を行います。そのため、あらかじめダイヤル方式の設定をしておく必要があります。

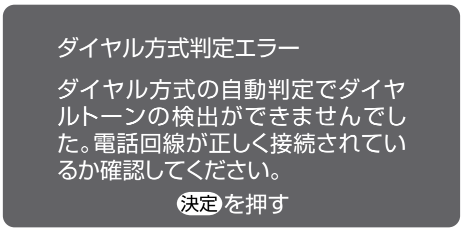
15 [︿/﹀]で「自動判定」を選び、決定を押す

回線の判定が自動的に始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

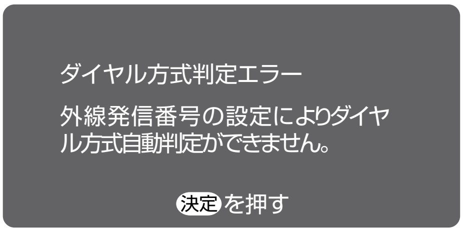
- 最初に「ダイヤルトーン検出」(電話回線が正しく接続されていることのチェック)が行われ、続いて「ダイヤル方式」の自動判定が行われます。
- 自動判定が終了すると判定結果が表示されます。

●「ダイヤル方式判定エラー」が表示された場合

- 右のメッセージの場合
  電話回線の接続(➡P.24)をしてから、もう一度行ってください。



- 右のメッセージの場合
  「外線発信番号あり」に設定している場合で、さらに、P.91で外線発信後の待ち時間を設定している場合はダイヤル方式自動判定ができません。下記の「自動判定できない場合」の設定を行ってください。



●「自動判定できない場合」

- 電話回線の種類によっては、自動判定できない場合があります。
  自動判定できない場合は、決定を押してダイヤル方式設定の画面に戻り、ご使用になっている電話回線のダイヤル方式(トーン、20PPS、10PPS)を選んで決定を押してください。
- ダイヤル方式がご不明の場合は、ご加入の NTT 営業所または局番なしの116番にお問い合わせください。

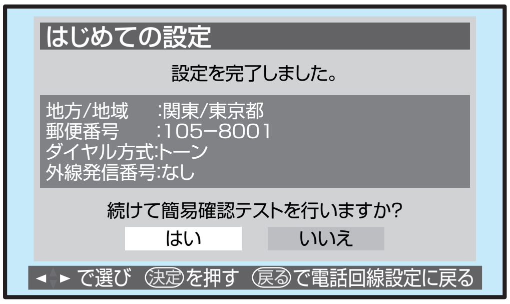
●自動判定が終了しない場合

3分以上たっても終了しない場合は、戻るを押して自動判定を中止し、電話回線との接続が正しく行われているか確認してください。
(➡P.24)

16 画面を確認して、決定を押す

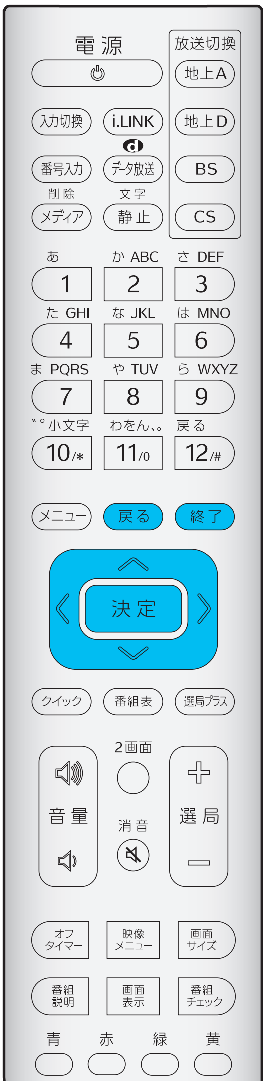
17 設定内容を確認する

設定内容を変更する場合は戻るを押してください。戻るを押すたびに、「はじめての設定」の各項目の最初の画面に戻ります。



簡易確認テスト

ここからは、簡易確認テストを行います。「はじめての設定」で設定した内容が、正しく設定されているかを確認することができます。

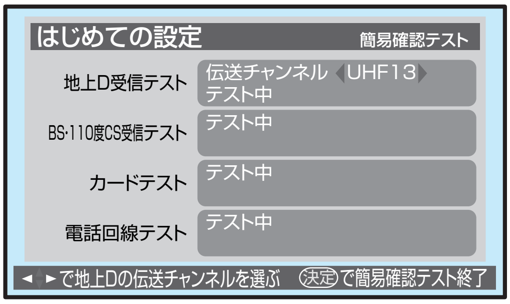


18 画面の説明を読んだ後、次の操作を行う

●簡易確認テストをする場合

[《 / 》]で「はい」を選び、決定を押す

簡易確認テストが開始されます。



- BS→110度CS→地上デジタルの順に行われます。
- 「電話回線テスト」では、ダイヤルアップ通信の「接続テスト」は行われません。
- 戻るを押すとテストを中止して前画面に戻ります。
- 「テスト結果」については、P.52をご覧ください。

●地上デジタル放送を受信する場合

次の操作で、伝送チャンネルごとの受信テストをします。

①カーソルボタンで伝送チャンネルを選ぶ

選んだ伝送チャンネルの受信テストを行います。

②他の伝送チャンネルをテストする場合は、手順①と同じ操作を行う

●簡易確認テストをしない場合

①[《 / 》]で「いいえ」を選び、決定を押す

② 終了を押して、設定を終了する

これで「はじめての設定」は終了です。

19 簡易確認テストが終了したら、決定を押す

- これで「はじめての設定」は終了です。
- 終了を押して、設定を終了します。

テスト結果について

地上D受信テスト

地上デジタル放送が受信できることをテストします。

■「正常に受信できています。」と表示された場合

正しく受信しています。

■「正しく受信できません。」と表示された場合

「地上アナログ･地上デジタル用アンテナ線をつなぐ」(➡P.20)を確認してください。また、放送の停止や放送の変更などのため、受信できなかった場合があります。

- 受信するための接続、設定を行っていない場合にも、「正しく受信できません。」と表示されます。

BS・110度CS受信テスト

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送が受信できることをテストします。

■「正常に受信できています。」と表示された場合

正しく受信しています。

■「正しく受信できません。」または「BS(110度CS)は受信できますが110度CS(BS)が受信できません。」と表示された場合

「BS･110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた」(➡P.22)と「受信設定」(➡P.65)を参照し、もう一度設定の状態を確認してください。

- 受信するための接続、設定を行っていない場合にも、「正しく受信できません。」と表示されます。

カードテスト

B-CASカードが本機で使えることをテストします。

■「正常に動作しています。」と表示された場合

正常に動作しています。

■「このB-CASカードはご使用になれません。」と表示された場合

- B-CASカードを確認してください。
- (株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(カードが貼ってある台紙を参照)にご連絡ください。

■「B-CASカードを正しく挿入してください。」と表示された場合

B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行ってください。

■「このICカードはご使用になれません。正しいB-CASカードを挿入してください。」と表示された場合

B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行ってください。(➡P.51)

■「B-CASカードが故障しています。」と表示された場合

B-CASカードの交換が必要です。(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(カードが貼ってある台紙を参照)にご連絡ください。

電話回線テスト

電話回線が正しくつながることをテストします。

■「電話回線の接続を確認しました。」と表示された場合

正しく接続されています。

■「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」と表示された場合

「電話回線の接続」(➡P.24)および「電話回線設定」(➡P.89)を参照し、もう一度接続・設定の状態を確認してください。

- 電話回線を接続していない場合にも「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」と表示されます。

■「電話回線の接続を確認できませんでした。」と表示された場合

ダイヤル方式の設定が間違っているか、ターミナルアダプターを使用していることが考えられます。詳しくはP.25をご覧ください。

■「外線発信番号の設定により電話回線テストができませんでした。」と表示された場合

P.49手順13やP.91で外線発信番号ありに設定し、さらにP.91で外線発信後の待ち時間を設定している場合は、電話回線テストはできません。電話回線が正しくつながっていることを確認するには「センターと接続できることを確認する場合」(➡P.96)を行うことをおすすめします。

データ放送用メモリの割り当て

P.47手順9や、P.74手順4などで、データ放送用メモリの割り当て画面が表示されたときの設定方法について説明します。

■個人情報とデータ放送用メモリの割り当てについて

地上デジタル放送の場合、放送局ごとに視聴者個人情報(例えば、視聴ポイント数など)を利用したサービスが行われる場合があります。本機はその個人情報を放送局ごとに本機内のデータ放送用メモリに記憶しています。

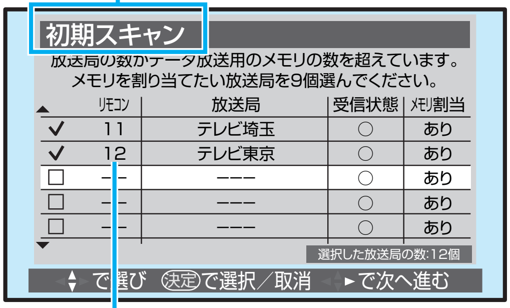
例えば、引越しをして、以前受信していた放送局の設定が残っていたときなどには、放送局の数が本機のメモリ数を超えてしまうことがあります。その場合には、初期スキャン時などに、データ放送用メモリの割り当て画面(次の手順1の画面)が表示されますので、メモリを割り当てる放送局を設定してください。

メモリを割り当てなかった放送局については、個人情報がすべて消去されますのでご注意ください。

1 メモリの割り当て画面が表示された場合は、[︿/﹀]でメモリを割り当てる放送局を選び、決定 を押す

- 選んだ放送局にチェックマーク「✔」がついて、割り当てる放送局に指定されます。もう一度 決定 を押すと、指定が取り消されます。
- ダイレクト選局ボタンに設定されている放送局は、メモリが割り当てられるように自動的に設定されています。設定を取り消すことはできません。
- この後、手順 2 ～ 4 の操作をすると、メモリ割り当ての指定をしなかった放送局の個人情報はすべて消去されます。
  消去された情報は元に戻すことはできませんのでご注意ください。

画面に合わせて名称が変わります。



ダイレクト選局ボタンで設定されている場合は1～12の数字が表示されます。

2 手順1の操作を繰り返し、9個の指定をする

ダイレクト選局ボタン(1 ～ 12)は自動的に設定されます。それらを除いた9個について指定します。

3 [〉]を押す

- 確認メッセージが表示されます。
- 9個よりも多い場合や少ない場合には、その旨のメッセージが表示されます。決定 を押した後、手順1～2の操作を行い、9個の指定を行ってください。

4 [〈 / 〉]で「はい」を選び、決定 を押す

指定した放送局についてデータ放送用メモリが割り当てられます。

5 このページの設定をする前の操作を続ける

- 「はじめての設定」の中の「地上放送チャンネル設定」の場合：P.47手順10へ
- 「初期スキャン」の場合：P.74手順5へ
- 「再スキャン」の場合：P.77手順3またはP.77手順4へ
- 「手動チャンネル設定」の場合：P.82手順7へ

外部機器の設定

i.LINKの設定

i.LINK端子にD-VHSビデオなどを接続した場合は、必要に応じて次の設定をしてください。

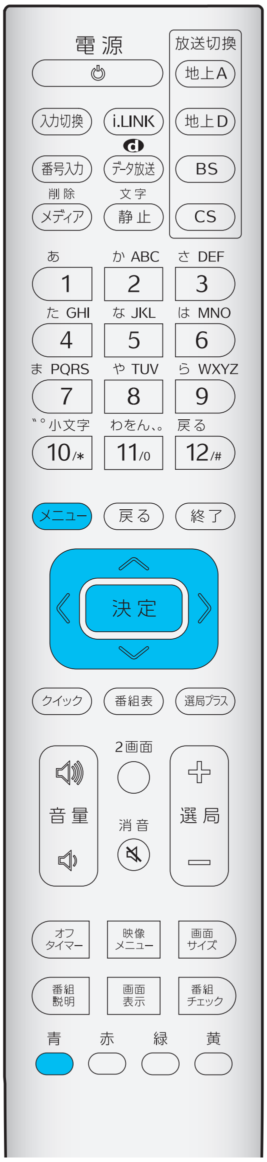
i.LINK機器の登録

通常は、本機にi.LINK機器が接続されると自動的に機器登録されます。

- 自動的に登録されるのは、最大15台までです。
- 本機に登録できるのはD-VHSビデオ、HDDビデオレコーダー、デジタルチューナー(BS、110度CS、地上デジタル用)です。それ以外の機器は登録できない場合があります。
- 録画実行中やライブラリでのコピー実行中は、i.LINK 設定できません。(➡『操作･機能編』「録画番組を D-VHSビデオへコピーする」)

■次の場合には、次の操作で登録を行ってください。あらかじめ登録する機器をi.LINK接続しておきます。(➡P.33)

- 「登録モード設定(自動/手動)を行うには」(➡P.57)を「手動」に設定している場合で、新たなi.LINK機器を登録する場合
- 16台以上のi.LINK機器を接続している場合



1 「i.LINK機器の登録」画面を表示する

① メニュー を押す

②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す

③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「外部機器設定」を選び、決定 を押す

④[︿/﹀]で「i.LINK設定」を選び、決定 を押す

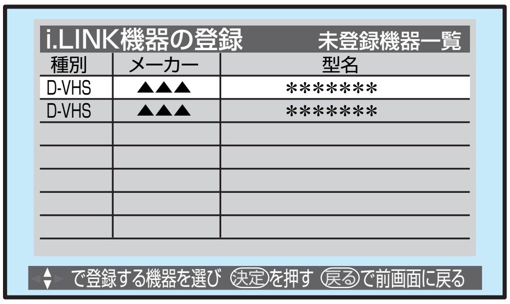
⑤[︿/﹀]で「i.LINK機器の登録」を選び、決定 を押す

未登録機器がある場合に表示されます。

- 未登録の機器がある場合は、操作ガイドが表示されます。
  操作ガイドが表示されない場合は、新たに登録できる機器がありません。
  登録を変更する場合は、「登録したi.LINK機器をビデオ1接続に設定する/登録を削除する」(➡P.55)で削除してから、登録操作を行ってください。

2 青 を押す

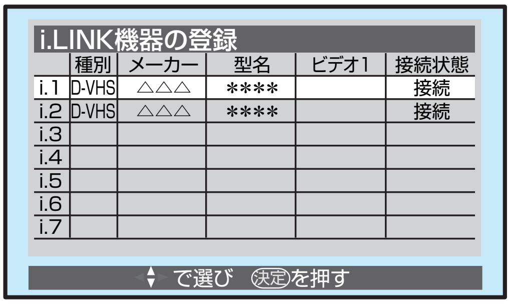
未登録機器一覧が表示されます。



3 [︿/﹀]で登録したい機器を選び、決定 を押す

4 [︿/﹀]で登録場所を選び、決定 を押す

すでに登録されている場所を選んだ場合は、確認のメッセージが表示されます。
そのまま登録する場合は「変更する」を選んで 決定 を押してください。
続けて登録をする場合は、手順2～4を繰り返す



5 終了 を押して、設定を終了する

登録したi.LINK機器をビデオ1接続に設定する/登録を削除する

i.LINK接続した機器からのアナログ信号を本機のビデオ入力1端子に入力するように設定します。
設定しておくと、デジタル信号からアナログ信号に変わったとき、自動的に「ビデオ入力１」に切り換わるので、手動での入力切換操作が不要となり便利です。
また、i.LINK接続をしなくなった機器を登録リストから削除することができます。1台ずつ指定して削除する方法と、まとめて削除する方法があります。

- ビデオ１接続に設定した機器の操作方法は、『操作･機能編』「i.LINK 接続された機器を本機のリモコンで操作する」をご覧ください。
- ビデオ１接続に設定できるのはD-VHSビデオ、またはデジタルチューナーを１台だけです。HDDビデオレコーダーは設定できません。

1 「i.LINK機器の登録」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「外部機器設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「i.LINK設定」を選び、決定 を押す
⑤[︿/﹀]で「i.LINK機器の登録」を選び、決定 を押す

2 ビデオ1接続に設定する/削除する

→設定のしかた/削除のしかた (P.56)

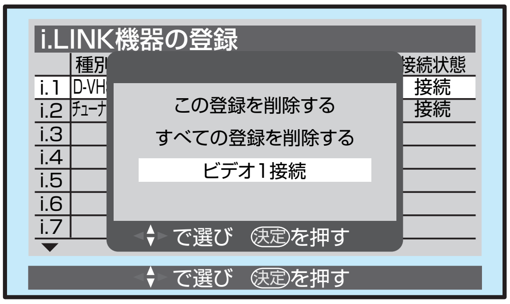
3 終了 を押して、設定を終了する

設定する

→設定のしかた / 削除のしかた

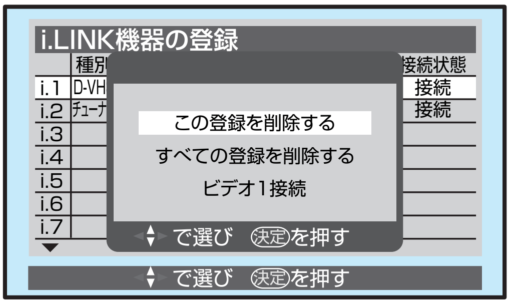
ビデオ1接続に設定するには

①[︿/﹀]で登録したい機器を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で「ビデオ1接続」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「設定する」を選び、決定 を押す
　すでにビデオ1接続に設定されている機器を選ぶと、解除をする/しないの選択画面になります。設定を解除する場合は、「解除する」を選んで 決定 を押してください。
④ 終了 を押して、設定を終了する



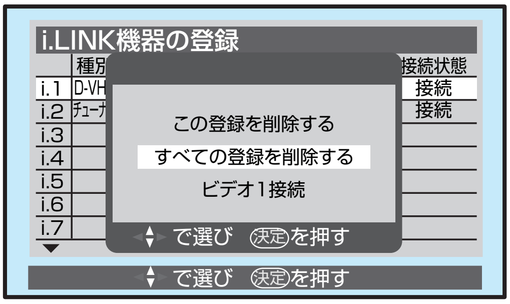
機器を指定して削除するには

①[︿/﹀]で削除したい機器を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で「この登録を削除する」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「削除する」を選び、決定 を押す
　続けて他の機器を削除する場合は、手順①〜③を繰り返す
④ 終了 を押して、設定を終了する



すべての機器をまとめて削除するには

① 決定 を押す
②[︿/﹀]で「すべての登録を削除する」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「削除する」を選び、決定 を押す



■i.LINK機器を接続したままの状態で、本機の登録リストから削除したい場合

「登録モード設定(自動/手動)を行うには」(➡P.57)を「手動」でご使用の場合に削除ができます。「自動」に設定されている場合は、削除の操作をしても再度自動的に登録される場合があります。

■録画予約設定されているi.LINK機器について

録画予約設定されているi.LINK機器は削除できません。削除するには録画予約を取り消してください。
(➡『操作・機能編』「予約一覧の確認」)

その他のi.LINK設定

お買い上げ時は、基本的な状態に設定されています。設定を変える場合は、次の手順1からの操作を行ってください。

設定項目	内容	設定値（_がお買い上げ時の設定）
登録モード	i.LINK機器の登録を自動で行うか、手動操作で行うかの設定をします。	自動/手動
外部機器からの制御	本機がi.LINK接続されている他の機器から制御できるように設定します。	あり/なし
ブロードキャスト入力設定	他機器からのブロードキャストを受けることができるように設定します。	オン/オフ
最大データ転送速度設定	転送速度を設定します。100Mbpsのケーブルや機器を使用する場合は、「S100」に設定してください。	最適/S100
D-VHSテープ検出	録画予約や一発録画をデジタル録画で行う際、D-VHSテープが入っているかを自動検出します。	オン/オフ
チューナーの選局方法	デジタル放送チューナー（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送用）を本機にi.LINK接続して、本機からデジタル放送チューナーの選局操作をする際の選局方法を設定します。	選局1/選局2

1 「i.LINK設定」画面を表示する

①［メニュー］を押す
②［︿/﹀/《/》］で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す
③［《/》］で「初期設定」を選んだあと、［︿/﹀］で「外部機器設定」を選び、［決定］を押す
④［︿/﹀］で「i.LINK設定」を選び、［決定］を押す

2 i.LINK設定する

→設定のしかた

3 ［終了］を押して、設定を終了する

設定した内容は、次にi.LINK機器を操作したときから反映されます。

設定する

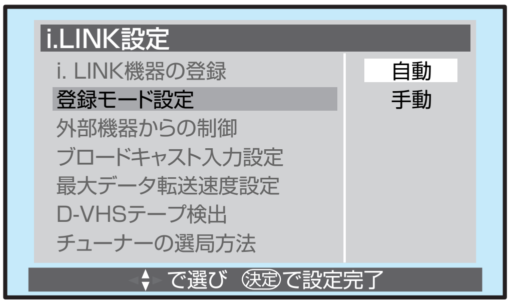
→設定のしかた

登録モード設定（自動/手動）を行うには

通常はこの設定は不要です。

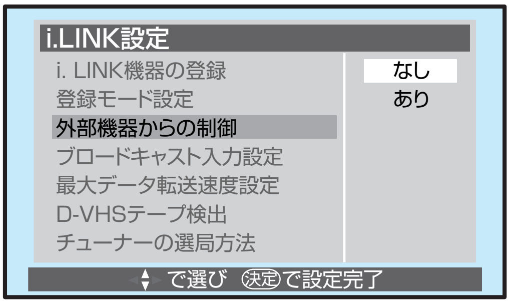
- 「自動」の場合は、i.LINK機器が本機に接続されると、自動的に機器が登録されます。通常は「自動」のままでご使用いただけます。
- i.LINK接続している機器の一部だけを登録したい場合や、自動登録の動作が安定しない場合は、「手動」に設定します。この場合は、i.LINK機器の登録をしてください。（➡P.54）

①［︿/﹀］で「登録モード設定」を選び、［決定］を押す
②［︿/﹀］で「自動」または「手動」を選び、［決定］を押す



→設定のしかた（続き）

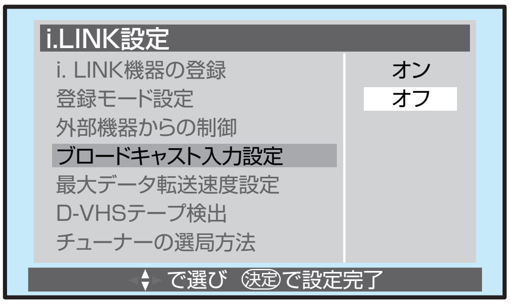
外部機器からの制御（なし/あり）を行うには



- 本機の「電源待機消費電力」を設定している場合で、その設定時間に電源を待機にしていたときには、i.LINK接続されている他の機器からの制御は受け付けません。（➡『操作･機能編』「省エネ設定」）
- 「外部機器からの制御」を「あり」に設定すると、他の機器から本機をi.LINK制御できるようになります。

①[︿/﹀]で「外部機器からの制御」を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で「なし」または「あり」を選び、決定 を押す

ブロードキャスト入力設定（オン/オフ）を行うには

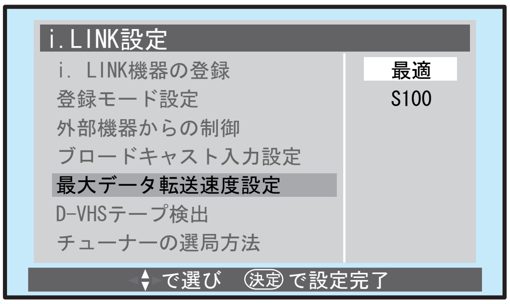


ブロードキャストとは、i.LINK接続されている複数の機器に同時に信号を送り、その信号を、それぞれの機器で同時に受けるようにした機能のことです。（➡『操作･機能編』「基本の操作」）

- 接続される機器によっては、本機で「ブロードキャスト入力設定」を「オン」に設定しても、ブロードキャストをご覧になれない場合があります。

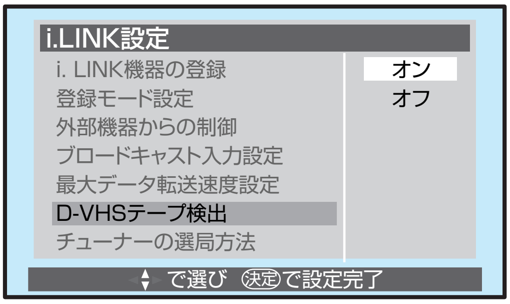
①[︿/﹀]で「ブロードキャスト入力設定」を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

最大データ転送速度設定（最適/S100）を行うには



①[︿/﹀]で「最大データ転送速度設定」を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で「最適」または「S100」を選び、決定 を押す

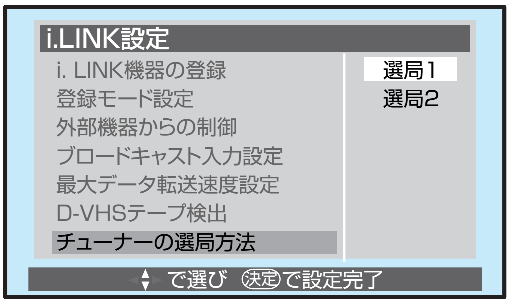
D-VHSテープ検出（オン/オフ）を行うには



①[︿/﹀]で「D-VHSテープ検出」を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で「オン」または「オフ」を選び、[︿/﹀]を押す

- **オン**：自動検出を行います。
  （自動検出の判定は、本機ではなくD-VHSビデオが行います。）
  デジタル録画予約や一発録画（デジタル録画の場合）で、実行時にD-VHSテープが入っていない場合は録画を実行しません。
- **オフ**：本機側では自動検出を行いません。
  D-VHSテープを入れても、D-VHSテープが入っていないというメッセージが表示される場合は、この機能を「オフ」に設定してください。これは、D-VHSビデオにD-VHSテープの自動検出機能がないためです。本機の故障ではありません。

チューナーの選局方法（選局1/選局2）を行うには
（➡『操作･機能編』「デジタルチューナーの場合」）



①[︿/﹀]で「チューナーの選局方法」を選び、決定 を押す
②[︿/﹀]で「選局1」または「選局2」を選び、決定 を押す

- **選局1**：i.LINK操作パネルには、数字ボタン（ 1 〜 12 ）が表示されます。
  3桁チャンネル番号で選局したり、数字ボタンに登録させたチャンネルを選局するなどの使いかたができます。
- **選局2**：i.LINK操作パネルには、[選局＋/－]が表示されます。
  チャンネルを順に選局することができます。

設定する

ビデオ機器の設定

ビデオ機種設定

付属のビデオコントロールケーブルを使用してビデオ機器への録画予約、一発録画を行う場合は、機種設定をしておきます。
お買い上げ時のビデオの機種設定は、「東芝1」に設定されています。

ポイント

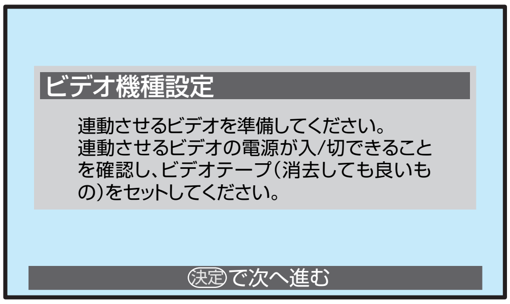
- あらかじめ付属のビデオコントロールケーブルを接続・設置しておきます。(➡P.32)
- 設定が終了したあとは、必ず「ビデオ動作の確認」(➡P.61)を行ってください。
  (手順3または手順4で「該当なし」に設定した場合は不要です。)
  「ビデオ動作の確認」で正しく動作しない場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して本機から録画予約、一発録画をすることはできません。この場合は録画機器側の操作で録画予約や録画の操作を行ってください。(➡P.62)

1 「ビデオ機種設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「外部機器設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「ビデオ設定」を選び、決定 を押す
⑤[︿/﹀]で「ビデオ機種設定」を選び、決定 を押す

2 画面の説明に従って、連動させるビデオの準備をする

①ビデオの電源が、ビデオのリモコンで入/切(待機)できることを確認する
②消去してもよいビデオテープをビデオに入れる
③ 決定 を押す
録画実行中やライブラリでのコピー実行中は、ビデオ機種設定はできません。



3 [︿/﹀/《/》]で設定するビデオのメーカーを選び、決定 を押す

該当するメーカーがない場合
ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約や一発録画をすることはできません。ビデオ側で録画予約や録画の操作を行ってください。
「該当なし」を選んで 決定 を押すと、手順1の⑤に戻ります。
終了 を押して、設定を終了します。

設定する

4 [︿/﹀/《/》]でリモコンの信号形式を選ぶ

●ビデオの電源が入⇔切(待機)となる信号形式を選びます。
選んだ信号形式によっては電源入から切(待機)までしばらく時間がかかる場合があります。(信号形式によっては1分ほどかかる場合もあります。)

ビデオの電源が入⇔切(待機)となるものがない場合
ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約、一発録画をすることはできません。ビデオ側で録画予約や録画の操作を行ってください。
「該当なし」を選んで 決定 を押すとメッセージ画面になります。
決定 を押すと手順1の⑤に戻ります。
終了 を押して、設定を終了してください。

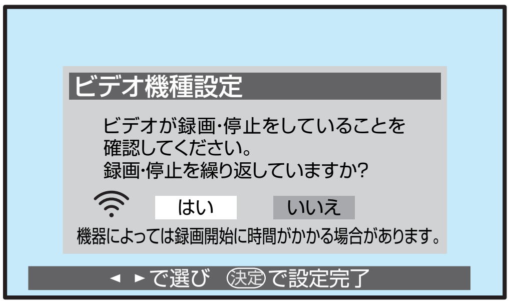
5 決定 を押す

6 ビデオの電源が「入」であることを確認してから、決定 を押す

ビデオの電源が切(待機)のときには、ビデオの電源ボタンを押して電源を入れてから、決定 を押してください。

7 ビデオが録画⇔停止を繰り返しているかを確認する

選んだ信号形式によっては録画⇔停止でしばらく時間がかかる場合があります。
(信号形式によっては1分ほどかかる場合もあります。)



●ビデオが録画⇔停止を繰り返している場合
[《/》]で「はい」を選び、決定 を押す
「ビデオの設定が完了しました。」のメッセージが表示されます。その後、手順1の⑤に戻ります。手順8に進んでください。
録画が続いている場合は、ビデオ側で停止の操作をしてください。

●ビデオが録画⇔停止を繰り返していない場合
[《/》]で「いいえ」を選び、決定 を押す
現在選んでいる信号形式では、ビデオの録画や停止を行うことができません。別の信号形式を選んでください。
- 手順4の画面に戻ります。別の信号形式を選んで、手順4以降の操作をもう一度行ってください。
- どの信号形式でも、ビデオが録画⇔停止を繰り返さない場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約や一発録画をすることはできません。終了 を押して、設定を中止してください。

8 続けて「ビデオ動作の確認」(➡P.61)を行う

(手順3または手順4で「該当なし」を選んだ場合は不要です。)

設定する

ポイント

- ビデオによっては「ビデオ 1」「ビデオ 2」などのように、ビデオ側でリモコンの信号形式を選べる場合があります。お使いのビデオ機器の取扱説明書でご確認ください。
- 「該当なし」を選ぶと、それ以前に設定された内容は削除されます。

ビデオ動作の確認

ビデオコントロールケーブルで、ビデオ機器が正しくコントロールされているかを確認することができます。

ポイント

■ビデオ動作の確認をする場合は、あらかじめ次の内容を確認してください。

- 付属のビデオコントロールケーブルが正しく接続、設置されていること(➡P.32)
- 「ビデオ機種設定」(➡P.59)が完了していること
- 「ビデオ機種設定」で「該当なし」に設定した場合は、ビデオの動作の確認はできません。

1 「ビデオ動作確認」画面を表示する

① メニュー を押す

②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す

③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「外部機器設定」を選び、決定 を押す

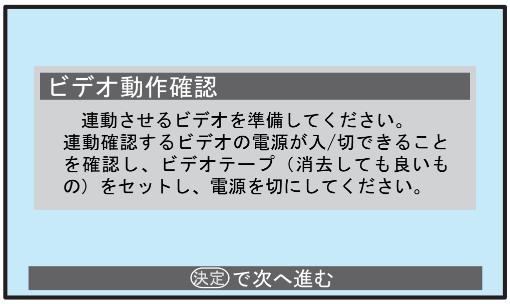
④[︿/﹀]で「ビデオ設定」を選び、決定 を押す

⑤[︿/﹀]で「ビデオ動作確認」を選び、決定 を押す

2 連動させるビデオの準備をする

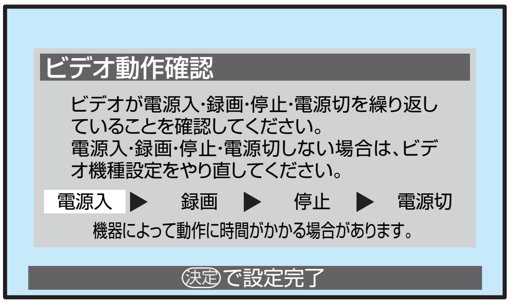
①消去してもよいビデオテープをビデオに入れる

②ビデオの電源を切(待機)にする

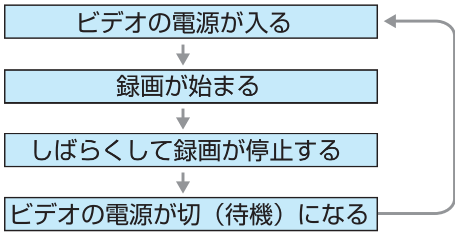


3 決定 を押す

ビデオコントロールケーブルからリモコン信号が送信され、ビデオが自動的に動作を開始します。



- 画面の表示に従って、右の図のとおり動作することを確認してください。
  ビデオによっては、それぞれの動作にしばらく(1分ほど)時間がかかる場合があります。



- ビデオが図のとおり正常に動作しない場合は、「ビデオコントロールケーブルを接続する」(➡P.32)、「ビデオ機種設定」(➡P.59)を再度確認してください。
- ビデオによっては、2回目の「ビデオの電源が入る」のときに電源が入らないことがあります。1回目の「ビデオの電源が入る」から「ビデオの電源が切(待機)になる」までの動作が確認できれば問題ありませんので、手順4に進んでください。

4 ビデオが動作していることを確認したら、決定 を押す

「ビデオ設定」の画面に戻ります。
録画が続いている場合は、ビデオ側で停止の操作をしてください。

5 終了 を押して、設定を終了する

ビデオコントロールケーブルが正しく動作しないときは

ご覧になっているデジタル放送を録画するときは、録画機器で操作します。
その場合は、以下の操作を行ってください。

- 録画機器で入力チャンネルを選択する
- 本機で、録画する番組の視聴予約、または録画予約の設定をする
  必ず、主電源スイッチを「入」の状態にしてください。
- 録画機器で、本機で予約した番組の録画予約の設定を行う

本機の視聴予約の方法は、(➡『操作·機能編』「見たい番組を予約する/番組の録画を予約する」)をご覧ください。録画機器の設定・操作方法はお使いの録画機器の取扱説明書をご覧ください。

- 文字画面表示(番組名の表示やメニュー表示など)や字幕、データ放送は録画できません。
- 本機で「省エネ設定」を設定している場合は、自動的に電源待機状態になり、デジタル放送録画出力から信号が出力されなくなり、録画機器の操作で録画できない場合があります。(➡『操作·機能編』「省エネ設定」)
- 「デジタル放送録画出力の設定」(➡P.63) を「設定する」にしているときには上記の方法では録画ができません。「設定しない」にするか、「録画予約」、「一発録画」で録画してください。(➡『操作·機能編』「見たい番組を予約する/番組の録画を予約する」「一発録画(見ている番組を録画する)」)
- 本機の電源待機時には、デジタル放送出力端子から信号が出力されません。録画中は、本機の電源を切る操作を行わないでください。

デジタル放送録画出力の設定

アナログ方式で録画予約や一発録画を実行しているときのみ、本機背面の「デジタル放送録画出力」端子から映像信号が出るように設定することができます。
お買い上げ時は「設定しない」に設定されています。

1 「デジタル放送録画出力」画面を表示する

① [メニュー] を押す
②[︿/﹀/《 / 》]で「設定メニュー」を選び、[決定] を押す
③[《 / 》]で「その他」を選んだあと、[︿/﹀]で「デジタル放送録画出力」を選び、[決定] を押す

2 [︿/﹀]で[設定する]または[設定しない]を選び、[決定] を押す

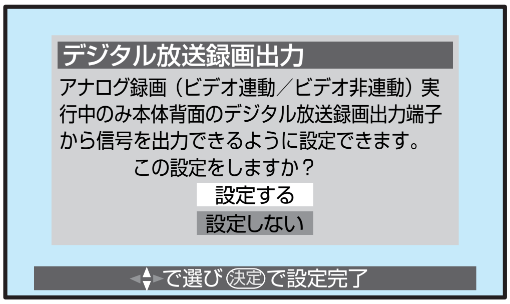
どちらに設定した場合でも、音声信号は出力されます。

●設定する

映像信号については、アナログ方式の録画予約や一発録画の実行中のみ、背面のデジタル放送録画出力端子から信号を出力します。

●設定しない

アナログ方式の録画予約や一発録画実行中以外でも、背面デジタル放送録画出力端子から信号を出力します。



3 [終 了] を押して、設定を終了する

ビデオ入力表示の設定

ビデオ機器などの映像をご覧になるときに、接続している機器に合わせて 入力切換 を押してビデオ入力を選びます。 入力切換 を押したときの画面表示(ビデオ入力1～5)を接続機器に合わせて変更することができます。

■お買い上げ時の状態
ビデオ1：VTR
ビデオ2：VTR
ビデオ3：VTR
ビデオ4：VTR
ビデオ5：VTR

1 「ビデオ入力表示設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「その他」を選んだあと、[︿/﹀]で「ビデオ入力表示設定」を選び、決定 を押す

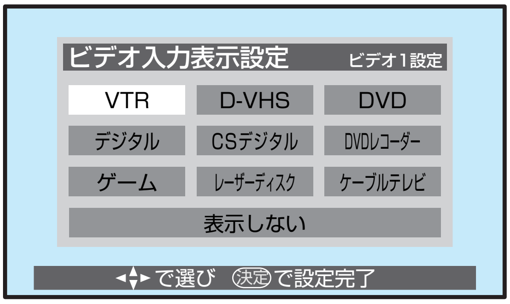
2 [︿/﹀]で設定するビデオ入力を選び、決定 を押す

機器名のリストが表示されます。
- 「初期設定に戻す」を選ぶと「ビデオ入力表示」がお買い上げ時の状態に戻ります。

3 [︿/﹀/《/》]で設定する機器名を選び、決定 を押す

表示させない場合は、「表示しない」を選んでください。

●いくつものビデオ入力表示を変更する場合
手順2、3を繰り返します。



4 終了 を押して、設定を終了する

設定する

受信設定

地上デジタルアンテナレベルの確認および方向調整

地上デジタル用アンテナの受信レベルを確認することができます。
- アンテナの方向調整は、お近くの電器店にご相談ください。
- アンテナレベルの数値が最大になるように、アンテナの方向を調整してください。

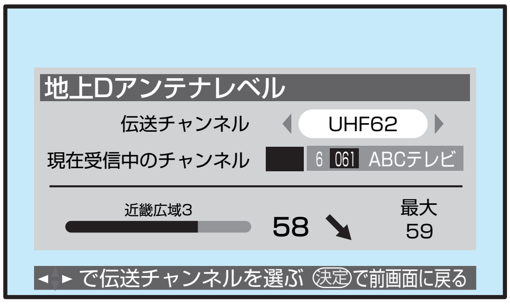
1 「地上Dアンテナレベル」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「受信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「地上Dアンテナレベル」を選び、決定 を押す

2 [《/》]で「伝送チャンネル」を選ぶ

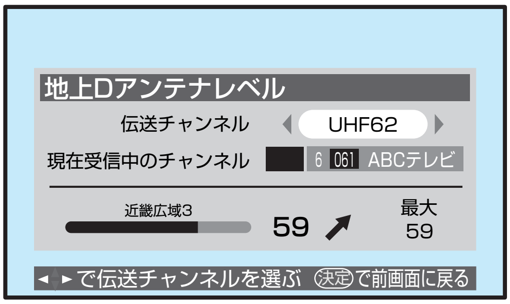
次のように切り換わります。

VHF1～VHF12
↕
UHF13～UHF62
↕
CATV13～CATV63



3 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

- アンテナレベルが大きくなると↗が表示され、小さくなると↘が表示されます。
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がってないことを確認してください。



4 アンテナを固定して、決定 を押す

5 終了 を押して、「地上Dアンテナレベル」を終了する

設定する

ポイント

「地上アナログ・地上デジタル用アンテナ線をつなぐ」(➡P.20)も合わせてご覧ください。

BS・110度CSアンテナレベルの確認および方向調整

BS・110度CSデジタル用アンテナの受信レベルを確認することができます。
- アンテナの方向調整は、お近くの電器店にご相談ください。
- アンテナレベルの数値が最大になるように、アンテナの方向を調整してください。
- アンテナの調整方法については、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

1 「BS・110度CSアンテナレベル」画面を表示する

①［メニュー］を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「受信設定」を選び、［決定］を押す
④[︿/﹀]で「BS・110度CSアンテナレベル」を選び、［決定］を押す

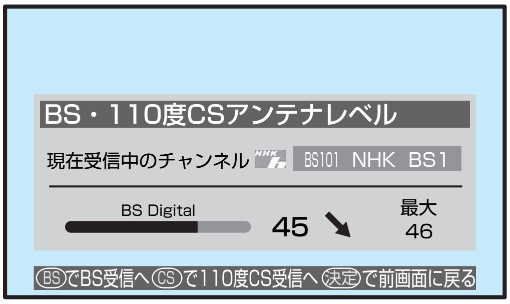
2 ［BS］または［CS］を押して放送の種類(BSまたは110度CS)を切り換える

3 現在放送が行われているチャンネルを選局する

[選局＋/－]で選局できます。

4 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

- アンテナレベルが大きくなると↗が表示され、小さくなると↘が表示されます。
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。



5 アンテナを固定して、［決定］を押す

6 ［終了］を押して、「BS・110度CSアンテナレベル」を終了する

ポイント

「BS・110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた」(➡P.22)も合わせてご覧ください。

■映像が出ないとき

契約していないチャンネルを選んでいる場合があります。契約しているチャンネルまたは無料のチャンネルを選んで、アンテナの調整をしてください。

■「アンテナ線がショートしています。」と表示されたとき

主電源スイッチを「切」にしてショートの原因を取り除いてから、主電源スイッチを「入」にして手順1からやり直してください。

設定する

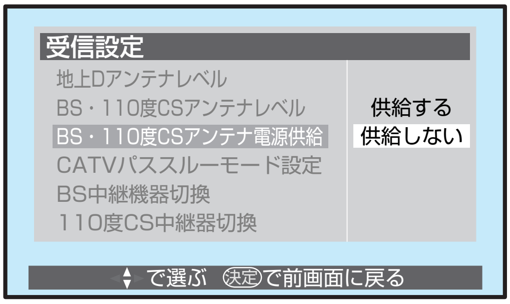
BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給

アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。
マンションなどで、アンテナに他の機器から電源が供給されているときは、「供給しない」に設定します。
お買い上げ時は、「供給する」に設定されています。

1 「BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給」画面を表示する

① [メニュー] を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、[決定] を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「受信設定」を選び、[決定] を押す
④[︿/﹀]で「BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給」を選び、[決定] を押す

2 [︿/﹀]で「供給する」または「供給しない」を選び、[決定] を押す



3 [終了] を押して、設定を終了する

ポイント

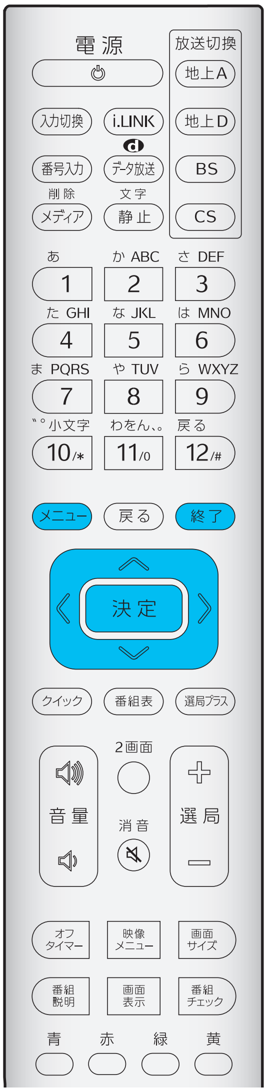
- 本体前面の主電源スイッチを「切」にした状態では、アンテナ電源は供給されません。
- 「供給する」に設定されている場合、本機の電源が待機状態のときには、アンテナ電源は供給されませんが、契約情報の更新や予約実行またはダウンロード実行などのときには自動的にアンテナ電源が供給されます。
- 「BS･110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた」(➡P.22)も合わせてご覧ください。

CATVパススルーモード設定

この設定はBSデジタル放送のみで、地上デジタル放送と110度CSデジタル放送は設定できません。

ケーブルテレビで、BSデジタル放送サービスが行われている場合は、周波数アップコンバーターを接続することで、本機でBSデジタル放送をお楽しみいただけます。その場合は、CATVパススルーモード設定をすることが必要です。

- お買い上げ時は「設定しない」に設定されています。
- この機能や周波数アップコンバーターについては、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。



1 「CATVパススルーモード設定」画面を表示する

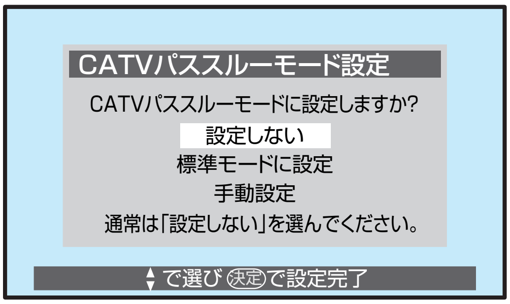
① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「受信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「CATVパススルーモード設定」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で設定する状態を選び、決定 を押す

次の3つから設定する状態を選んでください。

衛星直接受信の場合には、「設定しない」に設定してください。「標準モードに設定」や「手動設定」に設定すると、一部の放送が受信できなくなります。

- **設定しない**：CATV パススルーモードを設定しない場合
- **標準モードに設定**：ケーブルテレビでの標準的なCATVパススルー方式に設定する場合
- **手動設定**：伝送する BS-IF チャンネルとその並びを指定する場合

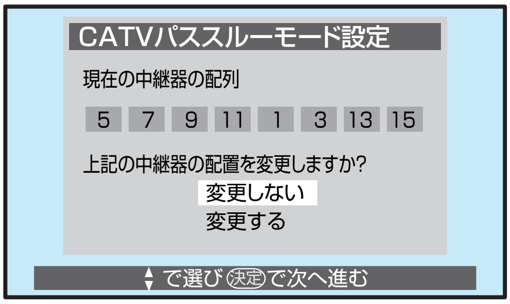


「設定しない」または「標準モードに設定」を選んだ場合は、その状態に設定され、手順1の画面に戻ります。終了 を押して、設定を終了します。
「手動設定」を選んだ場合は、手順3に進んでください。

3 「手動設定」を行う

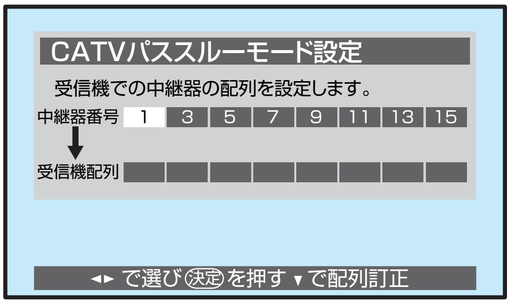
①現在設定されている状態を画面表示で確認し、「変更しない」または「変更する」を[︿/﹀]で選んで、決定を押す

「変更しない」を選んだ場合は、終了を押して、設定を終了してください。



②[《 / 》]で設定する中継器を選び、決定を押す

- 設定欄の選んだ中継器の番号が、受信機の配列の左から順次設定されます。
- 訂正する場合は、[﹀]を押し、[《]を押すと一つずつ左に戻ります。訂正したら[︿]を押してください。
- すべての設定欄に登録されると、手順1の画面に戻ります。



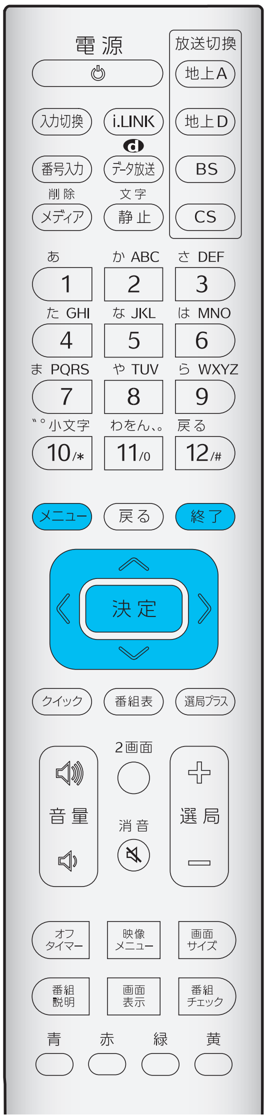
項目	BS-IF							
中心周波数(MHz)	1049.48	1087.84	1126.20	1164.56	1202.92	1241.28	1279.64	1318.00
衛星直接受信チャンネル	BS-1	BS-3	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-13	BS-15
CATVパススルー方式受信チャンネル	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-1	BS-3	BS-13	BS-15

4 終了を押して、設定を終了する

BS中継器切換/110度CS中継器切換

通常は切換の必要はありません。
次のような場合に、現在の中継器を他の中継器に切り換えることで、故障した中継器以外の放送が受信できるようになります。

- 衛星の一部の中継器が故障したために、すべての放送が受信できない場合
- 外部機器からの電波干渉などによって一部の中継器が受信できない場合

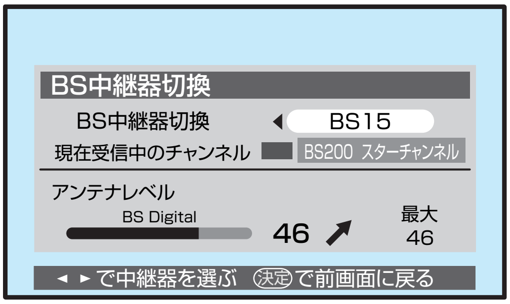


1 「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」画面にする

①（メニュー）を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、（決定）を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「受信設定」を選び、（決定）を押す
④[︿/﹀]で「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」を選び、（決定）を押す

2 [《/》]で中継器を切り換える

選択できる中継器は、下表のとおりです。



放送	中継器
BSデジタル放送	BS01、BS03、BS05、BS07、BS09、BS11、BS13、BS15
110度CSデジタル放送	ND02、ND04、ND06、ND08、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND22、ND24

3 放送が受信できたことを確認したら、（決定）を押す

4 （終了）を押して、設定を終了する

チャンネル設定

受信するチャンネルを本機に設定します。

ポイント

「はじめての設定」(➡P.45)が終了している場合は、基本的なチャンネルの設定は終了しています。ここでの設定は必要ありません。
「はじめての設定」終了後にチャンネルの設定を変更する場合は、以下の「チャンネル設定について」の表を参考に設定してください。

チャンネル設定について

チャンネル設定には、自動チャンネル設定と手動チャンネル設定があります。詳しくは下表とそれぞれの設定ページをご覧ください(通常は、自動チャンネル設定で行います)。
CATV放送は、「地上アナログ放送(VHF/UHF/CATVC13～C63)の手動チャンネル設定」(➡P.78)で設定してください。受信可能なチャンネルは、CATV会社にお問い合わせください。

設定項目	放送の種類	内容	設定ページ
自動チャンネル設定 自動でチャンネルの設定を行います。	地上アナログ放送	・お使いになる地域に設定すると、その地域で放送されている地上アナログ放送(VHF/UHF)のチャンネルおよび各放送局名が自動的に設定されます。 ・地上アナログ放送の自動設定されるチャンネルは「地上アナログ放送の放送一覧」(➡P.126)をご覧ください。	72
	地上デジタル放送	初期スキャン 地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、ダイレクト選局ボタンに放送の運用規定に基いて自動的に設定します。他の地域に引越しなどされた場合には、初期スキャンを行ってください。	73
		再スキャン 新たに放送局が開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルが増えたなど、放送に変更があった場合には再スキャンを行ってください。	76
		自動スキャン 電源待機時などに自動的にチャンネルのスキャンを行い、放送局の追加・変更が見つかったときには、チャンネル設定を自動的に追加・変更して、同時に「本機に関するお知らせ」でご連絡する機能です。	『操作･機能編』「自動スキャンについて」
手動チャンネル設定 お客様のご都合に合わせて、手動で設定を行います。	・地上アナログ放送(CATV含む) ・地上デジタル放送 ・BSデジタル放送 ・110度CSデジタル放送	・ダイレクト選局ボタンに設定されている内容(チャンネル)を手動操作で変更したいときに行います。 ・地上アナログ放送の場合は、次のような場合にも手動設定をお使いください。 ●自動チャンネル設定で設定ができないとき ●お住まいの地域で放送局が増えたとき ●設定されたチャンネル表示を変えたいとき	78

自動チャンネル設定

- 自動チャンネル設定には、地上アナログ放送の場合(➡以下)と地上デジタル放送の場合(➡P.73)があります。
- BSデジタル放送と、110度CSデジタル放送のチャンネルについては、お買い上げ時に設定されています。お買い上げ時に設定されている内容については、『操作･機能編』「BS、110度CSデジタル放送の場合」の表をご覧ください。
  設定を変更する場合は「BSデジタル放送の手動チャンネル設定」(➡P.82)、「110度CSデジタル放送の手動チャンネル設定」(➡P.84)で行ってください。

地上アナログ放送の場合

地上アナログ放送のチャンネルを自動設定します。

- ご使用になる地域で放送されているチャンネルを設定することができます。
- 地上アナログ放送の自動チャンネル設定の前に、チャンネル設定の流れをご覧ください。

「地上アナログ放送の放送一覧」(➡P.126)に、お使いになる地域・都市名が記載されていますか？

記載されている	記載されていない
次の手順1からの設定をする	次の手順1からの設定をする
正しく受信できないときは、「お使いの地域・都市名で地上アナログ放送の自動チャンネル設定をしても正しく受信できない場合」をする(➡P.126)	正しく受信できないときは、「地上アナログ放送(VHF/UHF/CATVC13～C63)の手動チャンネル設定」をする(➡P.78)

自動チャンネル設定は、「地上アナログ放送の放送一覧」(➡P.126)の内容で設定されますが、チャンネルが変更になり受信できなくなることがあります。受信できないチャンネルがあるときやCATV放送は、「地上アナログ放送(VHF/UHF/CATVC13～C63)の手動チャンネル設定」(➡P.78)で設定してください。

1 「地上A自動設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「地上A自動設定」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀/《/》]でお住まいの地方名を選び、決定 を押す

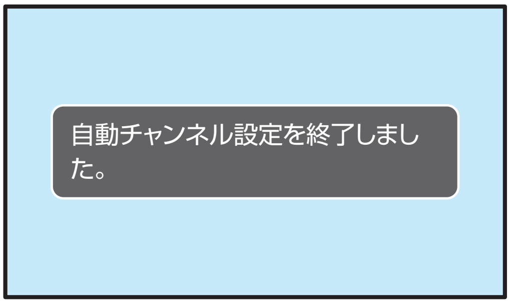
ポイント

バージョンアップによって、本機内に設定している「地上アナログ放送の放送一覧」(➡P.126)の内容が変わる場合があります。その結果、選択の手順3～5の項目が変わる場合もあります。

3 [︿/﹀/《/》]でお住まいの都道府県名を選び、決定 を押す

4 [︿/﹀/《/》]でお住まいの地域・都市名を選び、決定 を押す

- つぎつぎにチャンネル設定確認画面が表示され、自動的にダイレクト選局ボタンにチャンネルが設定されます。
- 自動で設定されるチャンネルは「地上アナログ放送の放送一覧」(➡P.126)一覧表をご覧ください。
- 地上A自動設定が終わると、右のメッセージが数秒間表示されます。



5 終了 を押して、設定を終了する

地上デジタル放送の場合

初期スキャン

- 地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、放送の運用規定に基いてダイレクト選局ボタンに自動設定します。
- 「はじめての設定」の中の「地上放送チャンネル設定」(➡P.46)と同じ機能です。
- 「初期スキャン」を行うと、これまでに選局設定した内容はすべて消去されて、設定し直されますのでご注意ください。
- 「初期スキャン」で設定された内容の確認や変更を行う場合は、「地上デジタル放送の手動チャンネル設定」(➡P.80)を行ってください。
- 各放送局ごとに本機に記憶された個人情報(例えば、視聴ポイント数など。P.53の最初の説明を参照)については消去されません。
- 地上デジタル放送の場合「はじめての設定」終了後、新たに開局したチャンネルを登録する場合や中継器が新設、変更された場合は、「初期スキャン」ではなく「再スキャン」(➡P.76)を行ってください。
- 設定されるチャンネルの目安については「地上デジタル放送の放送(予定)一覧」(➡P.138)をご覧ください。
- 初期スキャンの途中で 戻る や 終了 を押すと、地上デジタル放送の放送(予定)一覧を終了します。(初期スキャンした内容は本機に設定されません。)

1 「地上D自動設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「地上D自動設定」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で「初期スキャン」を選び、決定 を押す

設定する

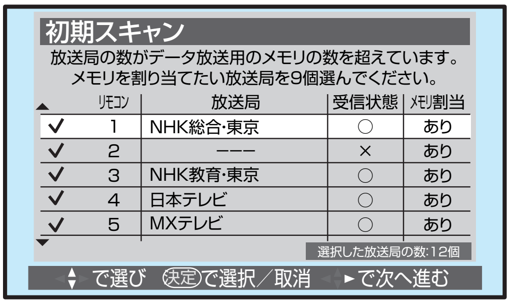
3 [︿/﹀/《/》]でお住まいの地方名を選び、決定を押す

4 [︿/﹀/《/》]でお住まいの都道府県名、または地域を選び、決定を押す

- 初期スキャンが自動的に始まります。終了するまでしばらくお待ちください。
- 設定された内容の確認や変更をしたい場合は、「初期スキャン」終了後、「地上デジタル放送の手動チャンネル設定」(➡P.80)で行ってください。

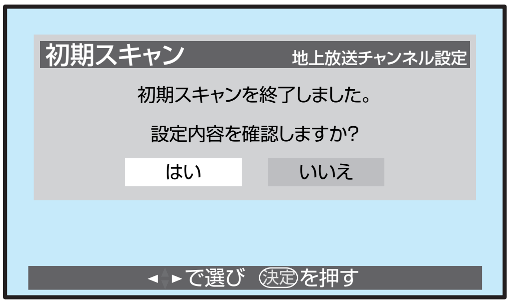
●右の画面が表示された場合

「データ放送用メモリの割り当て」(➡P.53)を行ってください。「データ放送用メモリの割り当て」が終了したら、手順5に進みます。



5 [《/》]で「はい」を選び、決定を押し、設定内容を確認する

設定内容を確認したら、決定を押してください。
設定された内容を確認しない場合は、「いいえ」を選んでください。



6 終了を押して、設定を終了する

■初期スキャンの動作について

- 初期スキャンを行うと、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、本機のメモリに設定します。ダイレクト選局ボタンへの自動設定は、設定された地方・地域と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従って行われます。
- ダイレクト選局ボタンに自動設定された内容を変更したい場合は、「地上デジタル放送の手動チャンネル設定」(➡P.80)で行ってください。
- 初期スキャンは(VHF1～12)→(UHF13～62)→(CATV13～63)の順で行われます。
- 初期スキャン後の各チャンネルの構成については、「地上デジタル放送の放送(予定)一覧」(➡P.138)でご確認ください。
- 電波が弱い場合には、初期スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

■地方と地域の設定について

チャンネルの自動設定は、設定された地方、地域に基づいて行われます。P.48でも地方、地域を設定しますが、それは、データ放送(例えば、天気予報や選挙速報など)や緊急警報放送を受信したり、電話回線を通して最寄りのアクセスポイントでご利用いただくための設定であり、別に設定できるようになっています。

■新たに開局したチャンネルを追加登録したいとき

初期スキャンでは、受信できたチャンネルのみが設定されます。
新たに開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルが増えたなど、放送に変更があった場合は、「再スキャン」(➡P.76)を行ってください。

■「はじめての設定」と異なる部分について

「はじめての設定」(➡P.45)と「初期スキャン」では、地方・都道府県・地域の設定のしかたが異なっています。
これは、「はじめての設定」では、地上アナログと地上デジタルの設定を同時にまとめて行っているためです。

再スキャン

- 地上デジタル放送で、新たに放送局が開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルが増えたなど、放送に変更があった場合は、「再スキャン」を行います。チャンネルを自動的に追加設定することができます。
- 地上デジタル放送の設定をはじめて行う場合は、「初期スキャン」(➡P.73) を行ってください。「初期スキャン」が行われていない状態で「再スキャン」を行うと、「初期スキャン実行後に行ってください」と表示されます。
- 設定されるチャンネルの目安については、「地上デジタル放送の放送(予定)一覧」(➡P.138)をご覧ください。
- 再スキャンの途中で 戻る や 終了 を押すと、再スキャンを終了します。(再スキャンした内容は本機に設定されません。)

1 「地上D自動設定」画面を表示する

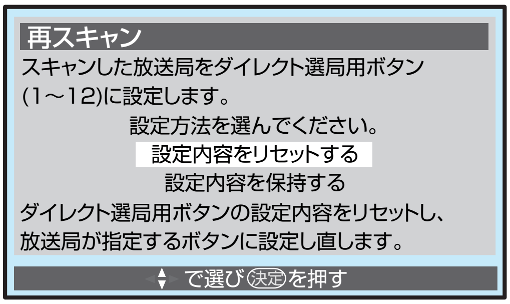
① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、 決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「チャンネル設定」を選び、 決定 を押す
④[︿/﹀]で「地上D自動設定」を選び、 決定 を押す

2 [︿/﹀]で「再スキャン」を選び、 決定 を押す

再スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

●右の画面が表示された場合

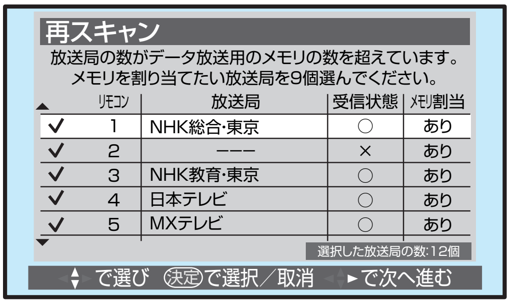
放送局をダイレクト選局ボタンに設定する方法について、次のように選んでください。その後は、手順4に進んでください。



- 放送システム上の規定に従って、すべて設定し直す場合は、[︿/﹀]で「設定内容をリセットする」を選び、 決定 を押します。
  この場合、ダイレクト選局ボタンに設定されていた放送局はすべて削除され、設定し直されます。設定が変わる場合がありますので、ご注意ください。
- 未設定のダイレクト選局ボタンのみを放送システム上の規定に従って設定する場合は、[︿/﹀]で「設定内容を保持する」を選び、 決定 を押します。
  この場合、すでに異なる放送局が設定されているダイレクト選局ボタンについては、新たな設定は行われません。

●右の画面が表示された場合

「データ放送用メモリの割り当て」(➡P.53)を行ってください。



3 [《/》]で「はい」を選び、決定を押して、設定内容を確認する

設定内容を確認したら、決定を押す

設定された内容を確認しない場合は、[《/》]で「いいえ」を選んでください。

4 終了を押して、設定を終了する

■再スキャンの動作について

- 「初期スキャン」(➡P.73)の場合は、すでにダイレクト選局ボタンに設定されている放送局をすべて消去して、新たに放送局を設定し直します。
  再スキャンでは次のようになります。
  ・放送システム上の規定で設定すべき放送局が新たに見つかった場合、すでにダイレクト選局ボタンに登録されている放送局をそのまま残すのか、新たな放送局に設定し直すのかの選択ができます。
  (選択は、すべてのボタンについてまとめて行います。個別に設定を変えたい場合は、再スキャン終了後に「地上デジタル放送の手動チャンネル設定」(➡P.80)で行ってください。)
  ・新たな放送局が見つからなかったダイレクト選局ボタンについては、そのまま設定が残ります。
- 再スキャンは(VHF1～12)→(UHF13～62)→(CATV13～63)の順で行われます。
- 再スキャン後の各チャンネルの構成については、「地上アナログ放送の放送一覧」(➡P.126)でご確認ください。
- 再スキャンを行っても、枝番については、通常は変更されません。(➡『操作･機能編』「枝番について」)
- 電波が弱い場合には、再スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

自動スキャン

自動スキャンについては、『操作･機能編』「自動スキャンについて」をご覧ください。

設定する

手動チャンネル設定

地上アナログ放送(VHF/UHF/CATVC13～C63)の手動チャンネル設定

ここでは、次の設定を行う場合を例に説明しています。
リモコンのボタンにUHF放送の「14」チャンネル、画面表示番号を「5」、放送局名を「MXテレビ」で設定するとき

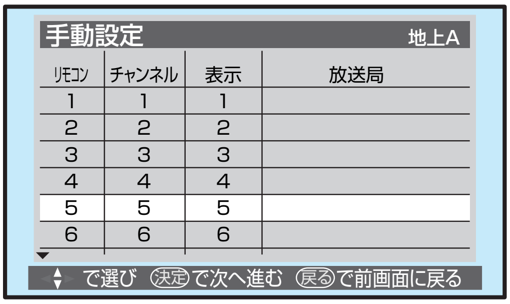
1 「手動設定」画面を表示する

① [メニュー] を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、[決定] を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「チャンネル設定」を選び、[決定] を押す
④[︿/﹀]で「手動設定」を選び、[決定] を押す

2 [︿/﹀]で「地上A」を選び、[決定] を押す

地上アナログ放送チャンネルの手動設定画面になります。

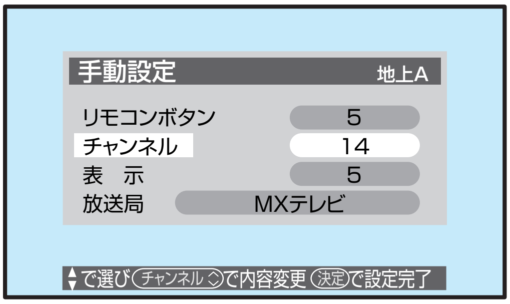
3 [︿/﹀]で設定する「リモコン」の1～12を選び、[決定] を押す



4 [︿/﹀]で「チャンネル」を選び、[選局＋/－]で設定する地上アナログチャンネルを選ぶ

[選局＋/－]を押すと、次の順に切り換わります。押し続けると設定するチャンネルの選局を速く行うことができます。

→地上アナログ放送(1～62)←
→CATV(C13～C63)←



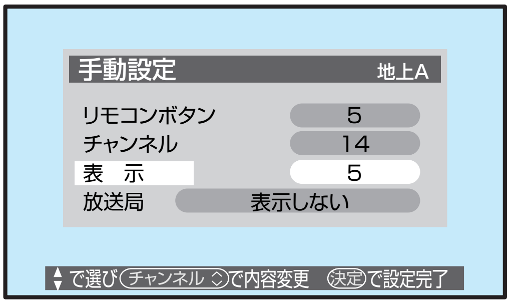
●**チャンネル調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合**
色が消えたり画像が不安定になったときには、次の操作を行います。
[《/》]を押す
[《/》]を1回押すたびに映像を確認しながら調整してください。
調整前の状態に戻すには、[選局＋/－]でチャンネルを選び直してください。

5 [︿/﹀]で「表示」を選び、[選局 ＋/－]で画面に表示させる番号を選ぶ

[選局＋/－]を押すと次の順に切り換わります。

地上アナログ放送(1～62)
↕
CATV(C13～C63)
↕
BSアナログ放送※
(BS1,BS3･･･BS15)

※CATVでBSのアナログ放送が行われている場合に使います。



6 [︿/﹀]で「放送局」を選び、[選局 ＋/－]で放送局名を選ぶ

選んだ状態が設定されます。

- 放送局名を表示しない場合は、「表示しない」に設定してください。

7 決定 で押す

●他のダイレクト選局ボタンにもチャンネルを設定する場合

手順3～7を繰り返します。

8 終了 を押して、設定を終了する

■CATV(ケーブルテレビ)について

- CATV は、サービスの行われている地域でだけ受信可能で、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴、録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- 「チャンネル設定」を行った地上アナログチャンネルは、チャンネルスキップ設定が自動的に「受信」に設定されます。

地上デジタル放送の手動チャンネル設定

- チャンネル設定の内容を削除したい場合は、P.85で行ってください。
- 地上デジタル放送の設定をはじめてする場合は、「初期スキャン」(➡P.73) を行ってください。「初期スキャン」が行われていない状態では手動チャンネル設定はできません。

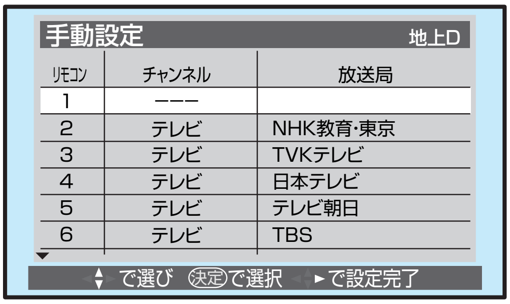
1 「手動設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》] で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀] で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「手動設定」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で「地上D」を選び、決定 を押す

地上デジタル放送チャンネルの手動設定画面になります。

3 [︿/﹀]で設定する「リモコン」の1～12を選び、決定 を押す



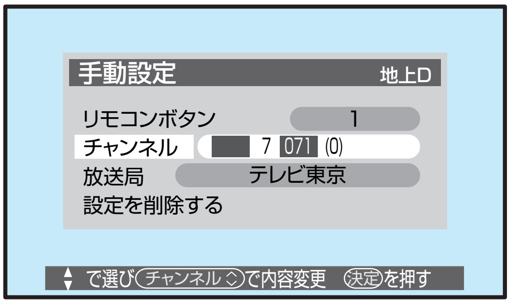
設定する

4 [︿/﹀]で「チャンネル」を選び、[選局 ＋/－]で設定する地上デジタルチャンネルを選ぶ

• 「チャンネル」の項目で「－－－」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。

• [選局＋/－]を押すと次の順に切り換わります。押し続けると設定するチャンネルの選局を早く行うことができます。

テレビ ←→ データ → 地上デジタルチャンネル番号順に選局 →（テレビへ戻る）



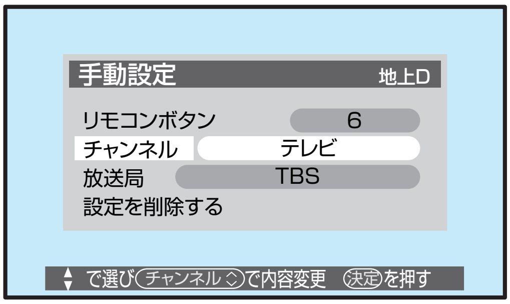
●放送メディア（「テレビ」または「データ」）を選んだ場合

• 1つのボタンに同じ放送局で、放送メディア(「テレビ」または「データ」)のチャンネルがまとめて設定されます。

• 「テレビ」を選んだ後、設定したい放送局を選んでください。

①[︿/﹀]で「放送局」を選ぶ

②[選局＋/－]で設定したい放送局を選ぶ

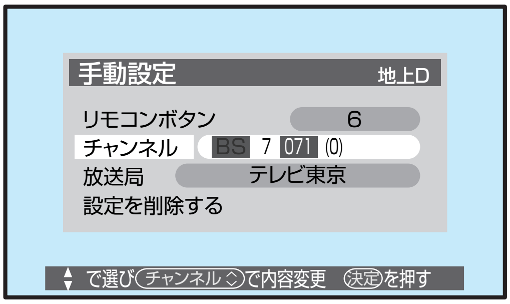


例：地上D を押してから、6 を押すたびに「TBS」の「テレビ」チャンネルが順次選局されます。

●通常の地上デジタルチャンネルを選んだ場合

• ダイレクト選局ボタンを押したとき、選んだチャンネルだけが選局されるように設定されます。

• 「放送局」欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます。（放送局名を変えることはできません。）



例：地上D を押してから 6 を押すと071(0)チャンネルが選局されます。

5 決定 を押す

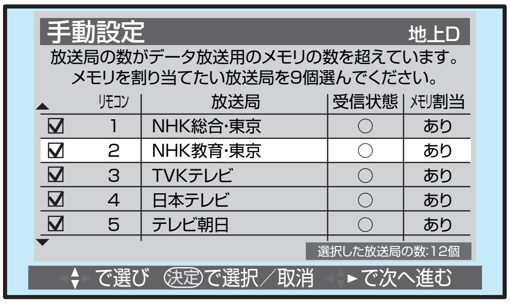
●他のダイレクト選局ボタンにもチャンネルを設定する場合

手順3～5を繰り返します。

6 [》]を押す

設定を完了して手順2の画面に戻ります。

●右の画面が表示された場合
「データ放送用メモリの割り当て」(➡P.53)を行ってください。



7 終了 を押して、設定を終了する

BSデジタル放送の手動チャンネル設定

チャンネル設定の内容を削除したい場合は、P.85で行ってください。

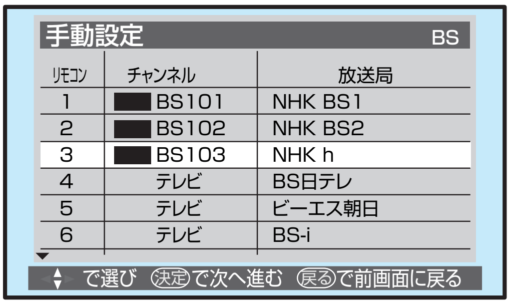
1 「手動設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》] で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀] で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「手動設定」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で「BS」を選び、決定 を押す

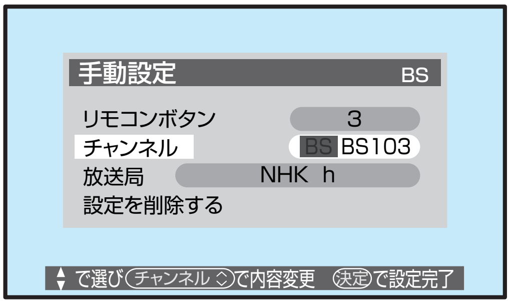
BSデジタル放送チャンネルの手動設定画面になります。

3 [︿/﹀]で設定する「リモコン」の1～12を選び、決定 を押す



4 [∧/∨]で「チャンネル」を選び、[選局 ＋/－]で設定するBSデジタルチャンネルを選ぶ

- 「チャンネル」の項目で「－－－」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。
- [選局＋/－]を押すと次の順に切り換わります。押し続けると設定するチャンネルの選局を早く行うことができます。

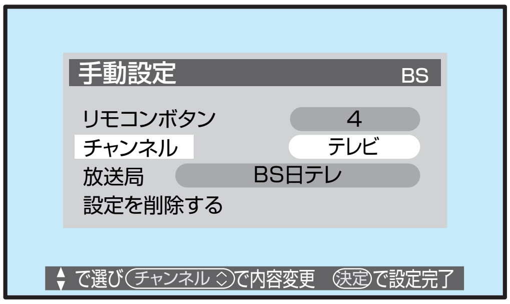


テレビ↔ラジオ↔データ
BSテレビのチャンネル番号を順に選局

●放送メディア(「BSテレビ」または「BSラジオ」、「BSデータ」)を選んだ場合

- 1つのボタンに同じ放送局のBSテレビまたはBSラジオまたはBSデータの複数チャンネルがまとめて設定されます。(右図の例を参照)
- チャンネルの選局と放送メディアを設定した後、設定したい放送局を選んでください。

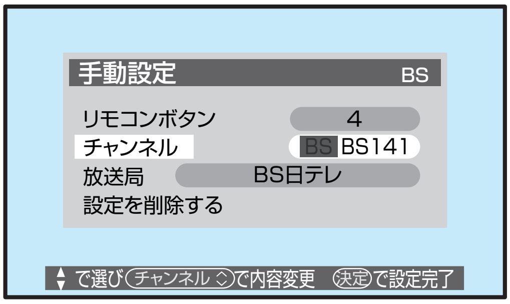
①[∧/∨]で「放送局」を選ぶ
②[選局＋/－]で設定したい放送局を選ぶ



例：ダイレクト選局ボタン 4 を押すたびに、「BS日テレ」の「BSテレビ」チャンネルが順次表示される設定

●通常の BS デジタル放送のチャンネルを選んだ場合

- ダイレクト選局ボタンを押したとき、選んだチャンネルだけが選局されるように設定されます。
- 「放送局」欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます。(放送局名を変えることはできません。)



例：ダイレクト選局ボタン 4 を押すと、BS141が選局される設定

5 決定 を押す

●他のダイレクト選局ボタンにもチャンネルを設定する場合

手順3～5を繰り返します。

6 終了 を押して、設定を終了する

110度CSデジタル放送の手動チャンネル設定

チャンネル設定の内容を削除したい場合は、P.85で行ってください。

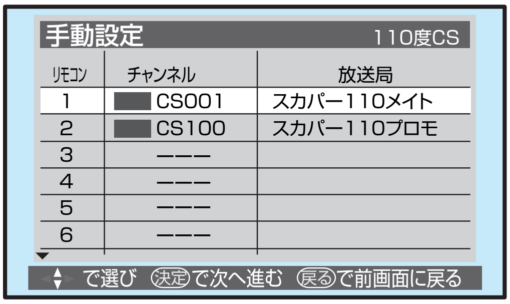
1 「手動設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「手動設定」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で「110度CS」を選び、決定 を押す

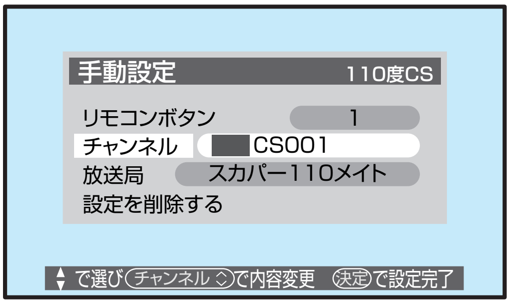
110度CSデジタルチャンネルの手動設定画面になります。

3 [︿/﹀]で設定する「リモコン」の1～12を選び、決定 を押す



4 [︿/﹀]で「チャンネル」を選び、[選局 ＋/－]で設定する110度CSデジタルチャンネルを選ぶ

- 「チャンネル」の項目で「ーーー」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。
- [選局＋/－]を押すとすべてのチャンネルが番号順に切り換わります。
- 放送メディアを指定することはできません。
- ダイレクト選局ボタンを押したとき、選んだチャンネルだけが選局されるように設定されます。（右図の例を参照）
- 「放送局」欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます。（放送局名を変えることはできません。）



例：リモコンのダイレクト選局ボタン 1 を押すと、CS001が選局される設定

5 決定 を押す

●他のダイレクト選局ボタンにもチャンネルを設定する場合

手順3～5を繰り返します。

6 終了 を押して、設定を終了する

設定する

手動チャンネル設定の内容を削除するには

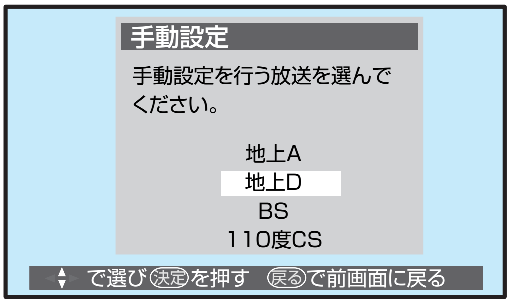
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のチャンネル設定の内容(ダイレクト選局ボタンの設定内容)を削除することができます。

1 「手動設定」画面を表示する

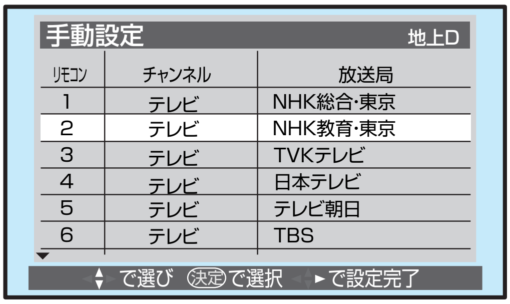
① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「手動設定」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で削除するチャンネルの放送を選び、決定 を押す

選んだ放送の手動設定画面が表示されます。



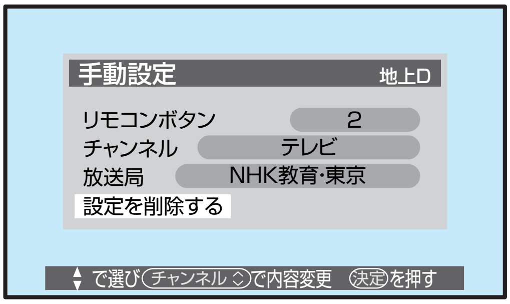
3 [︿/﹀]で削除したい「リモコン」の1～12を選び、決定 を押す



4 [︿/﹀]で「設定を削除する」を選び、決定 を押す

●他のダイレクト選局ボタンの登録も削除したい場合

手順3～4を繰り返します。



5 終了 を押して、設定を終了する

チャンネルスキップ設定

通常、[選局＋/－]でチャンネルを順送りすると、放送が割り当てられていないチャンネルがグレーのノイズ画面で表示されたりします。このような不要なチャンネルを、飛び越せるようにできます。

- CATVチャンネルは、お買い上げ時は「スキップ」になっています。飛び越しているチャンネルを受信するには、次の手順で「受信」に設定してください。
- 地上デジタル放送の場合、「初期スキャン」(➡P.73)が行われていないと、ここでの設定はできません。

1 「チャンネルスキップ設定」画面を表示する

① [メニュー] を押す
②[︿/﹀/《 / 》]で「設定メニュー」を選び、[決定] を押す
③[《 / 》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「チャンネル設定」を選び、[決定] を押す
④[︿/﹀]で「チャンネルスキップ設定」を選び、[決定] を押す

2 [︿/﹀]でチャンネルスキップ設定したいチャンネルが入っている放送を選び、[決定] を押す

3 [︿/﹀]でスキップ設定を変更したいチャンネルを選ぶ

●放送メディアを変えたいとき
(手順2で「地上D」、「BS」、「110度CS」を選んだ場合)
[メディア] を押し、放送メディアを選ぶ

4 [決定] を押す

[決定] を押すごとに、「受信」「スキップ」と交互に切り換わります。

●いくつものチャンネルについて設定する場合
手順3、4を繰り返します。
(異なる放送のチャンネルについて設定する場合は、手順 4 の画面のときに [戻る] を押して手順3の操作から行ってください。)

5 [終了] を押して、設定を終了する

ポイント

■[選局＋/－]で受信/スキップできるチャンネルは次のとおりです。

放送		チャンネル
地上アナログ放送	①	[1] ～ [12/#] に割り当てられた地上アナログ放送チャンネルまたはCATVチャンネル
	②	CATVチャンネルC13～C63の中で [1] ～ [12/#] に割り当てられているCATVチャンネルについては、上記①で設定されるため、ここでは受信/スキップの変更はできません(「設定済み」が表示されます)。設定は、上記①で行ってください。
デジタル放送		メディア(テレビ/ラジオ/データ)ごとに受信可能なチャンネル

■「自動チャンネル設定」を行った場合のチャンネルスキップ設定の状態は次のとおりです。

放送	スキップ設定の状態
地上アナログ放送	チャンネルが割り当てられているボタンは「受信」、チャンネルが割り当てられていないボタンは「スキップ」に設定されます。
CATV	「自動チャンネル設定」する前と変わりません。
地上デジタル放送	スキップ設定はありません。
BSまたは110度CSデジタル放送	「自動チャンネル設定」する前と変わりません。

- 「手動チャンネル設定」を行ったチャンネルは、自動的に「受信」に設定されます。
- ハイビジョン放送のように 1 つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネル (一番小さい番号のチャンネル)をスキップ設定すると、その次のチャンネルを選局します。

GR(ゴーストリダクション)設定(地上Aの場合)

テレビ受信時にゴースト(2重、3重の映像)があるとき、GR(ゴーストリダクション)設定を「モード1」または「モード2」に設定すると、ゴーストの軽減された映像でご覧になれます。
GR機能は、「ゴースト除去基準信号(GCR信号)」が含まれた地上アナログ放送チャンネルを受信したときにはたらきます。

- お買い上げ時は、すべてのチャンネルが「モード1」に設定されています。
- 自動チャンネル設定を行うと、ダイレクト選局ボタン(1 ～ 12/#)については「モード1」に設定されます。

1 「GR設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》] で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀] で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「GR設定」を選び、決定 を押す

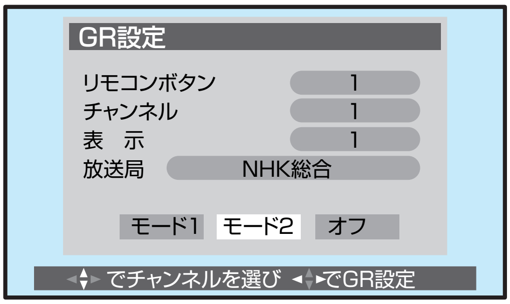
2 [︿/﹀]でGR設定したいチャンネルを選び、決定 を押す

例：チャンネル1にGR設定を行う

3 [《/》]で「モード1」「モード2」または「オフ」を選ぶ

「モード 1」、「モード 2」については、「GR(ゴーストリダクション)設定のモードについて」をご覧ください。

●いくつものチャンネルを GR 設定する場合
手順2、3を繰り返します。



例：モード2を選ぶ

4 終了 を押して、設定を終了する

ポイント

■GR設定できるチャンネルは次のとおりです。

	チャンネル
①	1 ～ 12/# に割り当てられた地上アナログ放送チャンネルまたはCATVチャンネル
②	CATVチャンネルC13～C63の中で 1 ～ 12/# に割り当てられているCATVチャンネルについては、上記①で設定されるため、ここではGR設定できません。(「設定済み」が表示されます。)設定は上記①で行ってください。

■GR(ゴーストリダクション)設定のモードについて

- 「モード　1」または「モード　2」に設定したとき、および設定してあるチャンネルを選局したとき、数秒してからはたらき、時間がたつにつれて徐々にゴーストが軽減します。
- 電波が弱い場合など、ゴースト軽減中に新たなゴーストが発生する場合がありますが徐々に軽減します。このような場合は「モード2」をおすすめします。
- 「モード2」は「モード1」に比べて、ゴースト軽減を開始するまでの時間がかかりますが、開始後に新たなゴーストが見えることが少なくなります。
- 次の場合はGR設定を「オフ」でご使用ください。
  - ・ゴーストが軽減できなくて見づらい場合(過大なゴーストや多数のゴーストがあるとき、電波が弱いとき、飛行機など動くものによるゴーストのときなど)
  - ・アンテナの設定・調整が適切でないとき(室内アンテナなど)
  - ・アンテナの設置・調整時
- 「ゴースト除去基準信号(GCR信号)」が含まれていない放送を受信しているときは、効果が得られません。

チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻す

お買い上げ時のチャンネル設定の状態に戻すことができます。

1 「チャンネル設定」の「初期設定に戻す」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《 / 》]で「設定メニュー」を選び、 決定 を押す
③[《 / 》] で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀] で「チャンネル設定」を選び、 決定 を押す
④[︿/﹀]で「初期設定に戻す」を選び、 決定 を押す

2 [《 / 》]で「はい」を選び、 決定 を押す

チャンネル設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

3 終了 を押して、設定を終了する

■チャンネル設定のお買い上げ時の状態

初期設定に戻す操作を行った場合のチャンネル設定は、以下のようになります。

- 地上アナログ放送の場合：『操作・機能編』「ダイレクト選局ボタンで選ぶ」の「地上アナログ放送の場合」をご覧ください。
- BSデジタル、110度ＣＳデジタル放送の場合：『操作・機能編』「ダイレクト選局ボタンで選ぶ」の「BS、110度CSデジタル放送の場合」の表をご覧ください。
- 地上デジタル放送の場合：受信設定されていません。「初期スキャン」(➡P.73)を行ってください。

通信設定

電話回線設定

ご使用の電話回線について設定します。
IP電話は使用できません。通常の電話回線をご使用ください。

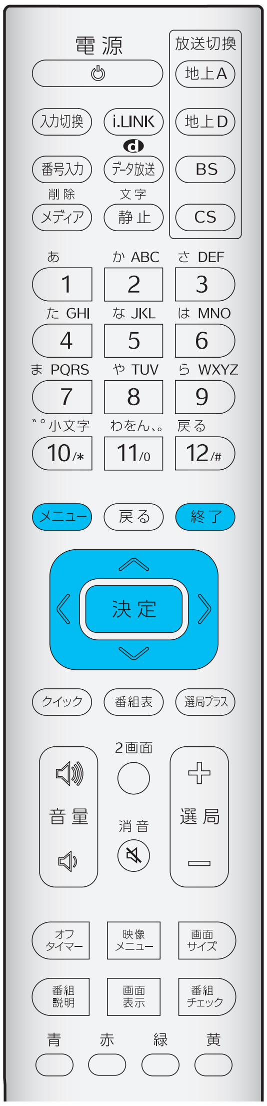
> 「はじめての設定」(➡P.45)がお済みの場合は、「ダイヤル方式の設定」、「外線発信番号の設定」の設定は終了しています。ここで設定する必要はありません。

電話回線設定のしかた

設定項目は次のとおりです。

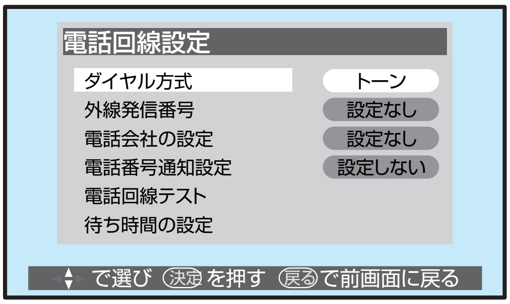
設定項目	設定内容	設定値(__がお買い上げ時の設定)	設定ページ
ダイヤル方式の設定	ダイヤル方式を設定します。	自動判定/トーン/20PPS/10PPS	90
外線発信番号の設定	外線発信時に、電話番号の前に0や#などの入力が必要な場合に設定します。	外線発信番号なし/外線発信番号あり	91
電話会社の設定	電話の発信をする際に使用する電話会社を設定します。マイラインやマイラインプラスで登録している電話会社を使用する場合は、設定の必要はありません。ご契約されているその他の電話会社を使用する場合に設定します。	電話会社を設定しない/電話会社を設定する	93
電話番号通知設定	本機から電話の発信をする際に、電話番号を着信者(センター)に通知するかどうかを設定できます。	通知しない/通知する/設定しない	94
電話回線テスト	電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。	-	95
センターと接続できることを確認する場合	センターと電話回線が正常に接続されているかを確認します。	-	96
ダイヤル待ち時間の設定を行う場合	電話回線発信のとき、電話会社番号、マイラインプラス(優先接続サービス)解除番号(122)、電話番号通知番号(184/186)のうしろにダイヤル待ち時間(ダイヤルポーズ)が必要な場合に設定します。	設定されていません	97

ダイヤル方式の設定



1 「ダイヤル方式」画面を表示する

①［メニュー］を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、［決定］を押す
④[︿/﹀]で「電話回線設定」を選び、［決定］を押す
⑤[︿/﹀]で「ダイヤル方式」を選び、［決定］を押す



2 [︿/﹀]で「自動判定」を選び、［決定］を押す

回線の判定が自動的に始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

- 最初に「ダイヤルトーン検出」(電話回線が正しく接続されていることのチェック)が行われ、続いて「ダイヤル方式」の自動判定が行われます。
- 自動判定が終了すると判定結果が表示されます。
  - ・「ダイヤル方式判定エラー」が表示された場合(➡P.50)
  - ・自動判定が終了しない場合(➡P.50)

3 画面を確認して、［決定］を押す

4 ［終了］を押して、設定を終了する

他の電話回線設定をする場合は設定する項目を選び、［決定］を押す
設定する項目の操作説明をご覧ください。

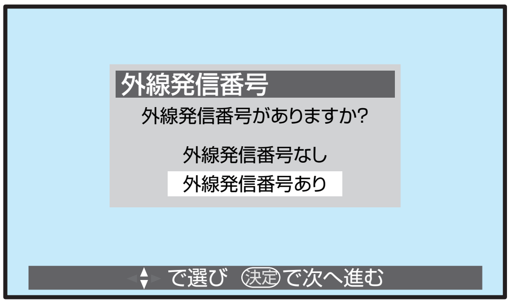
外線発信番号の設定

ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や#などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。また、外線発信したあと、何秒後に回線が外線に切り換わるのか、その切り換わりにかかる時間を外線発信後の待ち時間と呼びます。

1 「外線発信番号」画面を表示する

① [メニュー] を押す
②[︿/﹀/《 / 》]で「設定メニュー」を選び、[決定] を押す
③[《 / 》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、[決定] を押す
④[︿/﹀]で「電話回線設定」を選び、[決定] を押す
⑤[︿/﹀]で「外線発信番号」を選び、[決定] を押す

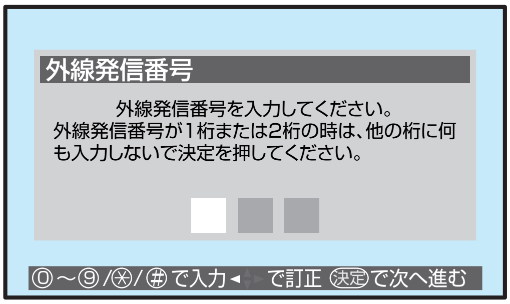
2 [︿/﹀]で「外線発信番号あり」を選び、[決定] を押す



3 外線発信番号を入力して、[決定] を押す

0～9([11/0] ～ [9])、#([12/#])、＊([10/*])のボタンを押して入力します。左詰めで入力してください。1桁、または2桁の設定をする場合は、他の桁には何も入力しないでください。

- 間違って入力した場合は、[《]で前の桁に戻り、設定をやり直してください。
- 「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。

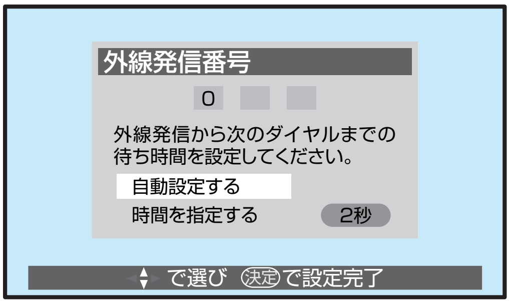


設定する

4 外線発信後の待ち時間を設定する

①[︿/﹀]で「自動設定する」を選ぶ

② 決定 を押す



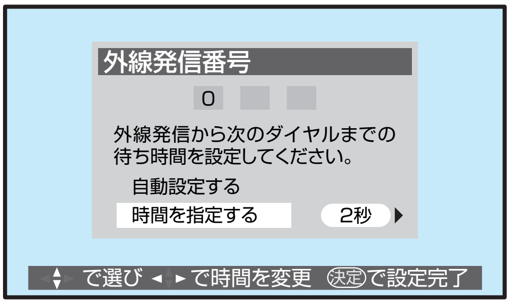
●「自動設定する」の状態で、「電話回線テスト」(➡P.95)が失敗となる場合

次の操作で、時間を設定してください。設定する時間については交換機の取扱説明書をご覧ください。

①[︿/﹀]で「時間を指定する」を選ぶ

②[《 / 》]で時間を設定し、 決定 を押す

- 設定範囲は2秒〜9秒(秒単位)です。



5 終 了 を押して、設定を終了する

他の電話回線設定をする場合は設定する項目を選び、 決定 を押す

設定する項目の操作説明をご覧ください。

ポイント

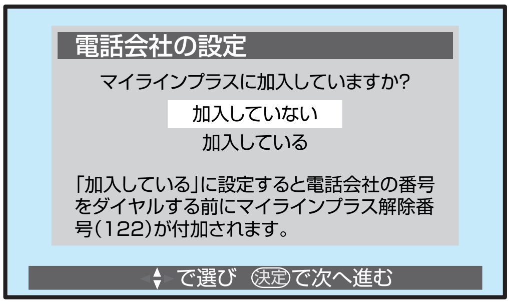
- 手順4で「時間を指定する」に設定した場合、ダイヤルトーン検出を行いません。
- ダイヤルトーンのレベルが低い場合は、「時間を指定する」に設定にしてください。ただし、次の判定方法では回線の接続と設定の確認はできません。「センターと接続できることを確認する場合」(➡P.96)で確認をしてください。
  - 「ダイヤル方式の設定」(➡P.90)の自動判定
  - 「電話回線テスト」(➡P.95)
  - 「簡易確認テスト」(➡P.115)での電話回線テスト

電話会社の設定

1 「電話会社を設定する」画面を表示する

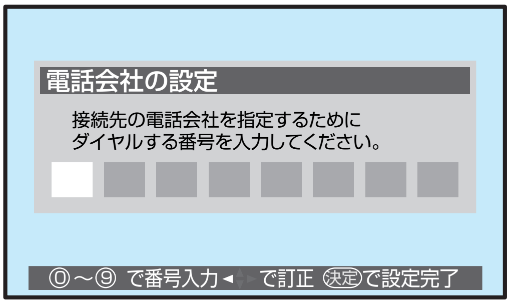
① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「電話回線設定」を選び、決定 を押す
⑤[︿/﹀]で「電話会社を設定する」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]でマイラインプラスに[加入していない][加入している]を選び 決定 を押す



3 電話会社番号を入力し、決定 を押す

- 電話会社番号を 0 ～ 9(11/0 ～ 9) を押して左詰めで入力し、決定 を押す
  - ・最大8桁まで設定できます。
  - ・間違って入力した場合は、[《]で前の桁に戻り、設定をやり直してください。
- 手順 2 で「加入している」を選んだ場合は、本機からの電話発信時にマイラインプラス(優先接続サービス)解除番号(122)が自動的に付け加えられます。



4 終了 を押して、設定を終了する

他の電話回線設定をする場合は設定する項目を選び、決定 を押す
設定する項目の操作説明をご覧ください。

ポイント

■マイラインプラスに加入している場合

- 手順 2 で「加入している」に設定してください。「加入していない」に設定すると、手順 3 で電話会社を設定しても回線発信ができなくなります。
- 手順3で電話会社番号が未入力の場合は、自動的に手順1の「電話会社を設定しない」に設定されます。

電話会社の設定は、データ放送の一部では適用されない場合があります。
詳細は、ご契約されている各電話会社にお問い合わせください。

電話番号通知設定

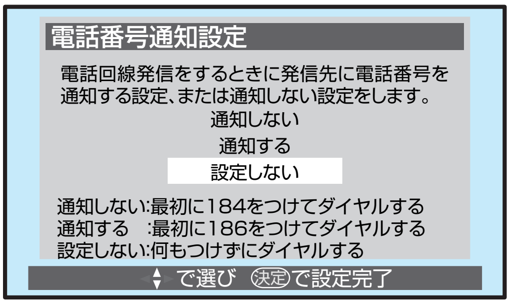
1 「電話番号通知」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「電話回線設定」を選び、決定 を押す
⑤[︿/﹀]で「電話番号通知」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で、お好みの設定を選び、決定 を押す

選択項目は次のとおりです。

- 通知しない：最初に「184」をつけてダイヤルする
- 通知する：最初に「186」をつけてダイヤルする
- 設定しない：何もつけずにダイヤルする
  「設定しない」のときはNTTとの「ナンバーディスプレイ」契約のとおりになります。



3 終了 を押して、設定を終了する

他の電話回線設定をする場合は設定する項目を選び、決定 を押す
設定する項目の操作説明をご覧ください。

設定する

電話回線テスト

電話回線の設定が正しく行えたかを確認できます。電話回線テストでは、電話料金はかかりません。
電話機コードが本体に接続されていることを確認し、テストを開始してください。
地上デジタル放送の受信や、B-CASカードの状態などと一緒にテストする方法もあります。(➡P.115)

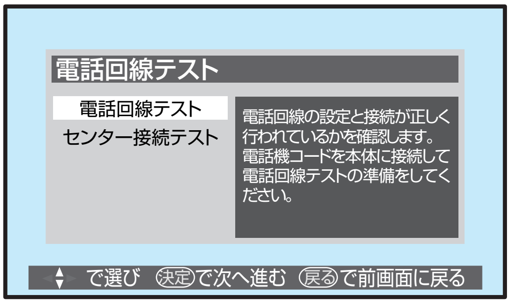
1 「電話回線テスト」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「電話回線設定」を選び、決定 を押す
⑤[︿/﹀]で「電話回線テスト」を選び、決定 を押す

2 電話回線の接続、[︿/﹀]で「電話回線テスト」を選び、決定 を押す

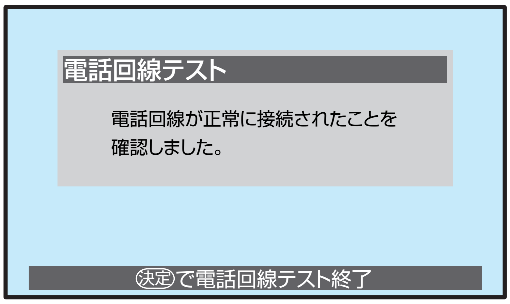
「電話回線テスト」が開始されます。

- 電話回線テストが終了するまで、電話は使用しないでください。
- 電話回線テストを中止する場合は 戻る を押します。テストを中止して前画面に戻ります。



3 電話回線テストが終了したら、決定 を押す

テスト結果については、「はじめての設定」の「電話回線テスト」(➡P.52)をご覧ください。



4 終了 を押して、設定を終了する

設定する

センターと接続できることを確認する場合

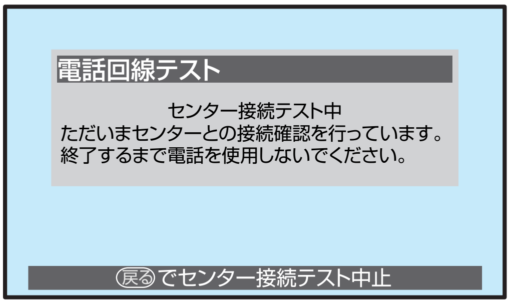
センターテストは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに接続します。電話料金が10～20円程度かかります。センター接続テストで個人情報が漏れることはありません。

1 「センター接続テスト」画面を表示する

① メニュー を押す
②[∧/∨/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[∧/∨]で「通信設定」を選び、決定 を押す
④[∧/∨]で「電話回線設定」を選び、決定 を押す
⑤[∧/∨]で「センター接続テスト」を選び、決定 を押す
電話機コードが本体に接続されていることを確認してください。

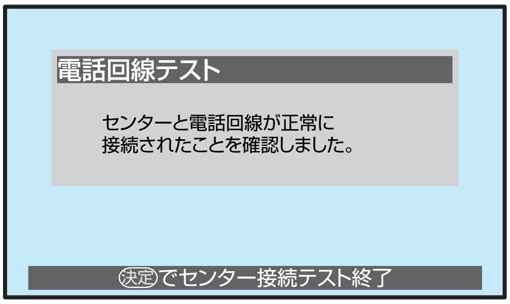
2 電話回線の接続、設定を確認をして 決定 を押す

センター接続テストが開始されます。



3 センター接続テストが終了したら、決定 を押す

テスト結果については、下記の「センター接続テストの結果」をご覧ください。



4 終 了 を押して、設定を終了する

センター接続テストが終了するまで、電話は使用しないでください。

ポイント

■センター接続テストの結果

表示されるメッセージを確認し対処してください。

メッセージ	内容または対処のしかた
センターと電話回線が正常に接続されたことを確認しました。	正しく接続されています。
センターと通信できませんでした。	「電話回線の接続」(➡P.24)、「電話回線設定」(➡P.89)を確認してください。
ただいまセンターがこみあっているため、センターと通信できません。	しばらくしてから、もう一度センター接続テストを行ってください。
ただいまセンターと通信できません。	しばらくしてから、もう一度センター接続テストを行ってください。

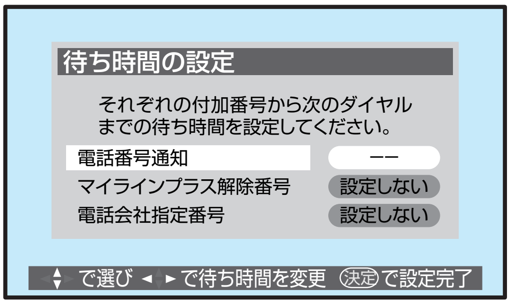
ダイヤル待ち時間の設定を行う場合

設定の内容については「電話回線設定のしかた」(➡P.89)をご覧ください。

1 「待ち時間の設定」画面を表示する

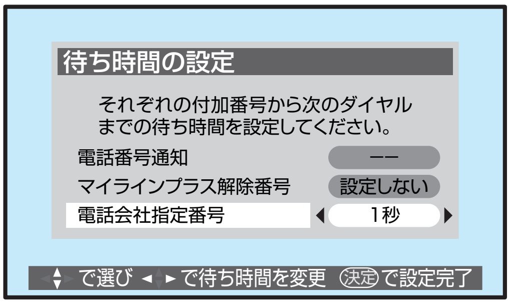
①［メニュー］を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、［決定］を押す
④[︿/﹀]で「電話回線設定」を選び、［決定］を押す
⑤[︿/﹀]で「待ち時間の設定」を選び、［決定］を押す

2 [︿/﹀]を押して、設定する項目を選ぶ



3 [《/》]を押して、ダイヤル待ち時間を設定する

設定できる内容は「設定しない」、「1秒」〜「9秒」です。
他の項目も設定するときは、手順2、3を繰り返す



4 ［決定］を押す

5 ［終了］を押して、設定を終了する

他の電話回線設定をする場合は設定する項目を選び、［決定］を押す

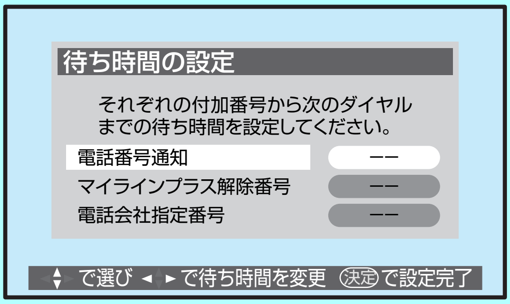
- 設定する項目の操作説明をご覧ください。

ポイント

■表示が「－－」になっている項目に対してダイヤル待ち時間は設定できません。

各項目で「－－」表示になる場合は次のとおりです。

電話番号通知設定(➡P.94)	「設定しない」
マイラインプラス(優先接続サービス)(➡P.93)	「加入していない」
電話会社の設定(➡P.93)	「電話会社を設定しない」



設定する

通信接続設定

ここでは、地上デジタル放送での双方向通信サービスなどを、ダイヤルアップ通信を使って行うための設定をします。(双方向通信サービスについては『操作·機能編』「データ放送を楽しむ」をご覧ください。)
ダイヤルアップ通信を行うにはあらかじめインターネットサービスプロバイダなどとの契約が必要です。
本機の[電話回線(LINE)]端子を使用して電話回線に接続し、ネットワーク通信を行います。接続については「電話回線の接続」(➡P.24)をご覧ください。

通信接続設定の設定項目について

プロバイダ契約をされますと、接続についての資料が送られてきます。「通信接続設定」では、資料の内容にあわせた値(英数字)を入力します。プロバイダによって入力が必要な項目や呼び名が異なります。詳しくは、次表をご覧ください。

設定項目	設定内容	ページ
通信パラメータ上書設定	地上デジタル放送の双方向データ放送通信で番組によってはプロバイダの設定情報を上書きするはたらきがあります。本機では、必要に応じて上書きを許可/禁止できます。	99
ISP(インターネットサービスプロバイダ)設定	契約したプロバイダからの資料をもとに手動で設定する必要がある場合に行います。 ISP名 ：ご契約のプロバイダ名を入力します。 アクセスポイント電話番号 ：プロバイダからの資料で指定の電話番号を入力します。プロバイダによっては全国共通のものや、地方によって分かれている場合があります。お使いの地域から最寄りの電話番号を設定することをおすすめします。 ユーザー名 ：プロバイダからの資料で指定された契約上の名前を入力してください。 パスワード ：プロバイダからの資料で指定された契約上のパスワードを入力してください。	99
DNS設定	ドメイン名(xxx.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つDNSサーバを本機では自動的に取得します。 自動で取得できない場合は、手動で設定します。 プロバイダからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。2つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します。 (例：111.112.xxx.xxx) ※お使いのプロバイダによっては、「ネームサーバ」、「DNS1/DNS2サーバ」、「ドメインサーバ」などと呼ばれます。	102
プロキシ設定	お使いのプロバイダから指定がある場合にだけ設定してください。 HTTPプロキシサーバからファイヤーウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のブラウザにデータを送ります。 データを蓄積する機能があるため高速にデータを送れます。 (例：proxy.xxx.xxx.xxx) 自動で取得できない場合は、手動で設定します。 サーバ名 ：プロキシサーバの名前を入力します。 ポート番号 ：プロキシ用のポート番号です。お使いのプロバイダから指定がある場合にだけ設定してください。通信先のアプリケーションを指定するはたらきがあります。	103
ヘッダ圧縮設定	ヘッダ圧縮設定を行っておくと、ダイヤルアップ接続時に通信速度が速くなる場合があります。状況に応じて設定してください。	105

ご注意

- プロバイダからの資料は、他人に見られることがないように、厳重に保管することをおすすめします。
- プロバイダからの資料は、あなたの個人情報です。取り扱いには十分ご注意ください。

通信パラメータ上書設定

地上デジタル放送の双方向通信サービスで番組によっては、プロバイダの設定情報を上書きするはたらきがあります。本機では、必要に応じて上書きを許可／禁止できます。
お買い上げ時は「上書許可」に設定されています。

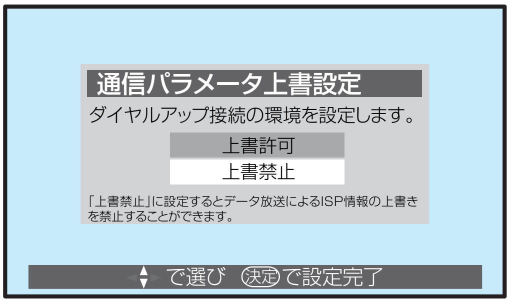
1 「通信パラメータ上書設定」画面を表示する

①［メニュー］を押す
②［∧/∨/《/》］で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す
③［《/》］で「初期設定」を選んだあと、［∧/∨］で「通信設定」を選び、［決定］を押す
④［∧/∨］で「通信接続設定」を選び、［決定］を押す
⑤［∧/∨］で「通信パラメータ上書設定」を選び、［決定］を押す

2 ［∧/∨］で「上書許可」または「上書禁止」を選び、［決定］を押す

「上書許可」に設定した場合で、ISP設定(右図参照)をまだお客様が設定していない場合は、データ放送によって設定内容が上書きされます。

他の通信接続設定を行う場合
設定する項目を選び、［決定］を押し設定します。



3 ［終了］を押して、設定を終了する

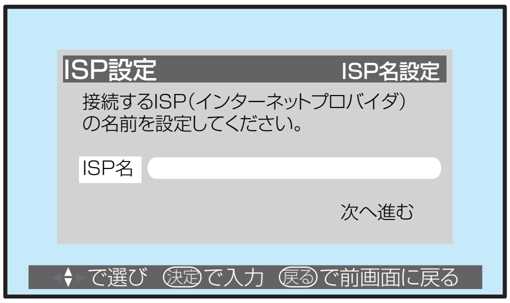
ISP(インターネットサービスプロバイダ)設定

- 契約したプロバイダからの資料をもとに手動での設定が必要な場合に設定します。
- 電話回線設定の「外線発信番号の設定」(➡P.49、P.91)で「0」などの外線発信番号を入力するように設定した場合や「電話会社の設定」(➡P.93)で接続先の電話会社番号を入力している場合は、アクセスポイント番号の前に自動的に反映されます。

1 「ISP設定」画面を表示する

①［メニュー］を押す
②［∧/∨/《/》］で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す
③［《/》］で「初期設定」を選んだあと、［∧/∨］で「通信設定」を選び、［決定］を押す
④［∧/∨］で「通信接続設定」を選び、［決定］を押す
⑤［∧/∨］で「ISP設定」を選び、［決定］を押す

2 ［∧/∨］で「ISP名」を選び、［決定］を押す



設定する

3 「ISP名」を入力する

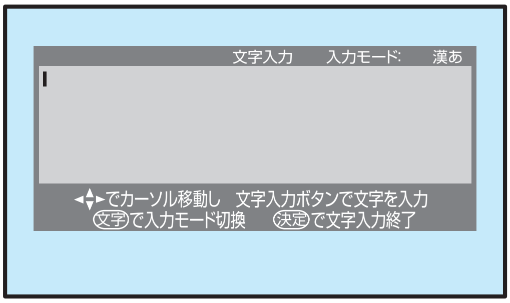
- 文字入力のしかたは『操作・機能編』「文字入力のしかた」をご覧ください。
- 入力できる記号は次のとおりです。

※全角記号

␣、。・ー―「」

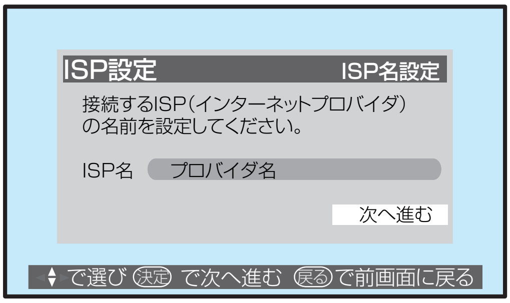
※半角記号

!"#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^{}.?_/



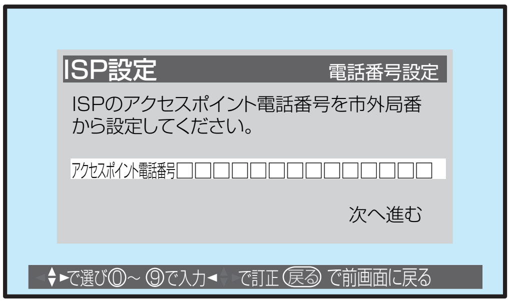
4 [︿/﹀]で「次へ進む」を選び、決定 を押す

「アクセスポイント電話番号設定」画面になります。



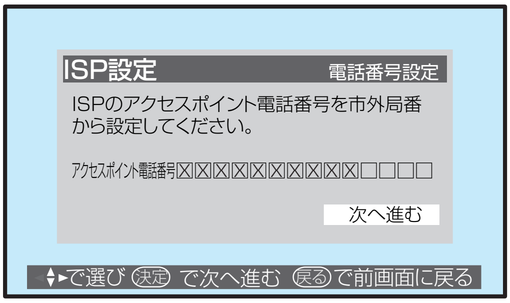
5 [︿/﹀]で「アクセスポイント番号」を選び、0～9(11/0 ～ 9)でアクセスポイント番号を入力する

- 数字だけを入力してください。
- 間違って入力した場合は、[《]を押してもう一度入力し直してください。
- 最初の数字が「0」ではじまらない場合はエラーとなります。



6 [︿/﹀]で「次へ進む」を選び、決定 を押す

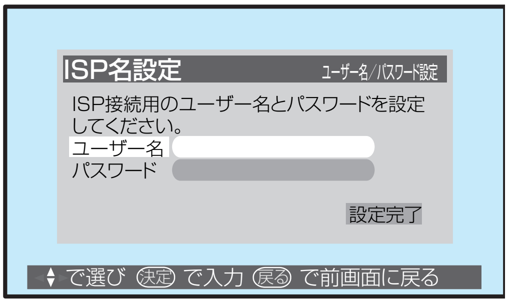
「ユーザー名/パスワード設定」設定画面になります。



設定する

7 [︿/﹀]で「ユーザー名」を選び、決定 を押す

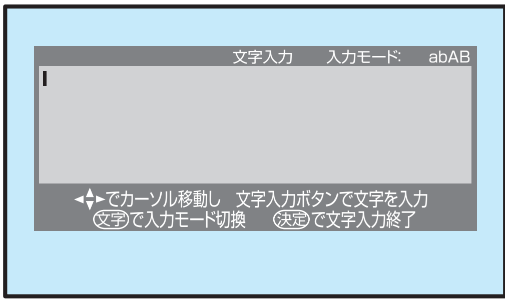
- 文字入力モードになります。
- プロバイダからの資料で指定された契約上の名前を入力してください。



8 「ユーザー名」を入力する

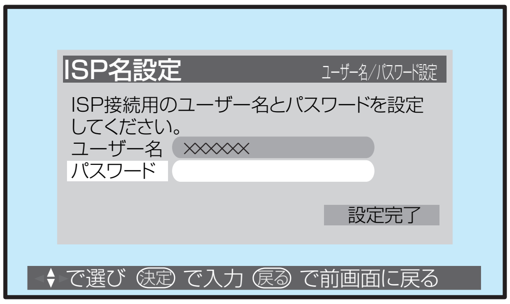
- 文字入力のしかたは『操作・機能編』「文字入力のしかた」をご覧ください。
- 入力できるものは次のとおりです。

※文字
　半角英字、半角数字
※半角記号
　!"#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^{}.?_/



9 [︿/﹀]で「パスワード」を選び、決定 を押す

- 文字入力モードになります。
- プロバイダからの資料で指定された契約上のパスワードを入力してください。

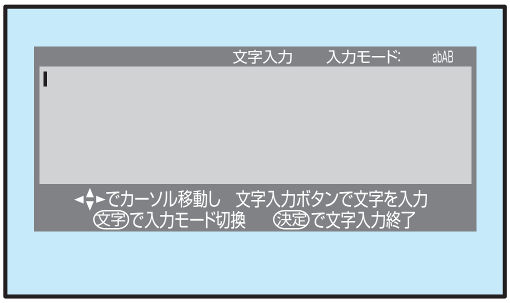


10 「パスワード」を入力する

- 文字入力のしかたは『操作・機能編』「文字入力のしかた」をご覧ください。
- 入力できるものは次のとおりです。

※文字
　半角英字、半角数字
※半角記号
　!"#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^{}.?_/

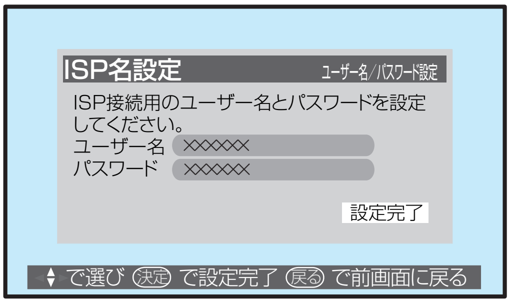
- 文字入力を終了すると手順の画面になります



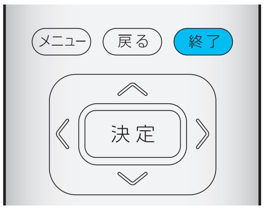
11 [︿/﹀]で「設定完了」を選び、決定 を押す

設定が完了して「通信接続設定」画面に戻ります。

他の通信接続設定を行う場合
設定する項目を選び、決定 を押し設定します。



設定する



12 終了 を押して、設定を終了する

DNS 設定

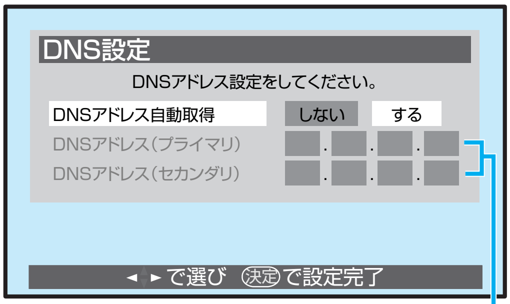
ドメイン名(×××.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つDNSサーバを設定します。本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は手動で設定します。

1 「DNS設定」画面を表示する

①メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[︿/﹀]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「通信接続設定」を選び、決定 を押す
⑤[︿/﹀]で「DNS設定」を選び、決定 を押す

2 自動で取得できるDNS サーバの場合、[《/》]で「する」を選ぶ

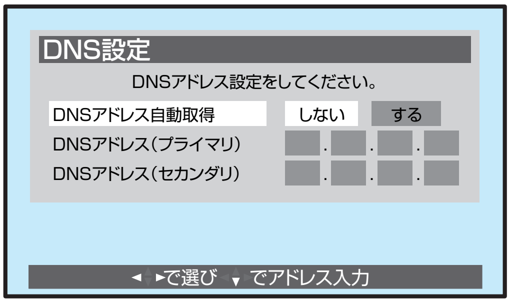
- DNSアドレス自動取得を「する」に設定した場合は、DNSアドレスがサーバから自動的に本機に割り当てられます。
  次は手順4に進みます。
- 自動的に DNS アドレスを割り当てられないネットワーク環境の場合は、以下の操作でDNSアドレスを手動で設定してください。



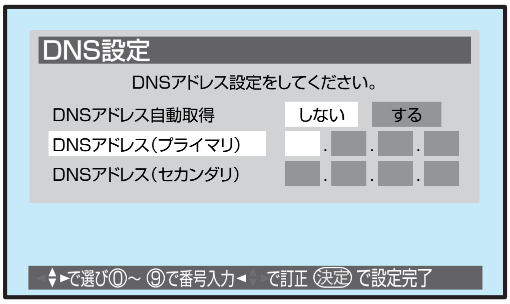
DNSアドレスが表示されます。

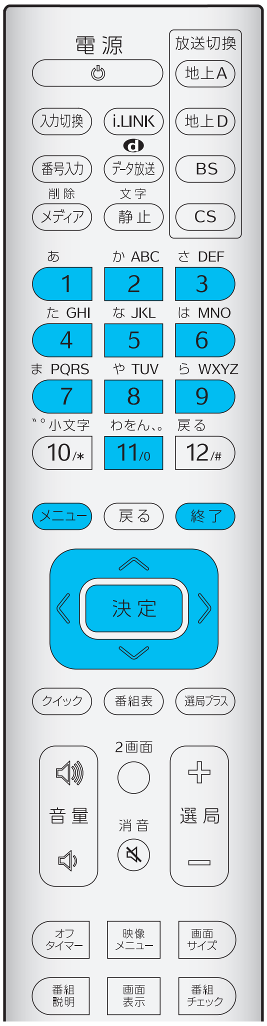
自動的にDNSアドレスを割り当てられないネットワーク環境の場合

①[《/》]で「しない」を選ぶ



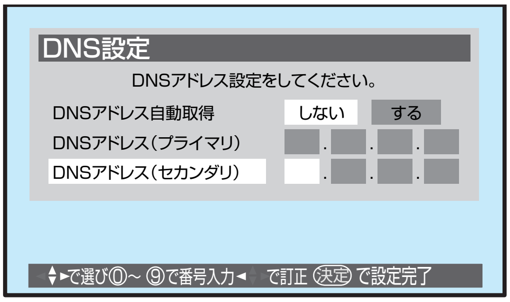
②[﹀]で「DNSアドレス(プライマリ)」を選び、0～9(11/0 ～ 9)でDNSアドレス(プライマリ)を入力する





数字を入力してください。数字最大3桁をひと組として、4箇所入力してください。ひと組が2桁以下の場合は、入力後[》]で次の組へ移動してください。
間違って入力した場合は、[《]を押して、もう一度入力し直してください。
左側の1箇所目の数字に「0」は入力できません。その他の箇所に入力できる数字は「0」から「255」までです。「255」を超える数字は入力できませんので、ご使用のプロバイダからの資料をご確認の上、もう一度正しく入力し直してください。

③[︿/﹀]で「DNSアドレス(セカンダリ)」を選び、0～9(11/0 ～ 9)でDNSアドレス(セカンダリ)を入力する
(不要な場合は、手順4に進む)



入力方法はDNSアドレス(プライマリ)と同様です。
ご契約のインターネットサービスプロバイダによっては不要な場合があります。

3 決定 を押す

設定が完了して「通信接続設定」画面に戻ります。

他の通信接続設定を行う場合
設定する項目を選び、 決定 を押し設定します。

4 終了 を押して、設定を終了する

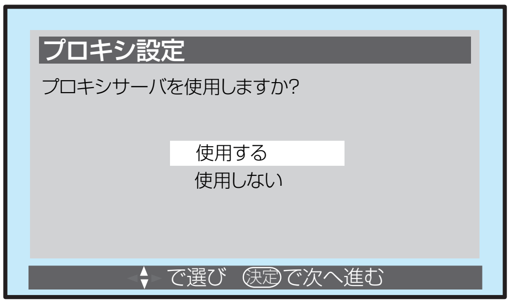
プロキシの設定

- インターネットへの接続時にプロキシ(代理)サーバを経由する場合に設定します。お使いのプロバイダから指定がある場合にだけ設定してください。
- イーサネット設定でも同じ設定がありますが、それぞれ別々に記憶されます。
- ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

1 「プロキシ設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、 決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、 決定 を押す
④[︿/﹀]で「通信接続設定」を選び、 決定 を押す
⑤[︿/﹀]で「プロキシ設定」を選び、 決定 を押す

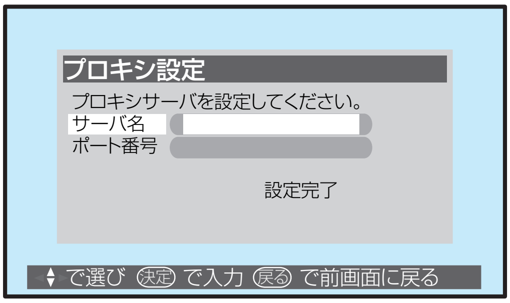
2 [︿/﹀]で「使用する」を選び、 決定 を押す



設定する

3 [︿/﹀]で「サーバ名」を選び、決定を押す

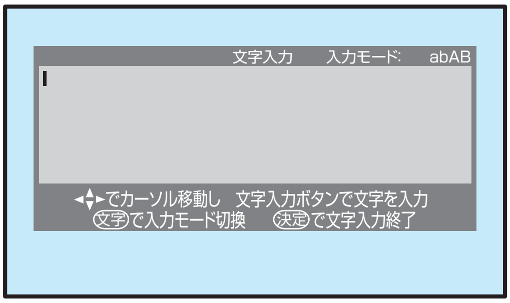
文字入力モードになります。



4 「サーバ名」を入力する

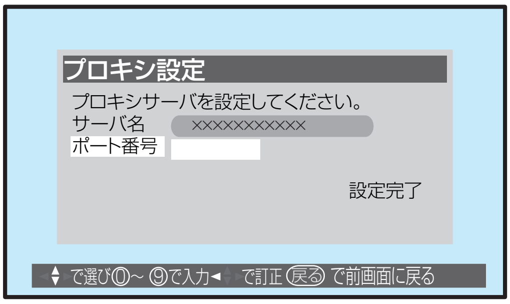
- 文字入力のしかたは『操作･機能編』「文字入力のしかた」をご覧ください。
- 入力できるものは次のとおりです。

※文字
半角英字、半角数字
※半角記号
!"#%&()*+,-.:;<=>@[￥]^{}.?_/



5 [︿/﹀]で「ポート番号」を選び、0 ～ 9(11/0 ～ 9)でポート番号を入力する

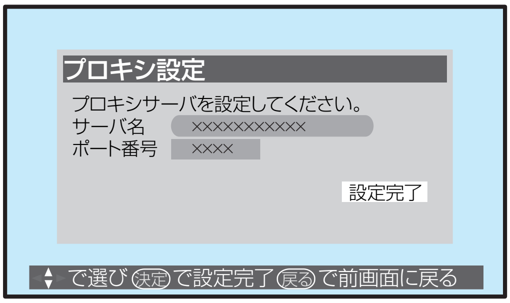
- 数字を入力してください。
- 間違って入力した場合は[《]を押して、もう一度入力し直してください。



6 [︿/﹀]で「設定完了」を選び、決定を押す

設定が完了して手順2 の画面に戻ります。

他の通信接続設定を行う場合
設定する項目を選び、決定を押し設定します。



7 終了を押して、設定を終了する

ヘッダ圧縮設定

ダイヤルアップ接続時にヘッダ圧縮設定を行うと通信速度が速くなる場合があります。状況に応じて設定してください。

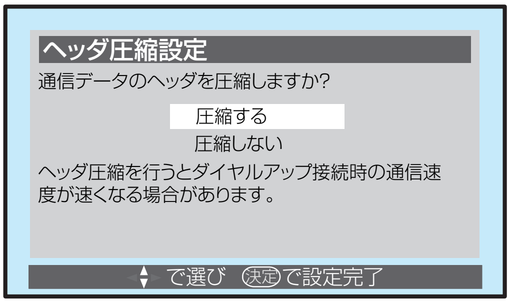
1 「ヘッダ圧縮設定」画面を表示する

①メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「通信接続設定」を選び、決定 を押す
⑤[︿/﹀]で「ヘッダ圧縮設定」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で「圧縮する」または「圧縮しない」を選び、決定 を押す

設定が完了して「通信接続設定」画面に戻ります。

他の通信接続設定を行う場合
設定する項目を選び、決定 を押し設定します。



3 終了 を押して、設定を終了する

接続テスト

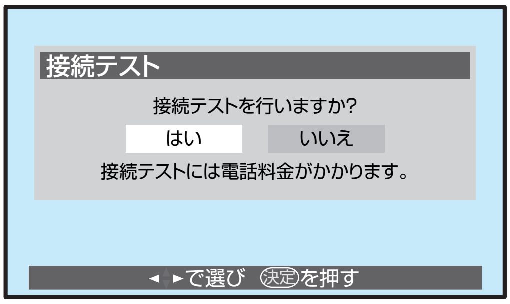
契約しているプロバイダのサーバに接続して、正しく通信接続設定されているかテストすることができます。この接続テストには電話料金がかかります。

1 「接続テスト」画面を表示する

①メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「通信接続設定」を選び、決定 を押す
⑤[︿/﹀]で「接続テスト」を選び、決定 を押す

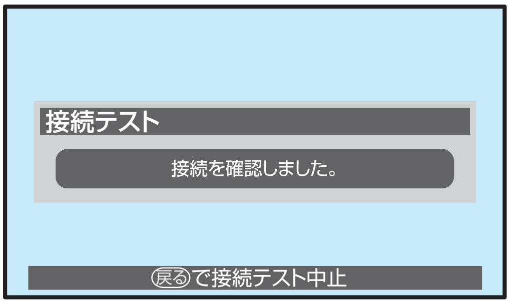
2 接続テストをする場合は、[《/》]で「はい」を選び、決定 を押す

接続テストを行わない場合は、[《/》]で「いいえ」を選び、決定 を押してください。次は手順4に進みます。



3 表示されるメッセージを読んだ後、決定を押す

- 通信接続設定の接続テストが開始されます。
- テスト結果については、下記のポイントをご覧ください



4 終了を押して、設定を終了する

ポイント

■通信接続設定の接続テストの結果

接続テスト結果のメッセージ表示	内容または対処のしかた
「接続を確認しました。」	正しく設定されています。
「ただいま回線がこみあっているため接続できません。」	しばらくしてから、もう一度接続テストを行ってください。
「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」	「電話回線の接続」(➡P.24)および「電話回線設定」(➡P.89)で、接続・設定の状態を確認してください。
「接続できませんでした。通信設定をご確認ください。」	「電話回線の接続」(➡P.24)および「電話回線設定」(➡P.89)で、接続・設定の状態を確認してください。
「認証エラーのため接続できませんでした。」	電話回線の接続・設定(➡P.24、P.89)および「通信接続設定」(➡P.98)で、接続・設定の状態を確認してください。

通信確認メッセージ設定

ダイヤルアップ通信の接続や切断をする際に、確認のメッセージを表示させることができます。
ただし、次の場合は「表示する」に設定していてもメッセージは表示されません。

- 通信自動切断設定(➡P.108)で設定した時間になったとき
- メニューからの接続テストの実行時(➡P.105)
- 番組購入情報の送信時(➡『操作・機能編』「番組購入情報の送信」)
- 「ブックマーク」や「登録発呼」が行われたとき(➡『操作・機能編』「ブックマーク機能を使う」「登録発呼機能を使う」)
- データ放送のダイヤルアップ以外の通信時

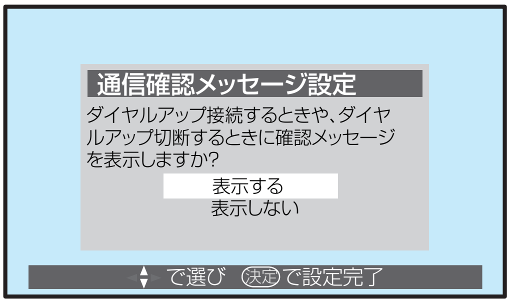
お買い上げ時は、「表示する」に設定されています。

1 「通信確認メッセージ設定」画面を表示する

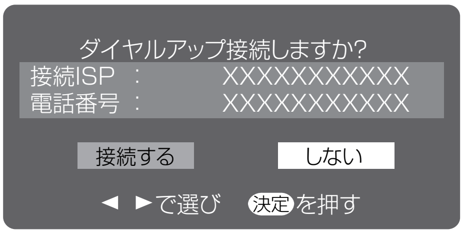
① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「通信確認メッセージ設定」を選び、決定 を押す

2 [︿/﹀]で「表示する」または「表示しない」を選び、決定 を押す

- アクセスポイントにダイヤルアップ接続する場合やダイヤルアップ接続が切断される場合に、確認の画面を表示するかどうかが設定されます。
- 設定が完了して前画面に戻ります。



- 「表示する」に設定した場合は、右のようなメッセージ画面が表示されます。



例:接続するときの画面

3 終了 を押して、設定を終了する

「通信確認メッセージ設定」を「表示する」に設定した場合

電話回線の接続や切断時にメッセージ画面が表示されます。

■接続するとき

[《/》]で「接続する」を選び、決定 を押す

■切断するとき

[《/》]で「切断する」を選び、決定 を押す

通信自動切断設定

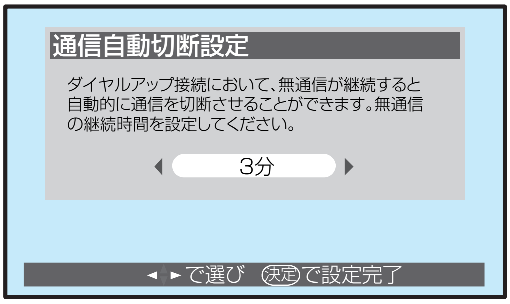
放送サービスとダイヤルアップ通信中に、設定した時間のあいだ通信がない場合には、電話回線を自動的に切断することができます。電話回線を接続していて無通信の状態でも、接続料がかかります。
お買い上げ時は、無通信になってから3分後に回線が切断されるように設定されています。

1 「通信自動切断設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「通信自動切断設定」を選び、決定 を押す

2 [《/》]で切断時間を選び、決定 を押す

1分〜20分の間で設定できます。



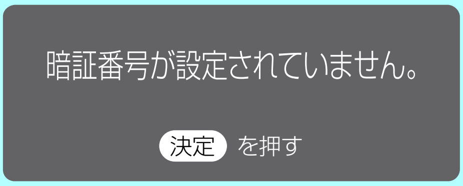
3 終 了 を押して、設定を終了する

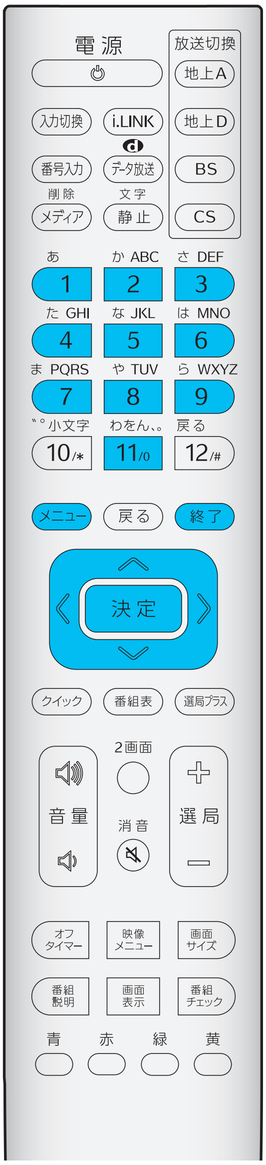
双方向サービス制限設定

デジタル放送での双方向通信サービスや、ブックマーク、登録発呼では、ダイヤルアップ接続を行うと電話料金がかかります。暗証番号を入力することによって、接続を禁止させるように設定することができます。

ポイント

- 暗証番号が設定されていない場合は双方向サービス制限設定はできません。
- 双方向サービス制限設定をする場合は、暗証番号を設定してください。（P.110）



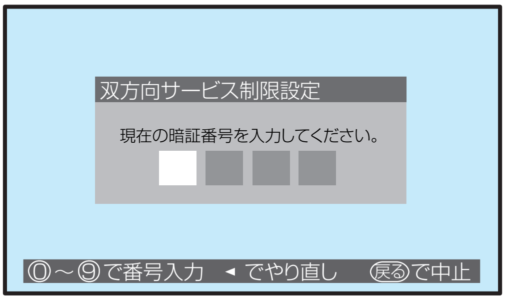


1 「双方向サービス制限設定」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「通信設定」を選び、決定 を押す
④[︿/﹀]で「双方向サービス制限設定」を選び、決定 を押す

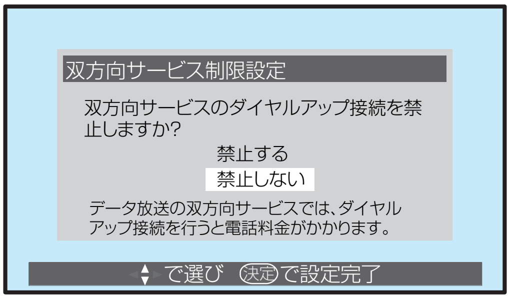
2 0～9(11/0 ～ 9)で暗証番号(4桁)を入力する

間違って入力した場合は、カーソルボタンを押し、1桁目からもう一度入力してください。
入力した暗証番号が誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。



3 [︿/﹀]で項目を選び、決定 を押す

「通信設定」画面に戻ります。



4 終了 を押して、設定を終了する

暗証番号の設定

ペイ・パー・ビュー番組の購入、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、双方向サービス制限設定、すべての初期化で使用する暗証番号を設定します。

ポイント

- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。
- 暗証番号を削除する場合は、「すべての設定内容を初期化する」で行ってください。(➡P.123)

1 「暗証番号設定」画面を表示する

① メニュー を押す

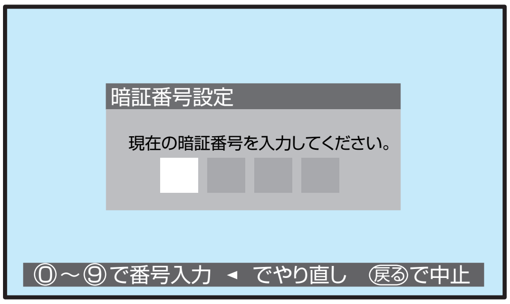
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す

③ [《/》] で「視聴設定」を選んだあと、[︿/﹀] で「暗証番号設定」を選び、決定 を押す

●暗証番号を変更する場合

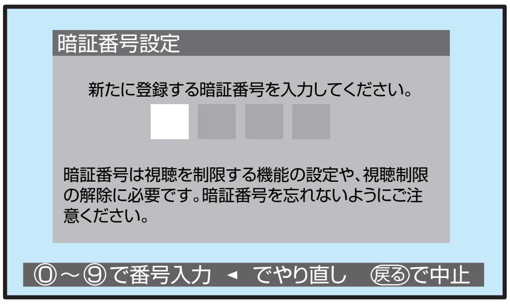
0〜9(11/0 〜 9) で変更する前の暗証番号(4桁)を入力する

間違って入力した場合は、[《] を押し、1桁目からもう一度入力してください。



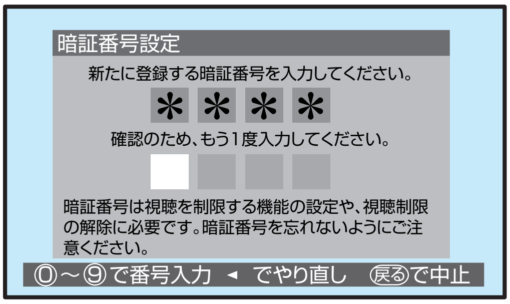
2 0〜9(11/0 〜 9)で登録したい暗証番号(4桁)を入力する

間違って入力した場合は、[《]を押し、1桁目からもう一度入力してください。



3 0〜9(11/0 〜 9)でもう一度暗証番号(4桁)を入力する

暗証番号が登録されます。



4 決定 を押す

5 終了 を押して、設定を終了する

視聴年齢制限の設定

成人向けの番組では、視聴年齢が設定されていることがあります。このような番組の場合、あらかじめ設定した本機の視聴年齢制限の設定よりも番組の視聴年齢制限が高い場合、暗証番号を入力しないと視聴できません。（年齢の設定値は、4歳〜20歳です。）

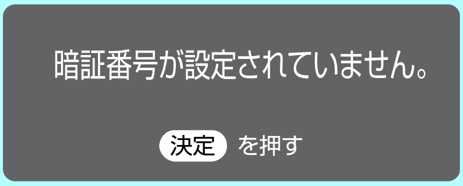
- お買い上げ時には、設定はされていません。設定されていない場合は視聴年齢制限付き番組は視聴できません。
- 視聴年齢が設定されているすべての番組をご覧になる場合は、視聴年齢制限を「20歳（制限しない）」にしてください。その場合は、暗証番号を入力する必要はありません。
  例えば、本機の視聴年齢制限を18歳に設定したとき
  - 視聴年齢制限が18歳以下の番組はそのまま視聴できます。
  - 視聴年齢制限が18歳を超えた番組を視聴するには暗証番号が必要となります。

ポイント

- 暗証番号が設定されていない場合は視聴年齢制限の設定はできません。
- 視聴年齢制限の設定をする場合は、暗証番号を設定してください。（➡P.110）

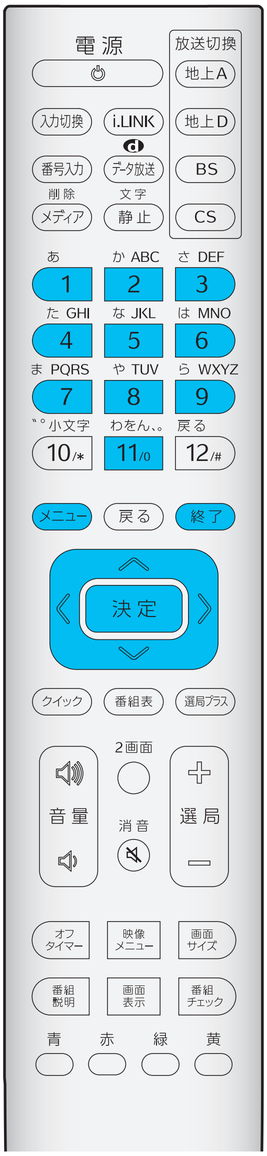
■暗証番号について

ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、双方向サービス制限設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。



設定する

視聴年齢制限の設定

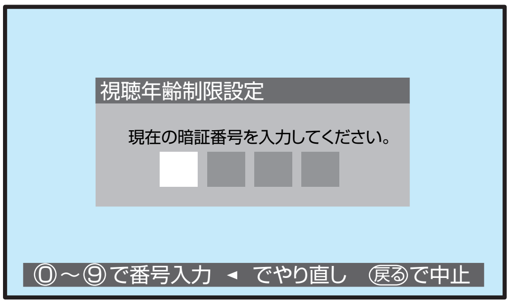


1 「視聴年齢制限設定」画面を表示する

①［メニュー］を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す
③[《/》]で「視聴設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「視聴年齢制限設定」を選び、［決定］を押す

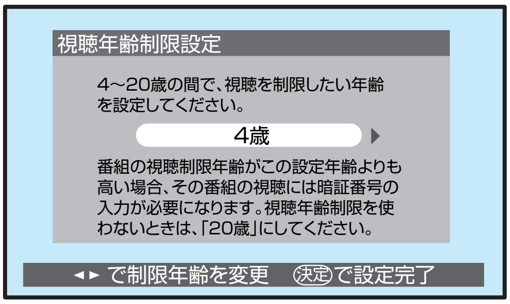
2 0～9(［11/0］～［9］)で暗証番号(4桁)を入力する

- 間違って入力した場合は、[《]を押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。



3 [《/》]で視聴できる年齢を設定し、［決定］を押す

視聴できる年齢は、4歳から20歳の間で設定できます。
制限しない場合は20歳に設定します。



4 ［終了］を押して、設定を終了する

視聴年齢制限が設定されている番組を選んだとき

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢以下のとき

通常どおり番組は視聴できます。

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢よりも上のとき

メッセージが表示され、番組を見ることはできません。番組を見るためには次の操作を行います。
①［決定］を押す
②0～9(［11/0］～［9］)で暗証番号(4桁)を入力する
間違って入力した場合は[《]を押し、もう一度1桁目から入力してください。

■本機に暗証番号や視聴年齢制限が設定されていないとき

メッセージが表示され、番組をご覧になることはできません。
［決定］を押すと、設定の必要な項目がメッセージ表示されます。
内容を確認した後、暗証番号や視聴年齢制限の設定を行ってください。

番組購入限度額の設定

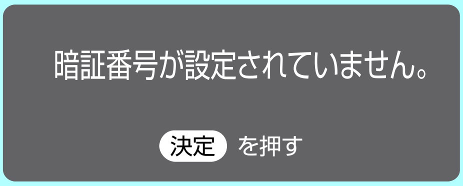
ペイ・パー・ビュー番組の１番組ごとの購入限度額を設定できます。設定した限度額を超える番組を購入する場合には、暗証番号の入力が必要です。
金額に関係なく、すべてのペイ・パー・ビュー番組について、暗証番号の入力が必要となるように設定することもできます。

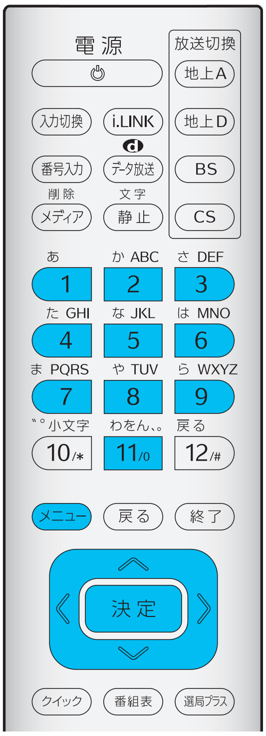
■購入限度額の判定について

- 番組によって視聴料金と録画料金が異なる場合は、高いほうの金額で購入限度額の判定を行います。
- 複数映像、複数音声または複数データで課金対象になっている番組は、切り換えるときに購入限度額の判定を行います。

ポイント

- お買い上げ時は、すべての購入を「制限しない」に設定されています。
- 暗証番号が設定されていない場合は番組購入限度額の設定はできません。番組購入限度額の設定をする場合は、暗証番号を設定してください。（P.110）



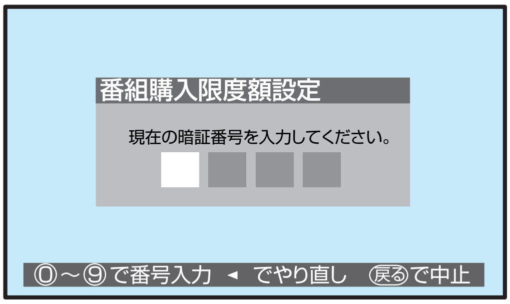


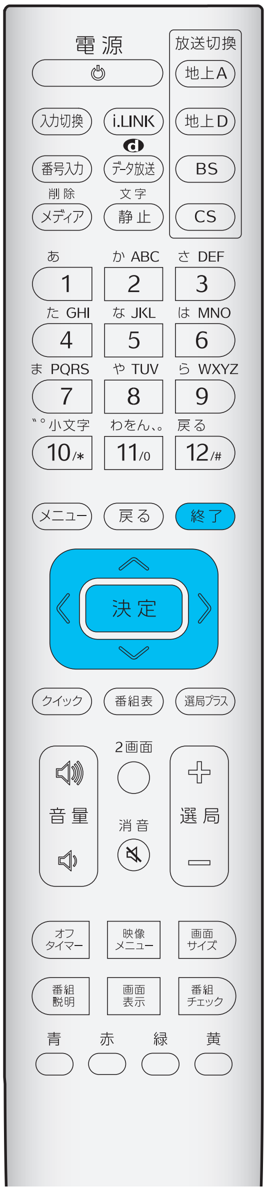
1 「番組購入限度額設定」画面を表示する

①［メニュー］を押す
②［∧/∨/《/》］で「設定メニュー」を選び、［決定］を押す
③［《/》］で「視聴設定」を選んだあと、［∧/∨］で「番組購入限度額設定」を選び、［決定］を押す

2 0～9（［11］～［9］）で暗証番号（4桁）を入力する

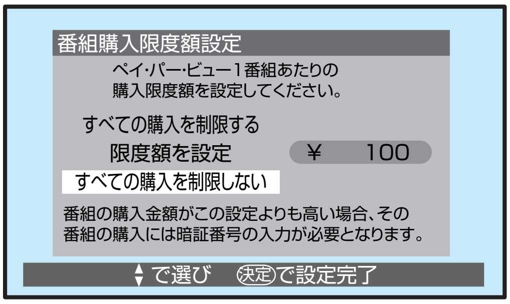
- 間違って入力した場合は、［《］を押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。



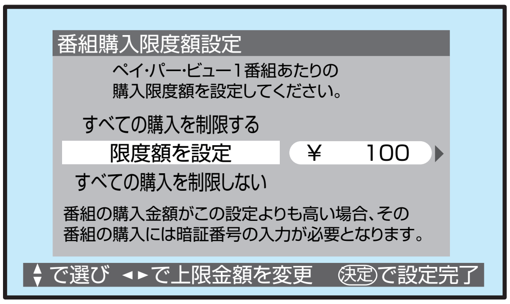


3 [︿/﹀]で制限モードを選ぶ

- すべての購入を制限する：どのペイ・パー・ビュー番組を購入する場合でも、暗証番号の入力が必要です。
- 限度額を設定：設定された限度額を超える番組を購入する場合は、暗証番号の入力が必要です。
- すべての購入を制限しない：購入金額に制限されることなく、ご覧になりたいペイ・パービュー番組を購入できます。



●「限度額を設定」の設定した場合
[《/》]で限度額を選ぶ
設定限度額
100円～10,000円の範囲で設定します。



全額	設定できる単位
100円～1,000円	100円単位
1,000円～3,000円	500円単位
3,000円～10,000円	1,000円単位

4 決定 を押す

5 終了 を押して、設定を終了する

簡易確認テスト

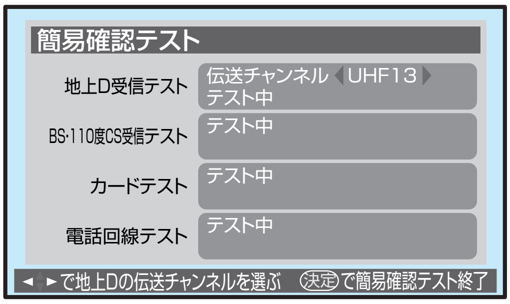
地上D受信テスト、BS・110度CS受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストをまとめて行います。

ポイント

通信についてのテストは、「センター接続テスト」(➡P.96)を行ってください。

1 「簡易確認テスト開始」画面を表示し、テストを開始する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「その他」を選んだあと、[︿/﹀]で「簡易確認テスト開始」を選び、決定 を押す
受信テストは、BS→110度CS→地上Dの順に行われます。



●**地上Dを受信する場合**
地上デジタル放送の場合、伝送チャンネルごとの受信テストを以下の操作で行います。
①[《/》]で伝送チャンネルを選ぶ
- 選んだ伝送チャンネルの受信テストを行います。

②他の伝送チャンネルをテストする場合は、手順①と同じ操作を行う
- テストを中止する場合は 戻る を押します。
- 「テスト結果」については、P.52をご覧ください。

2 簡易確認テストが終了したら 決定 を押す

3 終了 を押して、テストを終了する

データ放送設定を個別に行うとき

郵便番号と地域の設定

「はじめての設定」(➡P.45)がお済みの場合は、ここでの設定の必要はありません。

郵便番号と地域の設定することで、最寄りのアクセスポイントが設定でき次のサービスが受けられます。
- お住まいの地域のデータ放送(天気予報・選挙速報)や緊急警報放送を受信する。
- 電話回線を通して双方向のデータ通信する。

ポイント

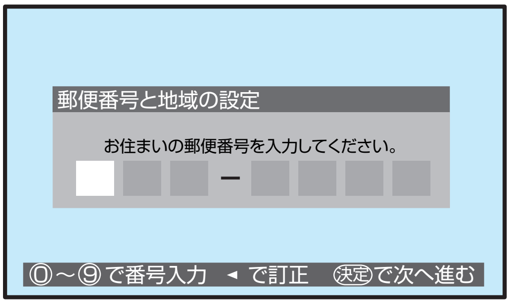
- 「はじめての設定」(➡P.45)とこのページでの地域の設定では、地方、都道府県、地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では「地上放送チャンネル設定」と同時にまとめて行っているためです。
- データ放送を受信している状態でここでの設定をした場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後、再度データ放送を選局し直してください。

1 「郵便番号と地域の設定」画面を表示する

①（メニュー）を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、（決定）を押す。
③[《/》]で「データ放送」を選んだあと、[︿/﹀]で「郵便番号と地域の設定」を選び、（決定）を押す

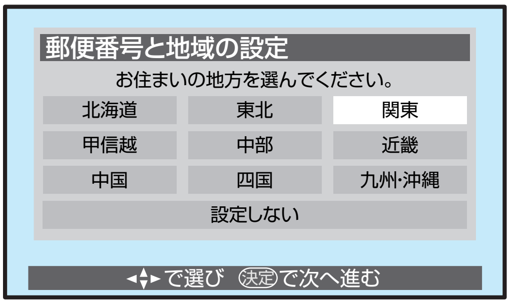
2 0～9(（11）～（9）)でお住まいの郵便番号を入力し、（決定）を押す

- 間違って入力した場合は、[《]を押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 郵便番号入力で上3桁を入力して（決定）を押すと残り4桁は自動的に「0」が入力されます。
- 上2桁までの入力で（決定）を押すと、エラーになります。（決定）を押して、もう一度入力してください。



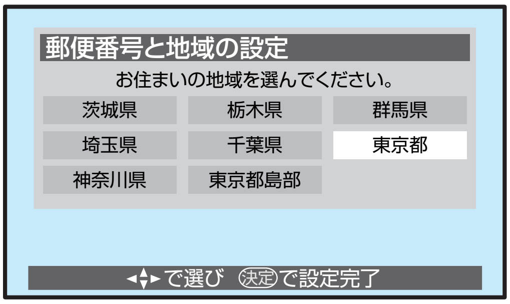
3 [︿/﹀/《/》]で該当する地方を選択し、（決定）を押す

「設定しない」を選んだ場合、手順5に進みます。

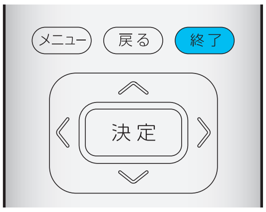


4 [︿/﹀/《/》]で該当する地域を選択し、（決定）を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。



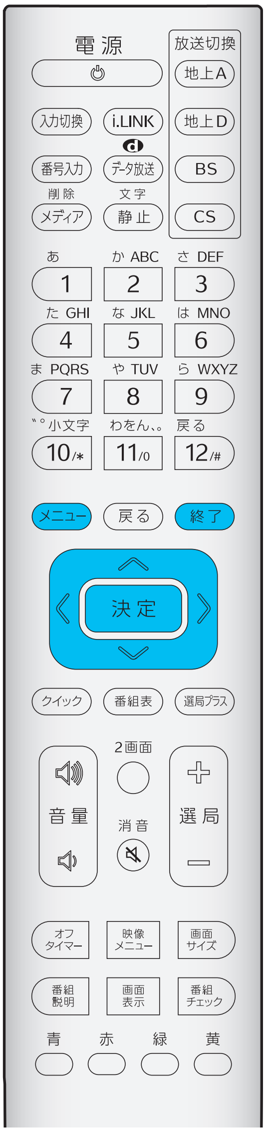
設定する



5 終了を押して、設定を終了する

文字スーパー表示(字幕や文字解説)の設定

デジタル放送では、番組によって文字スーパーを表示させるサービスがあります。文字スーパーを表示させるように設定したり、複数の言語データがある番組の場合は、表示させる文字スーパーの言語を選ぶことができます。お好みの言語に設定してください。
お買い上げ時は、日本語を優先で表示するように設定されています。

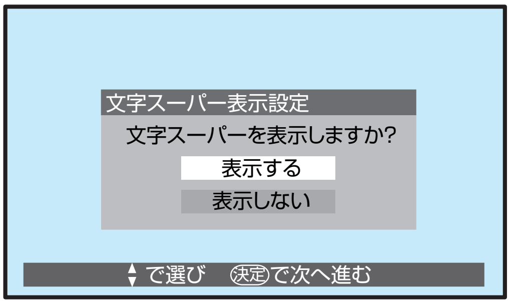


1 「文字スーパー表示設定」画面を表示する

①メニューを押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定を押す
③[《/》]で「データ放送」を選んだあと、[︿/﹀]で「文字スーパー表示設定」を選び、決定を押す

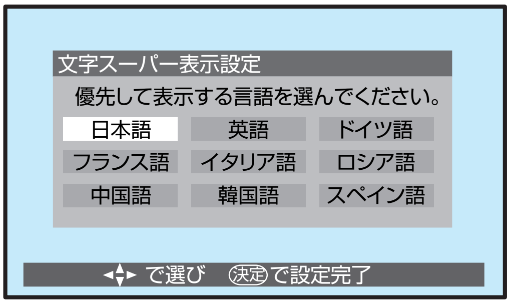
2 [︿/﹀]で「表示する」または「表示しない」を選び、決定を押す

「表示しない」を選ぶと文字スーパーは表示されません。



3 [︿/﹀/《/》]で言語を選び、決定を押す

画面に表示されている言語から選びます。



4 終了を押して、設定を終了する

ポイント

受信している放送に設定した言語がない場合は、送信データに従って表示されます。

設定する

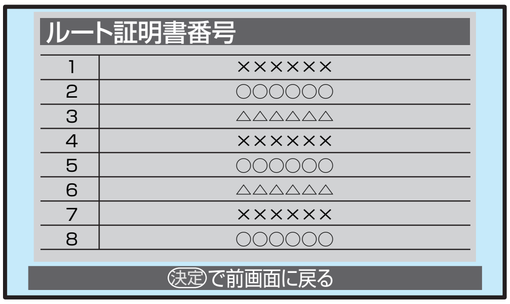
ルート証明書番号を確認する

ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向通信サービスで、本機と接続されるサーバの認証を行う際に使用されます。
これによって、双方向通信の安全性を高めることができます。
ルート証明書は地上デジタル放送によって放送局から送られ、本機内に記憶されます。
この記憶されたルート証明書の番号を以下の手順で確認することができます。

1 「ルート証明書番号」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、決定 を押す
③[《/》]で「データ放送」を選んだあと、[︿/﹀]で「ルート証明書番号」を選び、決定 を押す

2 ルート証明書番号を確認したら、決定 を押す



3 終了 を押し、終了する

ポイント

最大8個のルート証明書番号が表示されます。ルート証明書が記憶されていない場合、「―――」と表示されます。各ルート証明書の詳しい情報については、エプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターにお問い合わせください。その際、ルート証明書番号をお伝えください。（➡『操作・機能編』「サポートのご案内」）

接続しているアンテナや外部機器のケーブルを取り外す

本機の設置場所を変更する場合は以下のように作業を行い、ケーブルなどを確実に外してください。

1 本機と本機に接続している機器の電源をすべて切る

- 本機は電源を切ると約1分間クールダウンを行い待機状態になります。
- 接続している機器についてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

2 本機が待機状態([電源]ランプが赤色点灯)になったら、本機の主電源スイッチを「切」にして、本機と本機に接続しているすべての接続機器の電源プラグをコンセントから抜く

3 本機に接続しているケーブルをすべて外す

ポイント

壁などにワイヤーを固定して転倒防止措置を行っている場合は、壁などからワイヤーを取り外します。

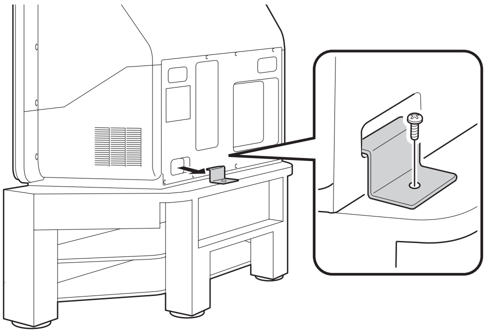
ラックを取り外す

ご使用になっている本機の機種とラックにより、取り外し方が異なります。あらかじめ本機の機種とご使用になっているラックの型番をご確認をうえ作業を行ってください。

Sシリーズをご使用の場合

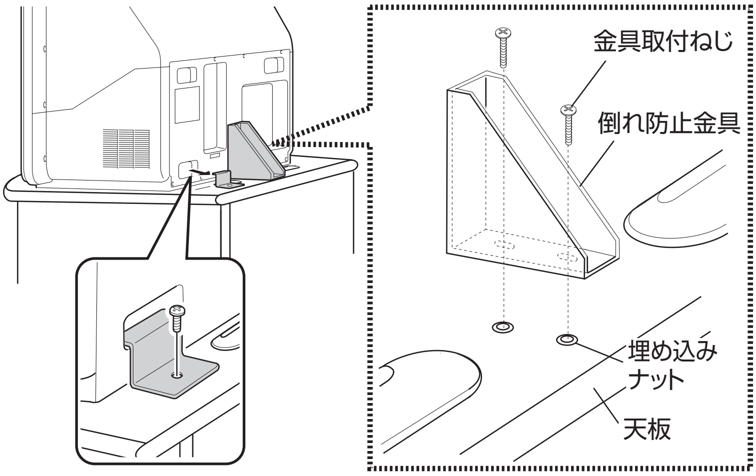
ラック(ELSRA3、ELSRA4)での取り外し方

本機とラックを固定しているテレビ固定金具を取り外します。



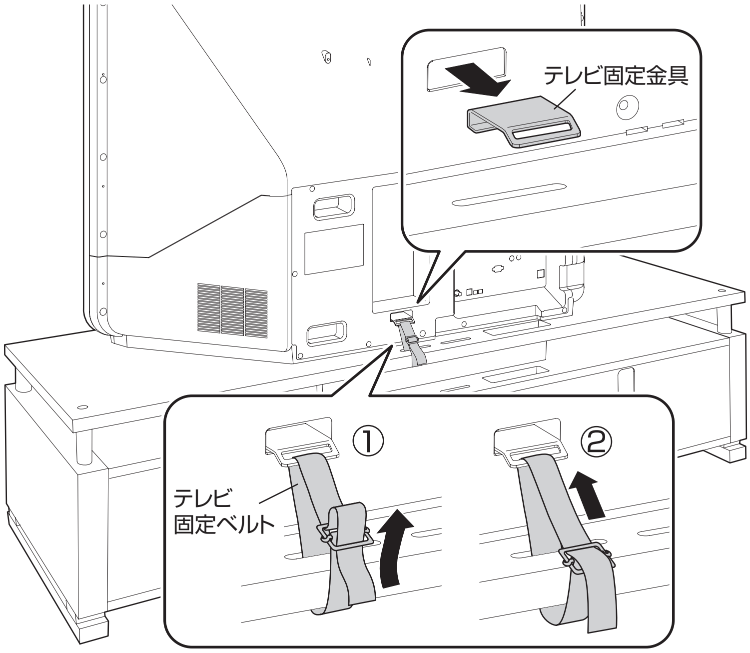
業務用ラック(ELSBURA1、ELSBURA2)での取り外し方

本機とラックを固定しているテレビ固定金具と、倒れ防止金具を取り外します。



ラック(ELSRA5)での取り外し方

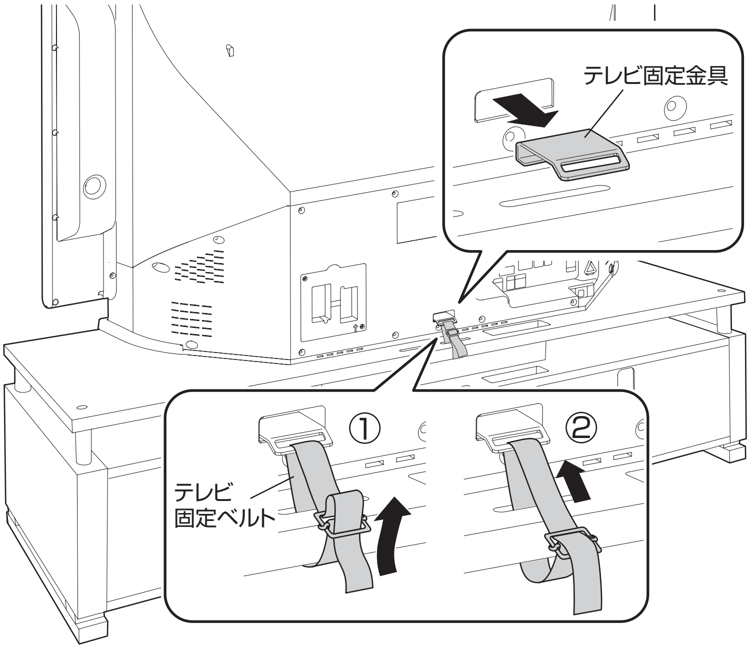
本機とラックを固定しているテレビ固定金具とテレビ固定ベルトを取り外します。



GLシリーズをご使用の場合

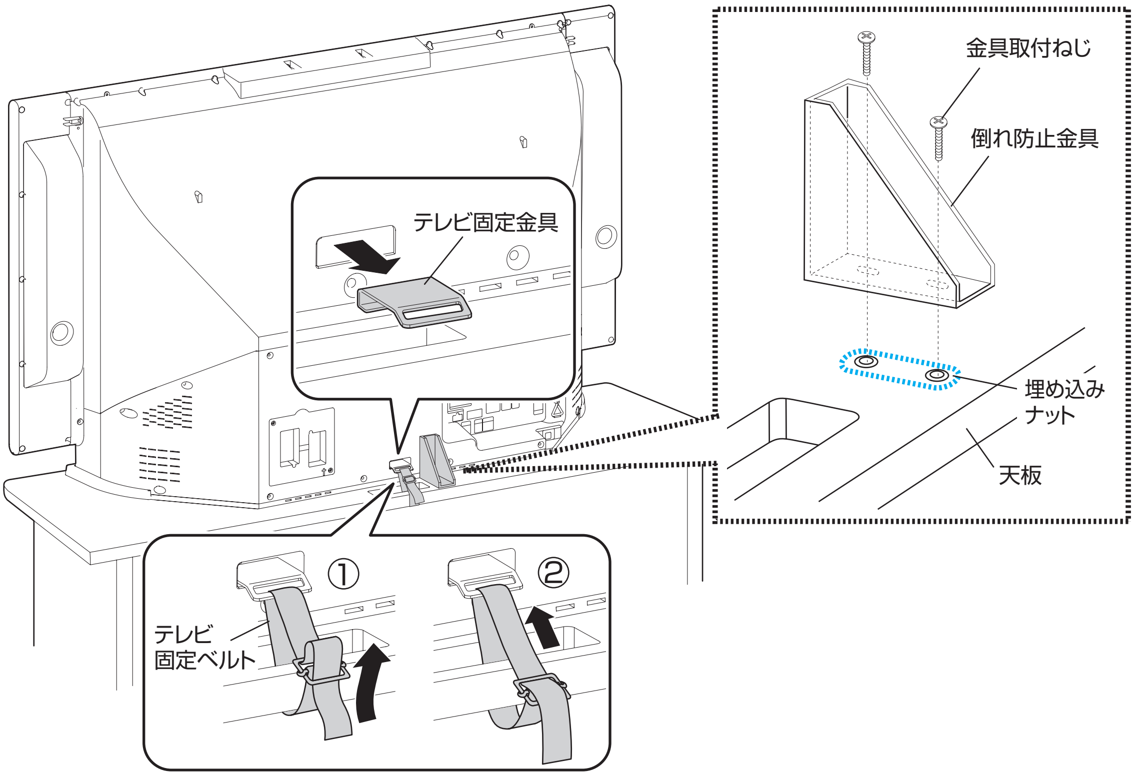
ラック(ELSRA5)での取り外し方

本機とラックを固定しているテレビ固定金具とテレビ固定ベルトを取り外します。



業務用ラック(ELSBURA3)での取り外し方

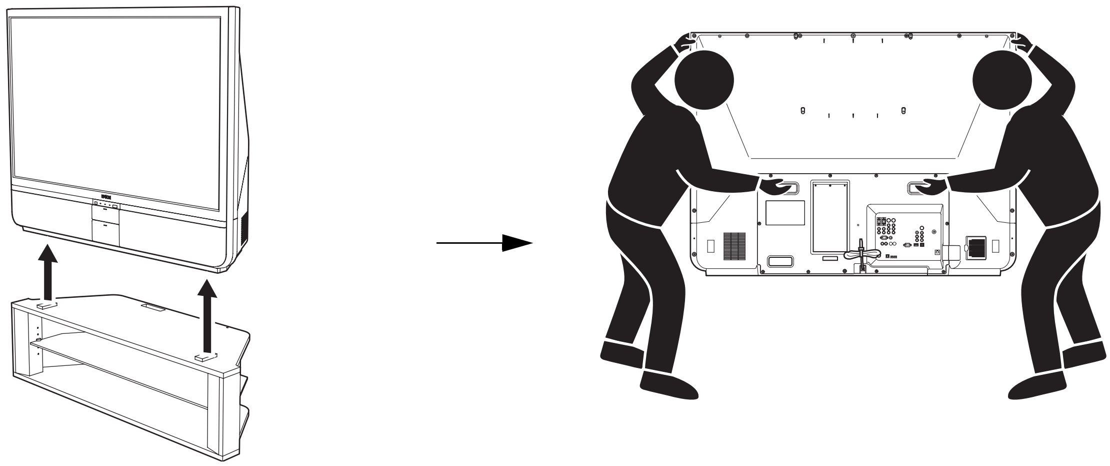
本機とラックを固定しているテレビ固定金具とテレビ固定ベルトを取り外し、倒れ防止金具を取り外します。



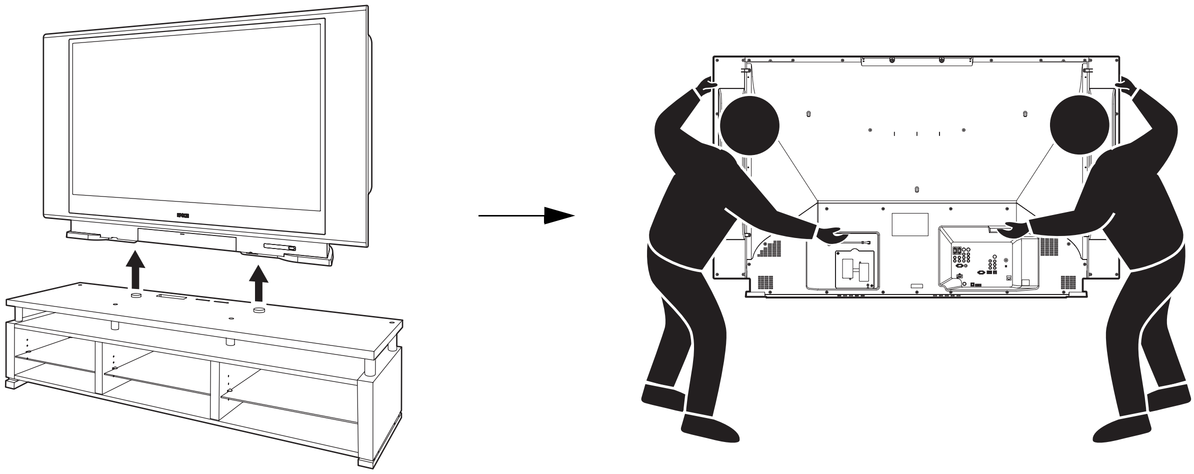
運ぶ

本機を持ち運ぶ場合は必ず2人で行います。本機を持ち運びするときは、画面の上部枠と背面に手をかけてください。

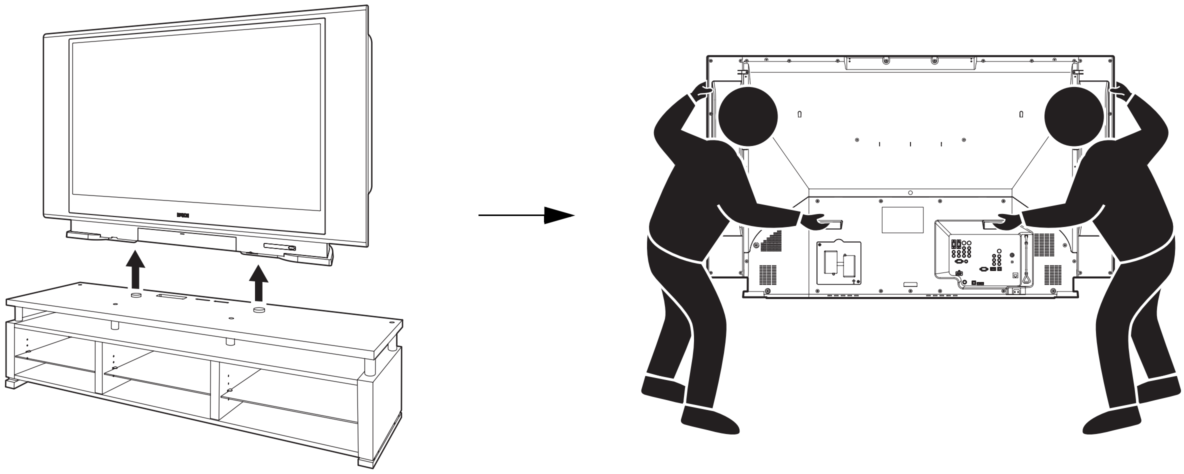
Sシリーズをご使用の場合



GLシリーズ(65V型)をご使用の場合



GLシリーズ(55V型)をご使用の場合



ポイント

- 引越しなどをされる場合は、市販の梱包材を使って本機をしっかりと梱包してください。
- 輸送は、引越し業者などに依頼されることをおすすめいたします。
- 本機を設置する場合は、「設置する」の章をご覧ください。(➡P.14)
- 引越しなどでお住まいの地域が変わった場合は「はじめての設定」を行ってください。(➡P.45)

お買い上げ時の状態に戻す(設定内容を初期化する)

お買い上げの状態に戻すには、以下の3つの設定があります。目的に合わせて行ってください。

一旦初期化されたデータは、元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

「設定の初期化」の設定項目

初期化される項目の詳細(➡P.125)

初期化1	チャンネル設定、暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、双方向サービス制限設定を除いた項目をお買い上げ時の状態に戻します。お好みに設定した項目を再設定するときに行うと便利です。
初期化2	「初期化１」での項目に加えて「チャンネル設定」もお買い上げ時の状態に戻します。
すべての設定内容を初期化する	暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、双方向サービス制限設定、データ放送などでの個人情報(視聴ポイント数等)についてもすべてお買い上げ時の状態に戻します。本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合のみ行ってください。

初期化1、初期化2を行う

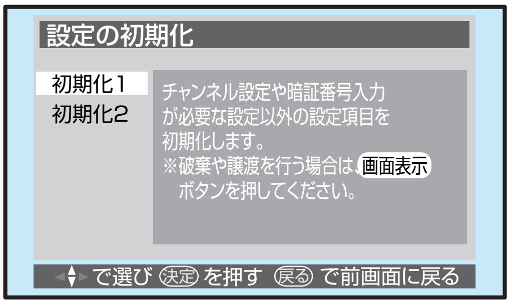
1 「設定の初期化」画面を表示する

①(メニュー)を押す

②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、(決定)を押す

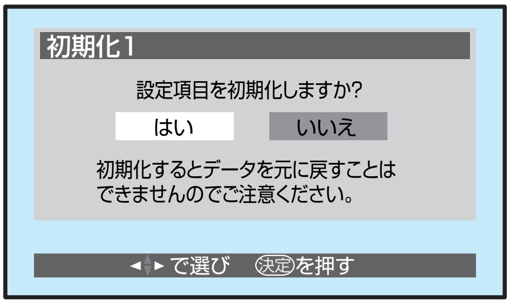
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「設定の初期化」を選び、(決定)を押す

2 [︿/﹀]で「初期化1」または「初期化2」を選び、(決定)を押す



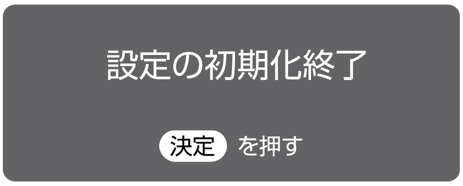
3 [《/》]で「はい」を選び、(決定)を押す

- 初期化するとデータを元に戻すことはできませんのでご注意ください。
- 初期化される内容については「お買い上げ時の状態と初期化される項目」(➡P.125)の表をご覧ください。



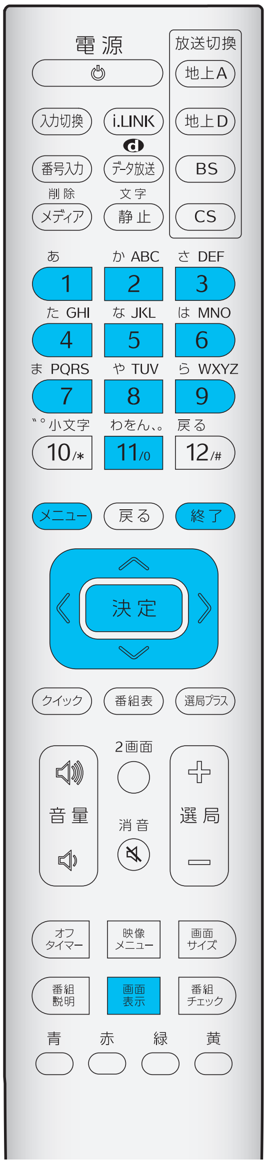
4 右の画面を確認して 決定 を押す

手順3に戻ります。



5 終了 を押して、設定を終了する

すべての設定内容を初期化する

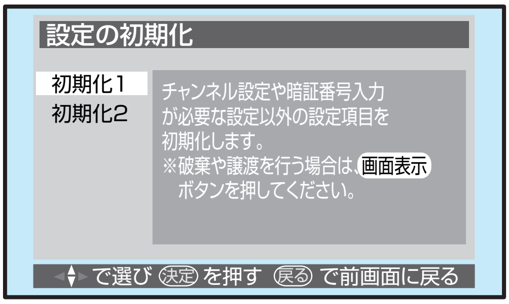


1 「設定の初期化」画面を表示する

① メニュー を押す
②[︿/﹀/《/》]で「設定メニュー」を選び、 決定 を押す
③[《/》]で「初期設定」を選んだあと、[︿/﹀]で「設定の初期化」を選び、 決定 を押す

2 [画面表示]ボタンを押す

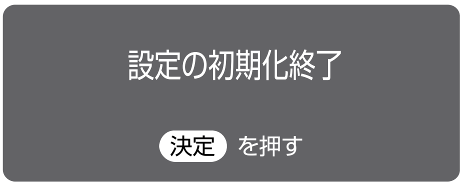
●暗証番号の入力画面が表示された場合
0～9(11/0 ～ 9)で暗証番号(4桁)を入力する。



3 [《/》]で「はい」を選び、 決定 を押す

- 初期化するとデータを元に戻すことはできませんのでご注意ください。
- 初期化にしばらく時間がかかる場合があります。

4 右の画面を確認して 決定 を押す



5 終了 を押して、設定を終了する

ポイント

■暗証番号について
ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、双方向サービス制限設定、すべての初期化で使用する暗証番号は、同じものです。

お買い上げ時の状態と初期化される項目

「すべて初期化」を選んで初期化した場合はすべての項目が初期化されます。

○: 初期化される ×: 初期化されない
GL :GLシリーズのみの項目

項目		お買い上げ時の状態	初期化 1	初期化 2
映像メニュー		ダイナミック	○	○
オーバースキャン		オフ	○	○
デジタルノイズリダクション		オフ	○	○
プログレッシブ		モード1	○	○
ファインシネマ		オフ	○	○
字幕ズーム位置調整		15	○	○
ステレオ/モノラル		ステレオ	○	○
音声モード		ノーマル	○	○
映像設定（コンピュータ接続時） GL	カラーモード	PC設定1	○	○
音声設定（コンピュータ接続時） GL	音声モード	ノーマル	○	○
光デジタル音声出力		PCM固定	○	○
番組色分け設定		赤：映画 緑：スポーツ 橙：音楽	○	○
音声調整		0	○	○
お気に入り登録		お買い上げ時のお気に入り登録状態（➡『操作・機能編』「番組表の色分けジャンルを変更する」）	○	○
暗証番号設定		設定しない	×	×
視聴年齢制限設定		設定しない	×	×
番組購入限度額設定		設定しない	×	×
郵便番号設定		設定なし	○	○
地域の設定		設定しない	○	○
文字スーパー表示設定		日本語、表示する	○	○
消費電力 GL		省エネ	○	○
電源待機消費電力		設定しない	○	○
無操作自動電源オフ		動作しない	○	○
オンエアー無信号オフ		待機にする	○	○
外部入力無信号オフ		待機にする	○	○
i.LINK無信号オフ		待機にする	○	○
デジタル放送録画出力		設定しない	○	○
ビデオ入力表示設定		ビデオ1：VTR ビデオ2：VTR ビデオ3：VTR ビデオ4：VTR ビデオ5：VTR	○	○
放送からの自動ダウンロード		ダウンロードする	○	○
放送からの任意ダウンロード予約		予約なし	○	○
BS・110度CSアンテナ電源供給		供給する	○	○
CATVパススルーモード		設定しない	○	○

項目		お買い上げ時の状態	初期化 1	初期化 2
自動スキャン		自動スキャンする	○	○
i.LINK設定	登録モード設定	自動	○	○
i.LINK設定	外部機器からの制御	なし	○	○
i.LINK設定	ブロードキャスト入力設定	オフ	○	○
i.LINK設定	最大データ転送速度設定	最適	○	○
i.LINK設定	D-VHSテープ検出	オン	○	○
i.LINK設定	チューナーの選局方法	選局1	○	○
ビデオ設定		東芝1	○	○
ダイヤル方式		トーン	○	○
外線発信番号		設定なし	○	○
電話会社の設定		電話会社を設定しない	○	○
マイラインプラス加入設定		加入していない	○	○
電話番号通知設定		設定しない	○	○
待ち時間設定		自動設定する	○	○
ダイヤルの待ち時間設定	電話番号通知	設定しない	○	○
ダイヤルの待ち時間設定	マイラインプラス解除番号	設定しない	○	○
ダイヤルの待ち時間設定	電話会社指定番号	設定しない	○	○
通信接続設定	通信パラメータ上書設定	上書許可	○	○
通信接続設定	ISP設定	すべて設定なし	○	○
通信接続設定	DNS設定	自動取得する	○	○
通信接続設定	プロキシ設定	使用しない	○	○
通信接続設定	ヘッダ圧縮設定	圧縮する	○	○
通信確認メッセージ設定		表示する	○	○
通信自動切断設定		3分	○	○
双方向サービス制限設定		禁止しない	×	×
オフタイマー		オフ	○	○
音多切換		主音声	○	○
字幕切換		字幕オフ	○	○
お知らせ		なし	○	○
視聴予約、録画予約		なし	○	○
チャンネル設定（1 ～ 12/#）		お買い上げ時のチャンネル設定状態（➡『操作・機能編』「ダイレクト選局ボタンに設定されているチャンネルについて」）	×	○

ふろく

地上アナログ放送の放送一覧

「自動チャンネル設定」で自動設定されるチャンネルを以下の一覧で確認できます。
一覧にない放送局を設定するときは「地上アナログ放送(VHF/UHF/CATVC13～C63)の手動チャンネル設定」で設定してください。(➡P.78)

- ソフトウェアのバージョンによって、一覧の内容(自動設定される内容)は変わる場合があります。
- 一覧の内容は、放送局側の運用変更によって変わる場合があります。

■ お使いの地域・都市名で地上アナログ放送の自動チャンネル設定をしても正しく受信できない場合

- アンテナの種類(VHFまたはUHF)や向きがお使いになる地域や都市に適した状態になっていることを確認してください。詳しくはお近くの電器店または専門業者にご相談ください。
- 一覧表の地域・都市名に属する地域であっても、隣接する地域・都市の境界付近の場合やビルなどの高層物の影響を受ける場合、お近くの別の地域・都市にアンテナの種類(VHFまたはUHF)や向きを合わせた方がより良い受信環境になる場合があります。その場合は次のように設定してください。
  ①お近くの別の地域・都市にアンテナの種類(VHFまたはUHF)や向きを合わせる
  詳しくはお近くの電器店または専門業者にご相談ください。
  ②「自動チャンネル設定」(➡P.72)手順1～3を行う
  ③手順 4でアンテナの向きに合わせた地域・都市名を選び、決定 を押す

■ 適した地域・都市名がわからない場合

一覧表を参照してお使いになる地域の最寄りの地域・都市名から順に選んで正しく受信される地域・都市名をお探しください。
例：お使いになる地域が「横浜みなと」の場合は「横浜・川崎」または「平塚・茅ケ崎」など。

■ 上記の操作を行っても、自動チャンネル設定では正しく受信できないチャンネルの場合

「地上アナログ放送(VHF/UHF/CATVC13～C63)の手動チャンネル設定」(➡P.78)でチャンネルを設定してください。

2005年1月1日現在

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	旭川	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	テレビ北海道(TVh)	33	33
			5	北海道文化放送(UHB)	37	37
			6	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北海道放送(HBC)	11	11
			12			
		釧路	1			
			2	NHK教育	2	2
			3	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			4	北海道文化放送(UHB)	41	41
			5			
			6			
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北海道放送(HBC)	11	11
			12			
		北見	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	北海道テレビ放送(HTB)	61	61
			5	北海道文化放送(UHB)	59	59
			6			
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北海道放送(HBC)	53	53
			12			
北海道	北海道・北部	網走	1	北海道放送(HBC)	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	札幌テレビ放送(STV)	5	5
			6			
			7	北海道文化放送(UHB)	27	27
			8			
			9	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			10			
			11			
			12	NHK教育	12	12
		稚内	1			
			2	北海道文化放送(UHB)	26	26
			3			
			4	NHK総合	28	28
			5			
			6	札幌テレビ放送(STV)	22	22
			7			
			8	北海道テレビ放送(HTB)	24	24
			9			
			10	北海道放送(HBC)	10	10
			11			
			12	NHK教育	30	30
		名寄	1			
			2	北海道文化放送(UHB)	26	26
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	札幌テレビ放送(STV)	6	6
			7			
			8	北海道テレビ放送(HTB)	24	24
			9			
			10	北海道放送(HBC)	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
北海道	北海道・北部	根室	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4			
			5	北海道文化放送(UHB)	62	62
			6	北海道テレビ放送(HTB)	60	60
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北海道放送(HBC)	11	11
			12			
	北海道・南部	札幌	1	北海道放送(HBC)	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	テレビ北海道(TVh)	17	17
			5	札幌テレビ放送(STV)	5	5
			6			
			7	北海道文化放送(UHB)	27	27
			8			
			9			
			10	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			11			
			12	NHK教育	12	12
		函館	1	北海道文化放送(UHB)	27	27
			2			
			3	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			4	NHK総合	4	4
			5	テレビ北海道(TVh)	21	21
			6	北海道放送(HBC)	6	6
			7			
			8			
			9			
			10	NHK教育	10	10
			11			
			12	札幌テレビ放送(STV)	12	12

[北海道は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・南部	帯広	1	北海道文化放送 (UHB)	32	32
			2			
			3	北海道テレビ放送 (HTB)	34	34
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	北海道放送 (HBC)	6	6
			7			
			8			
			9			
			10	札幌テレビ放送 (STV)	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
		苫小牧	1			
			2	NHK教育	49	49
			3			
			4	北海道テレビ放送 (HTB)	61	61
			5	北海道文化放送 (UHB)	53	53
			6			
			7	札幌テレビ放送 (STV)	57	57
			8			
			9	NHK総合	51	51
			10			
			11	北海道放送 (HBC)	55	55
			12	テレビ北海道 (TVh)	47	47
		小樽	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	北海道テレビ放送 (HTB)	4	4
			5	北海道文化放送 (UHB)	26	26
			6			
			7	札幌テレビ放送 (STV)	7	7
			8			
			9	北海道放送 (HBC)	9	9
			10			
			11	NHK総合	11	11
			12	テレビ北海道 (TVh)	24	24
		室蘭	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	テレビ北海道 (TVh)	29	29
			5	北海道文化放送 (UHB)	37	37
			6	北海道テレビ放送 (HTB)	39	39
			7	札幌テレビ放送 (STV)	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北海道放送 (HBC)	11	11
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	青森	青森	1	青森放送 (RAB)	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	青森朝日放送 (ABA)	34	34
			5	NHK教育	5	5
			6			
			7			
			8			
			9			
			10			
			11			
			12	青森テレビ (ATV)	38	38
		八戸	1			
			2	アイビーシー岩手放送 (IBCテレビ)	2	2
			3	テレビ岩手	37	37
			4	岩手めんこいテレビ	29	29
			5			
			6	岩手朝日テレビ	27	27
			7	NHK教育	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10	青森朝日放送 (ABA)	31	31
			11	青森放送 (RAB)	11	11
			12	青森テレビ (ATV)	33	33
		むつ	1			
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	青森朝日放送 (ABA)	56	56
			7			
			8	青森テレビ (ATV)	58	58
			9			
			10	青森放送 (RAB)	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
	岩手	盛岡	1	テレビ岩手	35	35
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	アイビーシー岩手放送 (IBCテレビ)	6	6
			7			
			8	NHK教育	8	8
			9			
			10	岩手めんこいテレビ	33	33
			11			
			12	岩手朝日テレビ	31	31
		釜石	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	岩手朝日テレビ	62	62
			5			
			6	岩手めんこいテレビ	60	60
			7			
			8	テレビ岩手	58	58
			9			
			10	アイビーシー岩手放送 (IBCテレビ)	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	岩手	二戸	1			
			2	アイビーシー岩手放送 (IBCテレビ)	2	2
			3			
			4	岩手朝日テレビ	27	27
			5	NHK総合	5	5
			6			
			7			
			8	岩手めんこいテレビ	29	29
			9			
			10	テレビ岩手	37	37
			11			
			12	NHK教育	12	12
	宮城	仙台	1	東北放送 (TBCテレビ)	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	NHK教育	5	5
			6			
			7	東日本放送	32	32
			8			
			9	宮城テレビ放送 (ミヤギテレビ)	34	34
			10			
			11			
			12	仙台放送	12	12
		石巻	1	東北放送 (TBCテレビ)	59	59
			2			
			3	NHK総合	51	51
			4			
			5	NHK教育	49	49
			6			
			7	東日本放送	61	61
			8			
			9	宮城テレビ放送 (ミヤギテレビ)	55	55
			10			
			11			
			12	仙台放送	57	57
		気仙沼	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	東北放送 (TBCテレビ)	4	4
			5			
			6	仙台放送	6	6
			7			
			8	東日本放送	43	43
			9			
			10	NHK教育	10	10
			11			
			12	宮城テレビ放送 (ミヤギテレビ)	37	37
	秋田	秋田	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4			
			5	秋田放送	31	31
			6			
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	秋田放送 (ABSテレビ)	11	11
			12	秋田テレビ (AKT)	37	37

[東北は次のページにつづく]

地上アナログ放送の放送一覧

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	秋田	大館	1	青森放送（RAB）	1	1
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5	秋田放送	59	59
			6	秋田放送（ABSテレビ）	6	6
			7			
			8	NHK教育	8	8
			9			
			10			
			11			
			12	秋田テレビ（AKT）	57	57
		大曲・横手	1			
			2	NHK教育	43	43
			3			
			4			
			5	秋田放送	41	41
			6			
			7			
			8			
			9	NHK総合	45	45
			10			
			11	秋田放送（ABSテレビ）	47	47
			12	秋田テレビ（AKT）	51	51
	山形	山形	1			
			2			
			3			
			4	NHK教育	4	4
			5			
			6	テレビュー山形（TUY）	36	36
			7			
			8	NHK総合	8	8
			9			
			10	山形放送（YBC山形放送）	10	10
			11	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	30	30
			12	山形テレビ	38	38
		鶴岡・酒田	1	山形放送（YBC山形放送）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5			
			6	NHK教育	6	6
			7			
			8	テレビュー山形（TUY）	22	22
			9			
			10			
			11	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	24	24
			12	山形テレビ	39	39
		米沢	1			
			2	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	60	60
			3			
			4	NHK教育	50	50
			5			
			6	テレビュー山形（TUY）	56	56
			7			
			8	NHK総合	52	52
			9			
			10	山形放送（YBC山形放送）	54	54
			11			
			12	山形テレビ	58	58

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	山形	新庄	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	28	28
			5			
			6	テレビュー山形（TUY）	26	26
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	山形放送（YBC山形放送）	11	11
			12	山形テレビ	58	58
	福島	福島・郡山	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	テレビュー福島	31	31
			5			
			6	福島中央テレビ	33	33
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10	福島放送（KFB）	35	35
			11	福島テレビ（FTV）	11	11
			12			
		いわき	1			
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	福島中央テレビ	58	58
			7	テレビュー福島	62	62
			8	福島テレビ（FTV）	8	8
			9			
			10	NHK教育	10	10
			11			
			12	福島放送（KFB）	60	60
		会津若松	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4	テレビュー福島	47	47
			5			
			6	福島テレビ（FTV）	6	6
			7			
			8	福島中央テレビ	37	37
			9			
			10	福島放送（KFB）	41	41
			11			
			12			
関東	茨城	水戸	1	NHK総合	44	1
			2			
			3	NHK教育	46	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	42	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	40	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	38	8
			9			
			10	テレビ朝日	36	10
			11			
				テレビ東京	32	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	茨城	日立	1	NHK総合	52	1
			2			
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9			
			10	テレビ朝日	60	10
			11			
			12	テレビ東京	62	12
	栃木	宇都宮	1	NHK総合	51	1
			2			
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5	とちぎテレビ	31	31
			6	東京放送（TBS）	55	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9			
			10	テレビ朝日	41	10
			11			
			12	テレビ東京	44	12
		矢板	1	NHK総合	40	1
			2			
			3	NHK教育	30	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	36	4
			5	とちぎテレビ	33	31
			6	東京放送（TBS）	42	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	45	8
			9			
			10	テレビ朝日	59	10
			11			
			12	テレビ東京	61	12
	群馬	前橋	1	NHK総合	52	1
			2			
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ埼玉	38	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9			
			10	テレビ朝日	60	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	62	12
		桐生	1	NHK総合	51	1
			2			
			3	NHK教育	57	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	63	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送（TBS）	55	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	35	8
			9			
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	41	48
				テレビ東京		

[関東は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	埼玉	さいたま	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ埼玉	38	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9			
			10	テレビ朝日	10	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	12	12
		熊谷・児玉	1	NHK総合	51	1
			2			
			3	NHK教育	35	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	55	6
			7	テレビ埼玉	30	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9			
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	61	12
		秩父	1	NHK総合	14	1
			2			
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	16	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	18	6
			7	テレビ埼玉	47	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	29	8
			9			
			10	テレビ朝日	38	10
			11			
			12	テレビ東京	44	12
	千葉	千葉・船橋	1	NHK総合	1	1
			2	東京メトロポリタンテレビ（MXテレビ）	14	14
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11			
			12	テレビ東京	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	千葉	銚子	1	NHK総合	51	1
			2			
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	55	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	39	46
			10	テレビ朝日	59	10
			11			
			12	テレビ東京	61	12
	東京	23区	1	NHK総合	1	1
			2	放送大学	16	16
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（MXテレビ）	14	14
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11	テレビ埼玉	38	38
			12	テレビ東京	12	12
		八王子	1	NHK総合	33	1
			2			
			3	NHK教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（MXテレビ）	40	14
			6	東京放送（TBS）	37	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	31	8
			9			
			10	テレビ朝日	45	10
			11			
			12	テレビ東京	62	12
		多摩	1	NHK総合	49	1
			2			
			3	NHK教育	47	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（MXテレビ）	61	14
			6	東京放送（TBS）	53	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			9			
			10	テレビ朝日	57	10
			11			
			12	テレビ東京	59	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	神奈川	横浜・川崎	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11			
			12	テレビ東京	12	12
		横浜みなと	1	NHK総合	52	1
			2			
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	48	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	60	10
			11			
			12	テレビ東京	62	12
		平塚・茅ケ崎	1	NHK総合	33	1
			2			
			3	NHK教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	37	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	31	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	39	8
			9			
			10	テレビ朝日	41	10
			11			
			12	テレビ東京	43	12
		小田原	1	NHK総合	52	1
			2			
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	46	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9			
			10	テレビ朝日	60	10
			11			
			12	テレビ東京	62	12

[関東は次のページにつづく]

地上アナログ放送の放送一覧

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	神奈川	秦野	1	NHK総合	47	1
			2			
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	53	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	61	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			9			
			10	テレビ朝日	57	10
			11			
			12	テレビ東京	59	12
甲信越	新潟	新潟	1			
			2			
			3	新潟テレビ21（NT21）	21	21
			4	テレビ新潟放送網（TeNY）	29	29
			5	新潟放送（BSN新潟放送）	5	5
			6			
			7			
			8	NHK総合	8	8
			9			
			10	新潟総合テレビ	35	35
			11			
			12	NHK教育	12	12
		上越	1	NHK教育	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5			
			6	新潟テレビ21（NT21）	37	37
			7			
			8	テレビ新潟放送網（TeNY）	27	27
			9			
			10	新潟放送（BSN新潟放送）	10	10
			11			
			12	新潟総合テレビ	33	33
	山梨	※	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4			
			5	山梨放送（YBS）	5	5
			6	テレビ山梨（UTY）	37	37
			7			
			8			
			9			
			10			
			11			
			12			
	長野	長野（美ヶ原）	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	長野朝日放送（ABN）	20	20
			5			
			6	テレビ信州	30	30
			7			
			8			
			9	NHK教育	9	9
			10	長野放送（NBS）	38	38
			11	信越放送	11	11
			12			
甲信越	長野	長野（善光寺平）	1			
			2	NHK総合	44	44
			3			
			4	長野朝日放送（ABN）	50	50
			5			
			6	テレビ信州	40	40
			7			
			8			
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送（NBS）	42	42
			11	信越放送	48	48
			12			
		松本	1			
			2	NHK総合	44	44
			3			
			4	長野朝日放送（ABN）	50	50
			5			
			6	テレビ信州	48	48
			7			
			8			
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送（NBS）	42	42
			11	信越放送	40	40
			12			
		飯田	1			
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	信越放送	6	6
			7			
			8	テレビ信州	42	42
			9			
			10	長野放送（NBS）	40	40
			11			
			12	長野朝日放送（ABN）	44	44
		岡谷・諏訪	1	長野朝日放送（ABN）	61	61
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	信越放送	6	6
			7			
			8	NHK教育	8	8
			9			
			10	テレビ信州	59	59
			11			
			12	長野放送（NBS）	47	47
中部	富山	富山	1	北日本放送	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5			
			6	チューリップテレビ	32	32
			7			
			8			
			9			
			10	NHK教育	10	10
			11			
			12	富山テレビ放送（BBT）	34	34
中部	富山	高岡	1	北日本放送	50	1
			2			
			3	NHK総合	48	3
			4			
			5			
			6	チューリップテレビ	42	32
			7			
			8			
			9			
			10	NHK教育	46	10
			11			
			12	富山テレビ放送（BBT）	44	34
	石川	金沢	1			
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	北陸放送（MRO）	6	6
			7	北陸朝日放送（HAB）	25	25
			8	NHK教育	8	8
			9			
			10	テレビ金沢	33	33
			11			
			12	石川テレビ放送（石川テレビ）	37	37
		七尾	1	テレビ金沢	57	57
			2			
			3	北陸朝日放送（HAB）	59	59
			4			
			5	NHK教育	5	5
			6			
			7	石川テレビ放送（石川テレビ）	55	55
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北陸放送（MRO）	11	11
			12			
	福井	福井	1			
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4			
			5			
			6			
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	福井放送（FBCテレビ）	11	11
			12	福井テレビジョン放送（福井テレビ）	39	39
		敦賀	1			
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	NHK総合	6	6
			7			
			8	福井放送（FBCテレビ）	8	8
			9			
			10	福井テレビジョン放送（福井テレビ）	38	38
			11			
			12	NHK教育	12	12

※山梨は、甲府地域のチャンネルが設定されます。

[中部は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	岐阜	岐阜	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8			
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		長良	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	57
			2			
			3	NHK総合	53	53
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	55	55
			6			
			7			
			8			
			9	NHK教育	49	49
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	61	61
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	59	59
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	47	47
		高山	1			
			2	NHK教育	2	2
			3	中京テレビ放送（中京テレビ）	26	26
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	中部日本放送（CBC）	6	6
			7			
			8	東海テレビ放送（東海テレビ）	8	8
			9			
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	38	38
			11			
			12	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	12	12
		各務原	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6			
			7			
			8			
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	岐阜	中津川	1			
			2			
			3	中京テレビ放送（中京テレビ）	26	26
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	6	6
			7			
			8	中部日本放送（CBC）	8	8
			9			
			10	東海テレビ放送（東海テレビ）	10	10
			11	岐阜放送（岐阜テレビ）	28	28
			12	NHK教育	12	12
	静岡	静岡	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	静岡第一テレビ	31	31
			5			
			6	静岡朝日テレビ	33	33
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	静岡放送（SBSテレビ）	11	11
			12	テレビ静岡	35	35
		浜松	1			
			2	静岡第一テレビ	30	30
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	静岡放送（SBSテレビ）	6	6
			7			
			8	NHK教育	8	8
			9			
			10	静岡朝日テレビ	28	28
			11			
			12	テレビ静岡	34	34
		三島・沼津	1			
			2	NHK教育	51	51
			3	静岡第一テレビ	61	61
			4			
			5	静岡朝日テレビ	57	57
			6			
			7	テレビ静岡	59	59
			8			
			9	NHK総合	53	53
			10			
			11	静岡放送（SBSテレビ）	55	55
			12			
		島田	1	NHK総合	56	56
			2			
			3	NHK教育	54	54
			4			
			5	静岡放送（SBSテレビ）	62	62
			6			
			7	静岡第一テレビ	48	48
			8			
			9			
			10	静岡朝日テレビ	50	50
			11			
			12	テレビ静岡	58	58

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	静岡	富士	1			
			2	NHK教育	54	54
			3	静岡第一テレビ	27	27
			4			
			5	静岡朝日テレビ	29	29
			6			
			7	テレビ静岡	39	39
			8			
			9	NHK総合	52	52
			10			
			11	静岡放送（SBSテレビ）	41	41
			12			
		藤枝	1	NHK総合	42	42
			2			
			3	NHK教育	44	44
			4			
			5	静岡放送（SBSテレビ）	40	40
			6			
			7	静岡第一テレビ	24	24
			8			
			9			
			10	静岡朝日テレビ	26	26
			11			
			12	テレビ静岡	38	38
	愛知	名古屋	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8			
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		豊橋	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	56	1
			2			
			3	NHK総合	54	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	62	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	52	25
			8			
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	60	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	58	35

[中部は次のページにつづく]

地上アナログ放送の放送一覧

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	愛知	豊田	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			2			
			3	NHK総合	53	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	49	25
			8			
			9	NHK教育	51	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	59	35
	三重	津	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8			
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		伊勢	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			2			
			3	NHK総合	53	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	59	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8			
			9	NHK教育	49	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	47	35
		名張	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	62	1
			2			
			3	NHK総合	52	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	60	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	58	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8			
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	56	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	54	35

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	滋賀	大津	1			
			2	NHK総合	28	2
			3			
			4	毎日放送	36	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	38	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	びわ湖放送（BBCびわ湖放送）	30	30
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			11			
			12	NHK教育	46	12
		彦根	1			
			2	NHK総合	52	2
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	びわ湖放送（BBCびわ湖放送）	56	56
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			11			
			12	NHK教育	50	12
	京都	京都	1			
			2	NHK総合	32	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
		山科	1			
			2	NHK総合	52	2
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	56	6
			7	京都放送（KBS京都）	62	62
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	60	10
			11			
			12	NHK教育	50	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	京都	福知山	1			
			2	NHK総合	50	2
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			7	京都放送（KBS京都）	56	56
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			11			
			12	NHK教育	52	12
		舞鶴	1			
			2	NHK総合	51	2
			3			
			4	毎日放送	53	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	55	6
			7	京都放送（KBS京都）	57	57
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			11			
			12	NHK教育	49	12
	大阪	※	1			
			2	NHK総合	2	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			5	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
	兵庫	神戸	1			
			2	NHK総合	28	28
			3			
			4	毎日放送	31	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	41	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	43	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	47	10
			11			
			12	NHK教育	45	12

※大阪は、大阪地域のチャンネルが設定されます。

[近畿は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	姫路	1			
			2	NHK総合	50	50
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	56	56
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			11			
			12	NHK教育	52	12
		明石	1			
			2	NHK総合	51	51
			3			
			4	毎日放送	53	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	57	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			11			
			12	NHK教育	49	12
		川西	1			
			2	NHK総合	29	29
			3			
			4	毎日放送	35	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	37	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	39	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	33	33
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	41	10
			11			
			12	NHK教育	31	12
		灘	1			
			2	NHK総合	52	52
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	56	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	62	62
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	60	10
			11			
			12	NHK教育	50	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	長田	1			
			2	NHK総合	44	44
			3			
			4	毎日放送	38	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	40	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	42	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	34	34
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	48	10
			11			
			12	NHK教育	46	12
		北淡・垂水	1			
			2	NHK総合	51	51
			3			
			4	毎日放送	53	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	57	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			11			
			12	NHK教育	49	12
		三木	1			
			2	NHK総合	44	44
			3			
			4	毎日放送	34	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	38	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			11			
			12	NHK教育	46	12
	奈良	奈良	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	毎日放送	4	4
			5	京都放送（KBS京都）	34	34
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11	奈良テレビ放送	55	55
			12	NHK教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	奈良	生駒	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	毎日放送	4	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11	奈良テレビ放送	26	55
			12	NHK教育	22	12
		五條	1			
			2	NHK総合	43	2
			3			
			4	毎日放送	33	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	35	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	37	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	39	10
			11	奈良テレビ放送	41	55
			12	NHK教育	45	12
	和歌山	和歌山	1			
			2	NHK総合	32	2
			3			
			4	毎日放送	42	4
			5	テレビ和歌山	30	30
			6	朝日放送（ABC）	44	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	46	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	48	10
			11			
			12	NHK教育	25	12
		海南・田辺	1			
			2	NHK総合	50	2
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ和歌山	56	56
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			11			
			12	NHK教育	52	12

[近畿は次のページにつづく]

地上アナログ放送の放送一覧

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	和歌山	新宮	1			
			2	NHK総合	44	2
			3			
			4	毎日放送	36	4
			5	テレビ和歌山	34	34
			6	朝日放送（ABC）	38	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			11			
			12	NHK教育	46	12
中国	鳥取	鳥取	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	NHK教育	4	4
			5			
			6			
			7			
			8			
			9			
			10	山陰放送（BSSテレビ）	22	22
			11			
			12	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	24	24
		米子	1			
			2			
			3	NHK総合	42	42
			4			
			5	NHK教育	5	5
			6			
			7			
			8	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	8	8
			9			
			10	山陰放送（BSSテレビ）	10	10
			11			
			12	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	34	34
		倉吉	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	NHK教育	4	4
			5			
			6			
			7			
			8	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	58	58
			9			
			10	山陰放送（BSSテレビ）	56	56
			11			
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	島根	松江	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	30	30
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	NHK総合	6	6
			7			
			8	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	34	34
			9			
			10	山陰放送（BSSテレビ）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
		浜田	1			
			2	NHK総合	2	2
			3	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	54	54
			4			
			5	山陰放送（BSSテレビ）	5	5
			6			
			7			
			8	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	58	58
			9	NHK教育	9	9
			10			
			11			
			12			
	岡山	岡山	1			
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4			
			5	NHK総合	5	5
			6	テレビせとうち	23	23
			7	瀬戸内海放送	25	25
			8			
			9	西日本放送	9	9
			10			
			11	山陽放送（RSK）	11	11
			12	岡山放送（OHK）	35	35
		津山	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	テレビせとうち	56	56
			5			
			6	瀬戸内海放送	62	62
			7	山陽放送（RSK）	7	7
			8			
			9	西日本放送	58	58
			10			
			11	岡山放送（OHK）	60	60
			12	NHK教育	12	12
		笠岡	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	NHK教育	4	4
			5	テレビせとうち	19	19
			6	山陽放送（RSK）	6	6
			7			
			8			
			9	西日本放送	17	17
			10	瀬戸内海放送	21	21
			11	岡山放送（OHK）	60	60
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	広島	広島	1	テレビ新広島（TSS）	31	31
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	中国放送（RCC）	4	4
			5			
			6			
			7	NHK教育	7	7
			8			
			9	広島ホームテレビ	35	35
			10			
			11			
			12	広島テレビ放送（広島テレビ）	12	12
		福山	1	テレビ新広島（TSS）	54	54
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4			
			5	NHK総合	5	5
			6			
			7	中国放送（RCC）	7	7
			8			
			9	広島ホームテレビ	57	57
			10			
			11	広島テレビ放送（広島テレビ）	11	11
			12			
		呉	1	NHK教育	1	1
			2			
			3	広島ホームテレビ	24	24
			4			
			5	広島テレビ放送（広島テレビ）	5	5
			6			
			7	テレビ新広島（TSS）	26	26
			8			
			9	中国放送（RCC）	9	9
			10			
			11	NHK総合	11	11
			12			
		尾道	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	広島ホームテレビ	24	24
			4			
			5	テレビ新広島（TSS）	26	26
			6			
			7	NHK教育	7	7
			8			
			9			
			10	中国放送（RCC）	10	10
			11			
			12	広島テレビ放送（広島テレビ）	12	12

[中国は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	山口	山口	1	NHK教育	42	42
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	山口朝日放送（YAB山口朝日放送）	52	52
			7	テレビ山口（TYS）	49	49
			8			
			9	NHK総合	44	44
			10			
			11	山口放送（KRY山口放送）	46	46
			12			
		下関	1	NHK教育	41	41
			2			
			3	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	23	23
			4	山口放送（KRY山口放送）	4	4
			5			
			6	山口朝日放送（YAB山口朝日放送）	21	21
			7	テレビ山口（TYS）	33	33
			8			
			9	NHK総合	39	39
			10	テレビ西日本（TNC）	10	10
			11			
			12	福岡放送（FBS）	35	35
		宇部	1	NHK教育	14	14
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	山口朝日放送（YAB山口朝日放送）	31	31
			7	テレビ山口（TYS）	20	20
			8			
			9	NHK総合	16	16
			10	テレビ西日本（TNC）	10	10
			11	山口放送（KRY山口放送）	18	18
			12			
		岩国	1	NHK教育	1	1
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	山口朝日放送（YAB山口朝日放送）	28	28
			7	テレビ山口（TYS）	22	22
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	山口放送（KRY山口放送）	11	11
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	山口	防府	1	NHK教育	1	1
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	山口朝日放送（YAB山口朝日放送）	28	28
			7	テレビ山口（TYS）	38	38
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	山口放送（KRY山口放送）	11	11
			12			
四国	徳島	※	1	四国放送	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	毎日放送	4	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			9			
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11			
			12	NHK教育	38	12
	香川	高松	1			
			2			
			3	NHK教育	39	39
			4			
			5	NHK総合	37	37
			6	テレビせとうち	19	19
			7	瀬戸内海放送	33	33
			8			
			9	西日本放送	41	41
			10			
			11	山陽放送（RSK）	29	29
			12	岡山放送（OHK）	31	31
		丸亀	1			
			2			
			3	NHK教育	40	40
			4			
			5	NHK総合	44	44
			6	テレビせとうち	16	16
			7	瀬戸内海放送	42	42
			8			
			9	西日本放送	20	20
			10			
			11	山陽放送（RSK）	18	18
			12	岡山放送（OHK）	22	22
	愛媛	松山	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4			
			5			
			6	NHK総合	6	6
			7			
			8	あいテレビ	29	29
			9	愛媛朝日テレビ（EAT）	25	25
			10	南海放送（RNB）	10	10
			11	広島ホームテレビ	35	35
			12	愛媛放送（テレビ愛媛）	37	37

※徳島は、徳島地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
四国	愛媛	今治	1			
			2	NHK教育	30	30
			3			
			4			
			5			
			6	NHK総合	32	32
			7			
			8	あいテレビ	27	27
			9	愛媛朝日テレビ（EAT）	17	17
			10	南海放送（RNB）	34	34
			11			
			12	愛媛放送（テレビ愛媛）	36	36
		新居浜	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	NHK教育	4	4
			5			
			6	南海放送（RNB）	6	6
			7	愛媛朝日テレビ（EAT）	14	14
			8	あいテレビ	27	27
			9			
			10			
			11			
			12	愛媛放送（テレビ愛媛）	36	36
		宇和島	1	NHK教育	1	1
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	NHK総合	6	6
			7			
			8	あいテレビ	34	34
			9	愛媛朝日テレビ（EAT）	16	16
			10	南海放送（RNB）	10	10
			11			
			12	愛媛放送（テレビ愛媛）	32	32
	高知	高知	1			
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	NHK教育	6	6
			7			
			8	高知放送（RKC）	8	8
			9			
			10	テレビ高知（KUTV）	38	38
			11			
			12	高知さんさんテレビ（さんさんテレビ）	40	40
		中村	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	高知放送（RKC）	3	3
			4			
			5			
			6	テレビ高知（KUTV）	32	32
			7			
			8	高知さんさんテレビ（さんさんテレビ）	14	14
			9			
			10			
			11	NHK教育	11	11
			12			

[九州・沖縄は次のページにつづく]

地上アナログ放送の放送一覧

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名（※カッコ内は画面に略号で表示される場合）	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	福岡	福岡	1	九州朝日放送（KBC）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	4	4
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	19	19
			6	NHK教育	6	6
			7			
			8			
			9	テレビ西日本（TNC）	9	9
			10			
			11			
			12	福岡放送（FBS）	37	37
		北九州	1			
			2	九州朝日放送（KBC）	2	2
			3	福岡放送（FBS）	35	35
			4			
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	23	23
			6	NHK総合	6	6
			7			
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	8	8
			9			
			10	テレビ西日本（TNC）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
		久留米	1	九州朝日放送（KBC）	57	57
			2			
			3	NHK総合	46	46
			4	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	48	48
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	14	14
			6	NHK教育	54	54
			7			
			8			
			9	テレビ西日本（TNC）	60	60
			10			
			11			
			12	福岡放送（FBS）	52	52
		大牟田	1	九州朝日放送（KBC）	58	58
			2			
			3	NHK総合	53	53
			4	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	61	61
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	19	19
			6	NHK教育	50	50
			7			
			8			
			9	テレビ西日本（TNC）	55	55
			10			
			11			
			12	福岡放送（FBS）	43	43

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名（※カッコ内は画面に略号で表示される場合）	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	福岡	行橋	1			
			2	九州朝日放送（KBC）	57	57
			3	福岡放送（FBS）	43	43
			4			
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	19	19
			6	NHK総合	49	49
			7			
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	60	60
			9			
			10	テレビ西日本（TNC）	54	54
			11			
			12	NHK教育	46	46
	佐賀	佐賀	1			
			2	NHK教育	40	40
			3	福岡放送（FBS）	52	52
			4	サガテレビ	36	36
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	14	14
			6	九州朝日放送（KBC）	57	57
			7			
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	48	48
			9	NHK総合	38	38
			10	テレビ西日本（TNC）	60	60
			11	熊本放送（RKK）	11	11
			12			
		伊万里	1	NHK教育	44	44
			2			
			3	福岡放送（FBS）	52	52
			4	サガテレビ	41	41
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	14	14
			6	九州朝日放送（KBC）	57	57
			7			
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	48	48
			9	NHK総合	51	51
			10	テレビ西日本（TNC）	60	60
			11	熊本放送（RKK）	11	11
			12			
	長崎	長崎	1	NHK教育	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	長崎放送（NBC）	5	5
			6			
			7	テレビ長崎（KTN）	37	37
			8			
			9	長崎文化放送（NCC）	27	27
			10			
			11	長崎国際テレビ	25	25
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名（※カッコ内は画面に略号で表示される場合）	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	長崎	佐世保	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4			
			5			
			6	長崎文化放送（NCC）	31	31
			7	テレビ長崎（KTN）	35	35
			8	NHK総合	8	8
			9			
			10	長崎放送（NBC）	10	10
			11	長崎国際テレビ	17	17
			12			
		諫早	1	NHK教育	45	45
			2			
			3	NHK総合	47	47
			4			
			5	長崎放送（NBC）	49	49
			6			
			7	テレビ長崎（KTN）	42	42
			8			
			9	長崎文化放送（NCC）	24	24
			10			
			11	長崎国際テレビ	20	20
			12			
	熊本	熊本	1			
			2	NHK教育	2	2
			3	熊本朝日放送（KAB）	16	16
			4	熊本県民テレビ（KKT）	22	22
			5			
			6	テレビ熊本（TKU）	34	34
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	熊本放送（RKK）	11	11
			12			
		水俣	1	NHK教育	1	1
			2			
			3	熊本朝日放送（KAB）	32	32
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	熊本放送（RKK）	6	6
			7			
			8	熊本県民テレビ（KKT）	36	36
			9			
			10	テレビ熊本（TKU）	38	38
			11			
			12			

[九州・沖縄は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合		画面の番号表示
九州・沖縄	大分	大分	1			
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	大分放送（OBS）	5	5
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	24	24
			7	テレビ大分（TOS）	36	36
			8			
			9			
			10			
			11			
			12	NHK教育	12	12
		中津	1			
			2			
			3	NHK総合	48	48
			4			
			5	大分放送（OBS）	51	51
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	17	17
			7	テレビ大分（TOS）	37	37
			8			
			9			
			10			
			11			
			12	NHK教育	45	45
		佐伯	1	NHK教育	1	1
			2			
			3			
			4			
			5	テレビ大分（TOS）	49	49
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	31	31
			7	NHK総合	7	7
			8			
			9	大分放送（OBS）	9	9
			10			
			11			
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合		画面の番号表示
九州・沖縄	宮崎	宮崎	1			
			2			
			3	テレビ宮崎（UMK）	35	35
			4			
			5			
			6			
			7			
			8	NHK総合	8	8
			9			
			10	宮崎放送（MRT）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
		延岡	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	宮崎放送（MRT）	6	6
			7			
			8	テレビ宮崎（UMK）	39	39
			9			
			10			
			11			
			12			
	鹿児島	鹿児島	1	南日本放送（MBC）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	NHK教育	5	5
			6			
			7	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	32	32
			8			
			9	鹿児島テレビ放送（KTS）	38	38
			10			
			11	鹿児島読売テレビ（KYT）	30	30
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合		画面の番号表示
九州・沖縄	鹿児島	鹿屋	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	南日本放送（MBC）	6	6
			7			
			8	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	31	31
			9			
			10	鹿児島テレビ放送（KTS）	33	33
			11			
			12	鹿児島読売テレビ（KYT）	25	25
		阿久根	1			
			2			
			3			
			4	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	23	23
			5			
			6	鹿児島テレビ放送（KTS）	35	35
			7			
			8	NHK総合	8	8
			9			
			10	南日本放送（MBC）	10	10
			11	鹿児島読売テレビ（KYT）	17	17
			12	NHK教育	12	12
	沖縄	※	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4			
			5			
			6	琉球朝日放送（QAB）	28	28
			7			
			8	沖縄テレビ放送（OTV）	8	8
			9			
			10	琉球放送（RBC）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12

※沖縄は、那覇地域のチャンネルが設定されます。

地上デジタル放送の放送(予定)一覧

地上デジタル放送の放送(予定)を以下の一覧で確認できます。
また、リモコンボタンに自動設定される放送や番組表に表示される放送局の順番などの目安についても確認できます。

(1)お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送がリモコンボタンに自動設定される目安
「初期スキャン」(➡P.73)をすると、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを探して放送の運用規格に基いてリモコンのダイレクト選局ボタンに自動設定をします。
一覧ではその際、域内のどの放送局がどのリモコンボタンに自動設定されるのか、その目安を記載しています。

(2)番組表表示に表示される域内の放送局の順番(目安)
一覧の内容は目安です。放送局の開局の状況などによって変更になる場合があります。

ポイント

■一覧内の※について

※1：初期スキャンや再スキャンを行ったときに、その放送局がリモコンのどのダイレクト選局ボタンに設定されるかを表します。

※2：初期スキャンや再スキャンの際に、入力レベルの高いほうの放送をダイレクト選局ボタンに設定します。(これは、放送の運用規定によるものです。)

※3：初期スキャンや再スキャンの際に受信できなかった場合は、受信できた域外のNHK放送をダイレクト選局ボタンに設定します。(設定される放送は、地域によって決められています。)
その後「※3」の放送が受信できると、新しい放送に設定を変更します。(これは、放送の運用規定によるものです。)

2004年12月14日現在

地方名	地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
北海道	北海道全域(区域放送開始前)	1	HBC北海道放送	3
		2	NHK教育・札幌	2
		3	NHK総合・札幌	1
		4		
		5	STV札幌テレビ	4
		6	HTB北海道テレビ	5
		7	TVH	7
		8	UHB	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	旭川(区域放送開始後)	1	HBC旭川	3
		2	NHK教育・旭川	2
		3	NHK総合・旭川	1
		4		
		5	STV旭川	4
		6	HTB旭川	5
		7	TVH旭川	7
		8	UHB旭川	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	釧路(区域放送開始後)	1	HBC釧路	3
		2	NHK教育・釧路	2
		3	NHK総合・釧路	1
		4		
		5	STV釧路	4
		6	HTB釧路	5
		7	TVH釧路	7
		8	UHB釧路	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	北見(区域放送開始後)	1	HBC北見	3
		2	NHK教育・北見	2
		3	NHK総合・北見	1
		4		
		5	STV北見	4
		6	HTB北見	5
		7	TVH北見	7
		8	UHB北見	6
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
北海道	帯広(区域放送開始後)	1	HBC帯広	3
		2	NHK教育・帯広	2
		3	NHK総合・帯広	1
		4		
		5	STV帯広	4
		6	HTB帯広	5
		7	TVH帯広	7
		8	UHB帯広	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	札幌(区域放送開始後)	1	HBC札幌	3
		2	NHK教育・札幌	2
		3	NHK総合・札幌	1
		4		
		5	STV札幌	4
		6	HTB札幌	5
		7	TVH札幌	7
		8	UHB札幌	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	函館(区域放送開始後)	1	HBC函館	3
		2	NHK教育・函館	2
		3	NHK総合・函館	1
		4		
		5	STV函館	4
		6	HTB函館	5
		7	TVH函館	7
		8	UHB函館	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	室蘭(区域放送開始後)	1	HBC室蘭	3
		2	NHK教育・室蘭	2
		3	NHK総合・室蘭	1
		4		
		5	STV室蘭	4
		6	HTB室蘭	5
		7	TVH室蘭	7
		8	UHB室蘭	6
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
東北	青森	1	RAB青森放送	3
		2	NHK教育・青森	2
		3	NHK総合・青森	1
		4		
		5	青森朝日放送	5
		6	ATV青森テレビ	4
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
	岩手	1	NHK総合・盛岡　※3	1
		2	NHK教育・盛岡　※3	2
		3		
		4	テレビ岩手	4
		5	岩手朝日テレビ	6
		6	IBCテレビ	3
		7		
		8	めんこいテレビ	5
		9		
		10		
		11		
		12		
	宮城	1	TBCテレビ	3
		2	NHK教育・仙台	2
		3	NHK総合・仙台	1
		4	ミヤギテレビ	5
		5	KHB東日本放送	6
		6		
		7		
		8	仙台放送	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	秋田	1	NHK総合・秋田	1
		2	NHK教育・秋田	2
		3		
		4	ABS秋田放送	3
		5	AAB秋田朝日放送	5
		6		
		7		
		8	AKT秋田テレビ	4
		9		
		10		
		11		
		12		

[東北は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
東北	山形	1	NHK総合･山形	1
		2	NHK教育･山形	2
		3		
		4	YBC山形放送	3
		5	YTS山形テレビ	4
		6	テレビユー山形	5
		7		
		8	さくらんぼテレビ	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	福島	1	NHK総合･福島 ※3	1
		2	NHK教育･福島 ※3	2
		3		
		4	福島中央テレビ	4
		5	KFB福島放送	5
		6	テレビユー福島	6
		7		
		8	福島テレビ	3
		9		
		10		
		11		
		12		
関東	茨城	1	NHK総合･水戸 ※3	1
		2	NHK教育･東京	2
		3		
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	8
	栃木	1	NHK総合･東京	1
		2	NHK教育･東京	2
		3	とちぎテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	9
	群馬	1	NHK総合･東京	1
		2	NHK教育･東京	2
		3	群馬テレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	9
	埼玉	1	NHK総合･東京	1
		2	NHK教育･東京	2
		3	テレビ埼玉	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	9

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
関東	千葉	1	NHK総合･東京	1
		2	NHK教育･東京	2
		3	ちばテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	9
	東京	1	NHK総合･東京	1
		2	NHK教育･東京	2
		3		
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9	東京MXテレビ	8
		10		
		11		
		12	放送大学	9
	神奈川	1	NHK総合･東京	1
		2	NHK教育･東京	2
		3	TVKテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	9
甲信越	新潟	1	NHK総合･新潟	1
		2	NHK教育･新潟	2
		3		
		4	TeNYテレビ新潟	5
		5	新潟テレビ21	6
		6	BSN	3
		7		
		8	NST	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	山梨	1	NHK総合･甲府 ※3	1
		2	NHK教育･甲府 ※3	2
		3		
		4	YBS山梨放送	3
		5		
		6	UTY	4
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
	長野	1	NHK総合･長野	1
		2	NHK教育･長野	2
		3		
		4	テレビ信州	3
		5	ABN長野朝日放送	4
		6	SBC信越放送	5
		7		
		8	NBS長野放送	6
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
中部	富山	1	KNB北日本放送	3
		2	NHK教育･富山 ※3	2
		3	NHK総合･富山 ※3	1
		4		
		5		
		6	チューリップテレビ	5
		7		
		8	BBT富山テレビ	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	石川	1	NHK総合･金沢 ※3	1
		2	NHK教育･金沢 ※3	2
		3		
		4	テレビ金沢	3
		5	北陸朝日放送	4
		6	MRO	5
		7		
		8	石川テレビ	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	福井	1	NHK総合･福井 ※3	1
		2	NHK教育･福井 ※3	2
		3		
		4		
		5		
		6		
		7	FBCテレビ	3
		8	福井テレビ	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	静岡	1	NHK総合･静岡	1
		2	NHK教育･静岡	2
		3		
		4	静岡第一テレビ	5
		5	静岡朝日テレビ	6
		6	SBS	3
		7		
		8	テレビ静岡	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	愛知	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育･名古屋	2
		3	NHK総合･名古屋	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ~テレ	5
		7		
		8		
		9		
		10	テレビ愛知	7
		11		
		12		
	三重	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育･名古屋	2
		3	NHK総合･津 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ~テレ	5
		7	三重テレビ	7
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		

[中部は次のページにつづく]

地上デジタル放送の放送(予定)一覧

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
中部	岐阜	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育·名古屋	2
		3	NHK総合·岐阜 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ～テレ	5
		7		
		8	岐阜テレビ	7
		9		
		10		
		11		
		12		
近畿	滋賀	1	NHK総合·大津 ※3	1
		2	NHK教育·大阪	2
		3	BBCびわ湖放送	7
		4	MBS毎日放送	3
		5		
		6	ABCテレビ	4
		7		
		8	関西テレビ	5
		9		
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		
	京都	1	NHK総合·京都 ※3	1
		2	NHK教育·大阪	2
		3		
		4	MBS毎日放送	3
		5	KBS京都	7
		6	ABCテレビ	4
		7		
		8	関西テレビ	5
		9		
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		
	大阪	1	NHK総合·大阪	1
		2	NHK教育·大阪	2
		3		
		4	MBS毎日放送	3
		5		
		6	ABCテレビ	4
		7	テレビ大阪	7
		8	関西テレビ	5
		9		
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		
	兵庫	1	NHK総合·神戸 ※3	1
		2	NHK教育·大阪	2
		3	サンテレビ	7
		4	MBS毎日放送	3
		5		
		6	ABCテレビ	4
		7		
		8	関西テレビ	5
		9		
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		
	奈良	1	NHK総合·奈良 ※3	1
		2	NHK教育·大阪	2
		3		
		4	MBS毎日放送	3
		5		
		6	ABCテレビ	4
		7		
		8	関西テレビ	5
		9	奈良テレビ	7
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
近畿	和歌山	1	NHK総合·和歌山 ※3	1
		2	NHK教育·大阪	2
		3		
		4	MBS毎日放送	3
		5	テレビ和歌山	7
		6	ABCテレビ	4
		7		
		8	関西テレビ	5
		9		
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		
中国	鳥取	1	日本海テレビ	5
		2	NHK教育·鳥取 ※3	2
		3	NHK総合·鳥取 ※3	1
		4		
		5		
		6	BSSテレビ	4
		7		
		8	山陰中央テレビ	3
		9		
		10		
		11		
		12		
	島根	1	日本海テレビ	5
		2	NHK教育·松江 ※3	2
		3	NHK総合·松江 ※3	1
		4		
		5		
		6	BSSテレビ	4
		7		
		8	山陰中央テレビ	3
		9		
		10		
		11		
		12		
	岡山	1	NHK総合·岡山 ※3	1
		2	NHK教育·岡山 ※3	2
		3		
		4	RNC西日本テレビ	3
		5	KSB瀬戸内海放送	4
		6	RSKテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHKテレビ	7
		9		
		10		
		11		
		12		
	広島	1	NHK総合·広島	1
		2	NHK教育·広島	2
		3	RCCテレビ	3
		4	広島テレビ	4
		5	広島ホームテレビ	5
		6		
		7		
		8	TSS	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	山口	1	NHK総合·山口 ※3	1
		2	NHK教育·山口 ※3	2
		3	TYSテレビ山口	4
		4	KRY山口放送	3
		5	YAB山口朝日	5
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
四国	徳島	1	四国放送	3
		2	NHK教育·徳島 ※3	2
		3	NHK総合·徳島 ※3	1
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
	香川	1	NHK総合·高松 ※3	1
		2	NHK教育·高松 ※3	2
		3		
		4	RNC西日本テレビ	3
		5	KSB瀬戸内海放送	4
		6	RSKテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHKテレビ	7
		9		
		10		
		11		
		12		
	愛媛	1	NHK総合·松山	1
		2	NHK教育·松山	2
		3		
		4	南海放送	3
		5	愛媛朝日	4
		6	あいテレビ	5
		7		
		8	テレビ愛媛	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	高知	1	NHK総合·高知	1
		2	NHK教育·高知	2
		3		
		4	高知放送	3
		5		
		6	テレビ高知	4
		7		
		8	さんさんテレビ	5
		9		
		10		
		11		
		12		
九州・沖縄	福岡	1	KBC九州朝日放送	3
		2	NHK教育·福岡 NHK教育·北九州 ※2	2
		3	NHK総合·福岡 NHK総合·北九州 ※2	1
		4	RKB毎日放送	4
		5	FBS福岡放送	5
		6		
		7	TVQ九州放送	6
		8	TNCテレビ西日本	7
		9		
		10		
		11		
		12		
	佐賀	1	NHK総合·佐賀 ※3	1
		2	NHK教育·佐賀 ※3	2
		3	STSサガテレビ	3
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		

[九州・沖縄は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
九州・沖縄	長崎	1	NHK総合･長崎　※3	1
		2	NHK教育･長崎　※3	2
		3	NBC長崎放送	3
		4	NIB長崎国際テレビ	6
		5	NCC長崎文化放送	5
		6		
		7		
		8	KTNテレビ長崎	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	熊本	1	NHK総合･熊本　※3	1
		2	NHK教育･熊本　※3	2
		3	RKK熊本放送	3
		4	KKTくまもと県民	5
		5	KAB熊本朝日放送	6
		6		
		7		
		8	TKUテレビ熊本	4
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
九州・沖縄	大分	1	NHK総合･大分　※3	1
		2	NHK教育･大分　※3	2
		3	OBS大分放送	3
		4	TOSテレビ大分	4
		5	OAB大分朝日放送	5
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
	宮崎	1	NHK総合･宮崎　※3	1
		2	NHK教育･宮崎　※3	2
		3	UMKテレビ宮崎	4
		4		
		5		
		6	MRT宮崎放送	3
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
九州・沖縄	鹿児島	1	MBC南日本放送	3
		2	NHK教育･鹿児島　※3	2
		3	NHK総合･鹿児島　※3	1
		4	KYT鹿児島読売TV	6
		5	KKB鹿児島放送	5
		6		
		7		
		8	KTS鹿児島テレビ	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	沖縄	1	NHK総合･那覇	1
		2	NHK教育･那覇	2
		3	RBCテレビ	3
		4		
		5	QAB琉球朝日放送	4
		6		
		7		
		8	沖縄テレビ(OTV)	5
		9		
		10		
		11		
		12		

仕様

Sシリーズ

<table>
<tr><td colspan="3">商品名</td><td colspan="2">地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶プロジェクションテレビ
《リビングステーション》</td></tr>
<tr><td colspan="3">型番</td><td>ELS-47S2</td><td>ELS-57S2</td></tr>
<tr><td colspan="3">液晶パネル画素数</td><td colspan="2">横1280×縦720(ピクセル)×3(枚)</td></tr>
<tr><td colspan="3">画面寸法</td><td>幅104.0×高さ58.5×対角119.4(cm)</td><td>幅126.2×高さ71.0×対角144.8(cm)</td></tr>
<tr><td colspan="3">音声最大出力</td><td colspan="2">20W(10W×2)</td></tr>
<tr><td colspan="3">スピーカー</td><td colspan="2">フルレンジφ120mm×2</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源</td><td colspan="2">AC100V 50/60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力</td><td colspan="2">使用時：198W(デジタル放送録画時等含む)
待機時：0.9W(i.LINK設定制御時、予約録画待機状態、番組情報取得など動作中60W)</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法(突起部含む)</td><td>幅112.0×高さ87.7×奥行36.6(cm)</td><td>幅134.2×高さ100.1×奥行41.3(cm)</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量</td><td>約38kg</td><td>約49kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用温度</td><td colspan="2">5℃～35℃(結露なきこと)</td></tr>
<tr><td colspan="3">保存温度</td><td colspan="2">-10℃～60℃(結露なきこと)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">受信チャンネル</td><td colspan="2">地上アナログ</td><td colspan="2">VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C63)</td></tr>
<tr><td colspan="2">地上デジタル</td><td colspan="2">VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C63)</td></tr>
<tr><td colspan="2">BSデジタル</td><td colspan="2">BS000～BS999</td></tr>
<tr><td colspan="2">110度CSデジタル</td><td colspan="2">CS000～CS999</td></tr>
<tr><td rowspan="12">接続端子</td><td rowspan="2">映像入力</td><td>ビデオ入力</td><td colspan="2">3系統(映像・S端子)</td></tr>
<tr><td>コンポーネント入力</td><td colspan="2">2系統(D4端子)</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声入力</td><td colspan="2">5系統(RCAピンジャック(L,R))</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声出力</td><td colspan="2">1系統(RCAピンジャック(L,R))</td></tr>
<tr><td rowspan="2">デジタル放送録画出力</td><td>映像出力</td><td colspan="2">1系統(映像・S端子)</td></tr>
<tr><td>音声出力</td><td colspan="2">1系統(RCAピンジャック(L,R))</td></tr>
<tr><td colspan="2">i.LINK(TS)</td><td colspan="2">2系統(IEEE1394 4pin type、S400対応、MPEG-TS信号)</td></tr>
<tr><td colspan="2">光デジタル音声出力</td><td colspan="2">1系統(角型端子、AAC/PCM対応)</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話回線(LINE)</td><td colspan="2">モジュラージャック方式</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヘッドホン</td><td colspan="2">1系統(口径3.5mmステレオジャック)</td></tr>
<tr><td colspan="2">副ヘッドホン</td><td colspan="2">1系統(口径3.5mmステレオジャック)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオコントロール</td><td colspan="2">1系統(口径3.5mmミニジャック)</td></tr>
<tr><td colspan="3">投写ランプ</td><td colspan="2">UHEランプ 定格100W 型番：ELSLP1</td></tr>
</table>

GLシリーズ

<table>
<tr><td colspan="3">商品名</td><td colspan="2">地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶プロジェクションテレビ
《リビングステーション》</td></tr>
<tr><td colspan="3">型番</td><td>ELS-55GL1</td><td>ELS-65GL1</td></tr>
<tr><td colspan="3">液晶パネル画素数</td><td colspan="2">横1920×縦1080(ピクセル)×3(枚)</td></tr>
<tr><td colspan="3">画面寸法</td><td>幅121.8× 高さ68.5 × 対角139.7(cm)</td><td>幅143.9 × 高さ80.9 × 対角165.1(cm)</td></tr>
<tr><td colspan="3">音声最大出力</td><td colspan="2">30W(15W×2)</td></tr>
<tr><td colspan="3">スピーカー</td><td colspan="2">ウーハーφ120mm×2、ツィータφ50mm×2</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源</td><td colspan="2">AC100V 50/60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力</td><td colspan="2">使用時：269W(デジタル放送録画時等含む)
待機時：0.9W(i.LINK設定制御時、予約録画待機状態、番組情報取得など動作中90W)</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法(突起部含む)</td><td>幅158.0×高さ94.0×奥行き42.3(cm)</td><td>幅179.9×高さ106.8×奥行き48.1(cm)</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量</td><td>約48.5kg</td><td>約58.5kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用温度</td><td colspan="2">5℃～35℃(結露なきこと)</td></tr>
<tr><td colspan="3">保存温度</td><td colspan="2">-10℃～60℃(結露なきこと)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">受信チャンネル</td><td colspan="2">地上アナログ</td><td colspan="2">VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C63)</td></tr>
<tr><td colspan="2">地上デジタル</td><td colspan="2">VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C63)</td></tr>
<tr><td colspan="2">BSデジタル</td><td colspan="2">BS000～BS999</td></tr>
<tr><td colspan="2">110度CSデジタル</td><td colspan="2">CS000～CS999</td></tr>
<tr><td rowspan="16">接続端子</td><td rowspan="4">映像入力</td><td>ビデオ入力</td><td colspan="2">3系統(映像・S端子)</td></tr>
<tr><td>コンポーネント入力</td><td colspan="2">2系統(D4端子)</td></tr>
<tr><td>HDMI入力</td><td colspan="2">1系統(HDMI端子)</td></tr>
<tr><td>PC入力</td><td colspan="2">1系統(アナログRGB端子)</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声入力</td><td colspan="2">6系統(RCAピンジャック(L,R)・ステレオミニジャック)</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声出力</td><td colspan="2">1系統(RCAピンジャック(L,R))</td></tr>
<tr><td rowspan="2">デジタル放送録画出力</td><td>映像出力</td><td colspan="2">1系統(映像・S端子)</td></tr>
<tr><td>音声出力</td><td colspan="2">1系統(RCAピンジャック(L,R))</td></tr>
<tr><td colspan="2">i.LINK(TS)</td><td colspan="2">2系統(IEEE1394 4pin type、S400対応、MPEG-TS信号)</td></tr>
<tr><td colspan="2">光デジタル音声出力</td><td colspan="2">1系統(角型ジャック、AAC/PCM対応)</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話回線(LINE)</td><td colspan="2">モジュラージャック方式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ヘッドホン</td><td>(主)</td><td colspan="2">1系統(口径3.5mmステレオジャック)</td></tr>
<tr><td>(副)</td><td colspan="2">1系統(口径3.5mmステレオジャック)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオコントロール</td><td colspan="2">1系統(口径3.5mmミニジャック)</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンタ端子</td><td colspan="2">1系統(USB端子(Type-B))</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡張端子</td><td colspan="2">1系統(USB端子(Type-A))</td></tr>
<tr><td colspan="3">投写ランプ</td><td colspan="2">UHEランプ 定格100W/120W 型番：ELSLP1</td></tr>
<tr><td colspan="3">対応メモリカード
詳細は『フォトビューワ編』「使用できるカードやデータ、機器について」でご確認ください。</td><td colspan="2">コンパクトフラッシュ(TypeⅠ※)、スマートメディア、マルチメディアカード、メモリースティック、メモリースティック PRO、xD-ピクチャーカード™、SDメモリーカード
※TypeⅡには対応しておりません。
専用アダプタを使用すると次のカードも使用できます。
メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo、miniSDカード</td></tr>
<tr><td colspan="3">フォトビューワ機能
詳細は『フォトビューワ編』「使用できるカードやデータ、機器について」でご確認ください。</td><td colspan="2">再生可能写真データ：JPEG(プログレッシブ形式を除く)
表示可能画素サイズ：(最小)112×112ピクセル
(最大)4600×4600ピクセル
再生可能動画データ：AVI、MOV、Mpeg1
再生可能音楽データ：MP3</td></tr>
</table>

索引

●英数字順

AAC優先 31
ADSLモデム 25
B-CASカード 10, 11, 38, 52, 115
BS·110度CSアンテナ電源供給 44
BS·110度CSアンテナレベル 44, 66
BS·110度CSデジタル用アンテナ電源供給 ...67
CATV 78, 86
CATVパススルーモード設定 68
D4映像端子 26
DVDプレーヤー 26, 27
D端子コンポーネントケーブル 26
GR(ゴーストリダクション) 21, 87
HDMI端子 28
i.LINK接続 33
MPEG-2 AAC音声 31
S1/S2映像端子 10, 11, 12, 13, 27
UHFアンテナ 12, 13

●アイウエオ順

ア行

暗証番号 44, 110
域外 138
域内 138
エアーフィルター 11, 12
映像メニュー 125
オーバースキャン 125
お気に入り登録 125
お知らせ 125
オフタイマー 125
音声モード 125

カ行

回線使用中ランプ 10, 11
外線発信番号 49, 89, 125
外部機器 54, 57, 58, 119, 125
簡易確認テスト 43, 115
緊急警報放送 43, 75
高画質 26
ゴースト 87
個人情報 53
コンピュータ端子 37

サ行

再スキャン 71, 76
サラウンドAAC優先 31
視聴年齢制限 44, 110, 111, 123, 125
視聴予約 125
自動スキャン 71, 125
自動ダウンロード 125
自動チャンネル設定 44, 71, 126
字幕ズーム位置調整 125
周波数アップコンバーター 68
主音声 125
受信設定 65
主端子 11
主電源スイッチ 10, 11
手動チャンネル設定 44, 71, 78
初期スキャン 71, 73
ステレオ/モノラル 125
設定内容を初期化する 123
双方向サービス 109
双方向通信サービス 43

タ行

ダイヤル方式 25, 50, 89, 125
地上Dアンテナレベル 44
地上デジタルアンテナレベル 65
地上デジタル放送の放送 138
チャンネルスキップ 44, 86
通信自動切断設定 44, 108, 125
通信設定 89
データ放送 43
データ放送用メモリの割り当て 53
デジタルチューナー 33
デジタルノイズリダクション 125
デジタル放送録画出力
.... 12, 13, 44, 63, 125, 142, 143
電源ランプ 10, 11
電話回線テスト 52, 89, 106

ふろく

ハ行

はじめての設定 43
番組購入限度額 44, 113
番組購入限度額設定 125
光デジタル音声出力 12, 13, 125, 142, 143
光ファイバーケーブル 31
ビデオ機種設定 59, 32
ビデオコントロールケーブル 32, 44
ビデオ入力3 27
ファインシネマ 125
副ヘッドホン端子 10, 11
プログレッシブ 125
ヘッドホン端子 10, 11

マ行

文字スーパー表示 117
モジュラーケーブル 24, 25
モジュラー分配器 24

ラ行

リモコン 40
リモコン受光部 10, 11
録画機器 29
録画ランプ 10, 11

MEMO

MEMO

MEMO

商標と規制

■商標、ロゴについて

i.LINKとi.LINKロゴ「i.」は、ソニー株式会社の商標です。
SRS TruSurround XT はSRS Labs, Inc.の商標です。
TruSurround XT技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。商用目的で録音することは禁止されています。
Pixelworks DNX は、Pixelworks 社の商標です。
スマートメディアは(株)東芝の商標です。
コンパクトフラッシュは、サンディスク社の商標です。
メモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo、およびMEMORY STICK PRO、Memory Stick ロゴはソニー株式会社の登録商標または商標です。
SDメモリーカード、SDロゴは、(株)東芝、松下電器産業(株)、米国SanDisk社の商標です。
Multi MediaCardは、ドイツInfineon Technologies AG社の商標であり、MMCA(MultiMediaCard Association)へライセンスされています。
xD-ピクチャーカード™ は、富士写真フイルム(株)の商標です。
Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.
3LCDロゴはセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
GRは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

■本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■著作権

写真、絵画、音楽、映像、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

■電源高調波

本機は、「JISC 61000-3-2適合品」です。
JISC 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

■本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品の不具合によって、データを正常に記録できなかったり、記録データを破損したりした場合、そのことから生じた付随的な損害(本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等)は、補償致しかねます。

■本書に対するご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本書中のイラスト・画像と、実際の形状・画像は異なる場合があります。

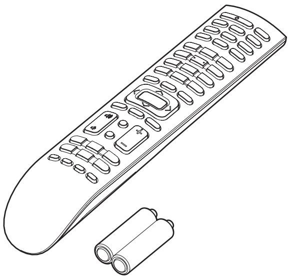
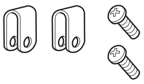
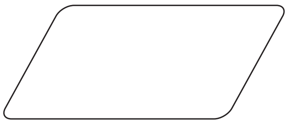
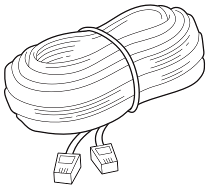
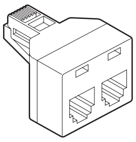
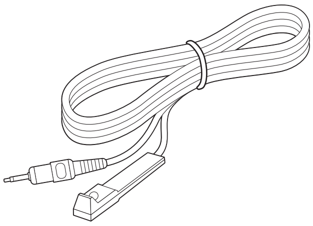
- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時の再資源化の一助として、主なプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- 本書内に掲載しているイラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などしており、実際とは多少異なります。
- リモコンで電源を切っても本機にわずかな電流が流れています。完全に電源を切る場合には、本体前面の主電源スイッチを「切」にしてください。長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。ただし、主電源スイッチを「切」にしている場合や電源プラグを抜いている間は、番組情報の取得やソフトウェアの自動ダウンロードなどは行われません。

※本製品は、マクロヴィジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。テレビの録画出力をビデオを経由して先の機器へ繋がないでください。コピー・プロテクトのために画像の乱れを生じることがあります。
※この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
※国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international law.)

©セイコーエプソン株式会社2005

付属品の確認

本機の他に、次のものが同梱されているか確認してください。
万一、不足や不良品がありましたら、お手数ですがエプソンダイレクトリビングステーションサポートセンターまでご連絡ください。（➡『操作・機能編』「サポートのご案内」）

 ・リモコン ・単3型乾電池2本	 ・転倒防止用クリップ2個 ・固定ネジ2本（M4×12mm）	 ユーザー登録書つきB-CASカード
 モジュラーケーブル （電話線）10m	 モジュラー分配器	 ・ビデオコントロールケーブル ・両面テープ

- 取扱説明書「設置・接続・設定編」（本書）
- 取扱説明書「操作・機能編」
- クイックガイド
- 取扱説明書「フォトビューワ編」 GLシリーズをご使用の場合
- 保証書

エプソンダイレクト株式会社 本社/〒399-8703 長野県松本市芳川村井町1059番地
セイコーエプソン株式会社 本社/〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

Printed in China
410462000 C77411000 05.11-.XA(P04)